

東久留米市地域福祉に関するおたずね 調査報告書

平成 26 年 3 月

東 久 留 米 市

【目次】

I	調査の概要	1
I-1	調査の目的	1
I-2	調査の概要	1
I-3	回収結果	1
■	報告書を見る際の注意点	3
II	調査結果と分析	5
II-1	調査結果の概要	5
II-2	単純集計結果	10
II-3	クロス集計結果	30
1.	地域への愛着度	30
2.	地域活動等の状況	32
3.	地域のつながり	35
4.	福祉サービスに関すること	41
5.	地域の助け合いなどについて	42
6.	災害が起きたときの対応	44
III	資料編	45
III-1	調査票	45
III-2	自由回答	56

I 調査の概要

I-1 調査の目的

本調査は、福祉のまちづくりを進め、すべての市民が安全・安心で住みよい地域づくりに参加できるように、市民の日ごろの考えや、地域で感じている課題などを把握し、地域福祉の計画づくりに役立てることを目的に実施した。

I-2 調査の概要

調査対象 : 東久留米市内在住で20歳～74歳の男女1500人
抽出方法 : 層化無作為抽出法
調査方法 : 郵送配布、郵送回収法
調査期間 : 平成25年9月10日(火)～9月24日(火)
調査実施機関 : 株式会社インテージリサーチ
有効回収率 : 36.9% (554s/1500s)

I-3 回収結果

年代別および地区別の回収結果は下表のとおり。

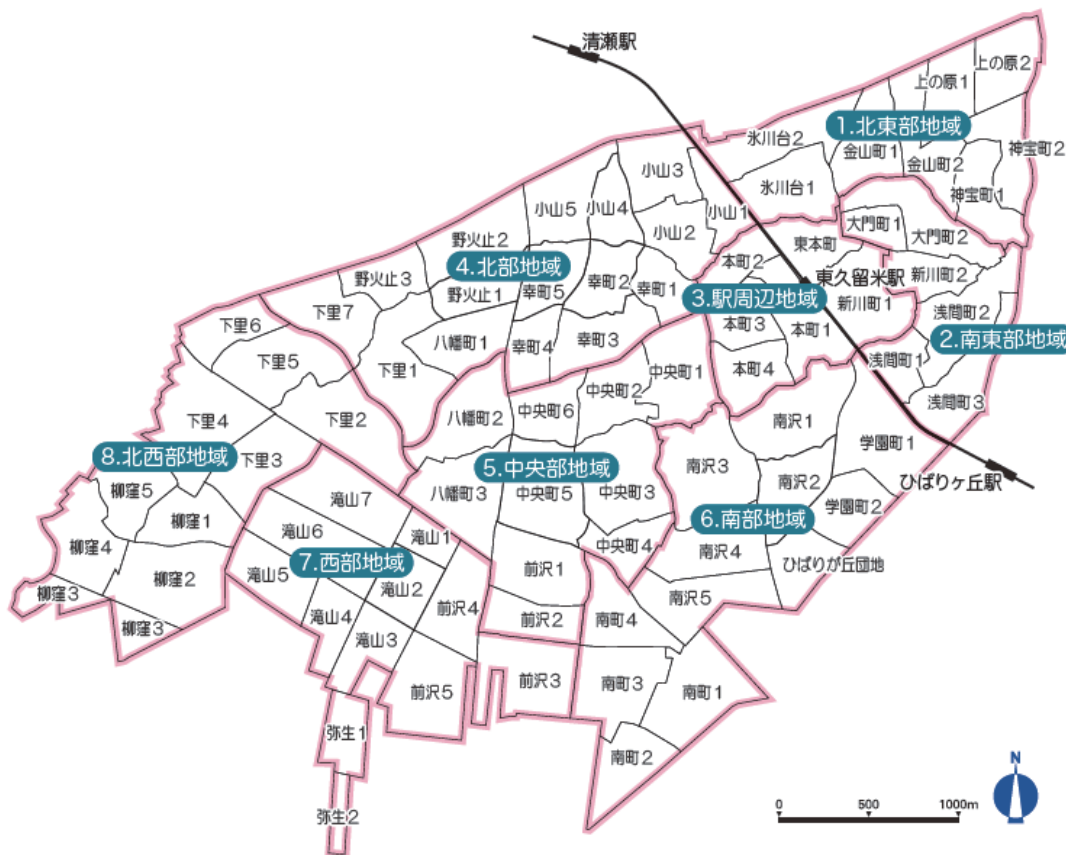
<性・年代別回収数(人)>

	TOTAL	女性	男性	無回答	配布数	回収率(%)
TOTAL	554	267	218	69	1500	36.9
20～24歳	31	15	15	1	127	24.4
25～29歳	31	18	12	1	129	24.0
30～34歳	45	27	16	2	134	33.6
35～39歳	38	23	13	2	141	27.0
40～44歳	37	19	15	3	146	25.3
45～49歳	41	26	10	5	141	29.1
50～54歳	49	24	23	2	135	36.3
55～59歳	53	25	23	5	131	40.5
60～64歳	71	31	26	14	140	50.7
65～69歳	63	23	24	16	139	45.3
70～74歳	86	34	40	12	137	62.8
無回答	9	2	1	6	-	-

< 地区別回収数（人） >





	TOTAL	配布数	(%)
TOTAL	554	1500	36.9
1ブロック	51	142	35.9
2ブロック	57	135	42.2
3ブロック	63	143	44.1
4ブロック	106	251	42.2
5ブロック	66	189	34.9
6ブロック	69	213	32.4
7ブロック	71	238	29.8
8ブロック	62	189	32.8
無回答	9	-	-

- 1ブロック（上の原1・2丁目、神宝町1・2丁目、金山町1・2丁目、氷川台1・2丁目）
 2ブロック（大門町1・2丁目、新川町2丁目、浅間町1～3丁目）
 3ブロック（東本町、新川町1丁目、本町1～4丁目）
 4ブロック（小山1～5丁目、幸町1～5丁目、下里1・7丁目、野火止1～3丁目、八幡町1丁目）
 5ブロック（中央町1～6丁目、八幡町2・3丁目、前沢1・2丁目）
 6ブロック（学園町1・2丁目、ひばりが丘団地、南沢1～5丁目、南町1～4丁目）
 7ブロック（前沢3～5丁目、滝山1～7丁目、弥生1・2丁目）
 8ブロック（下里2～6丁目、柳窪1～5丁目）



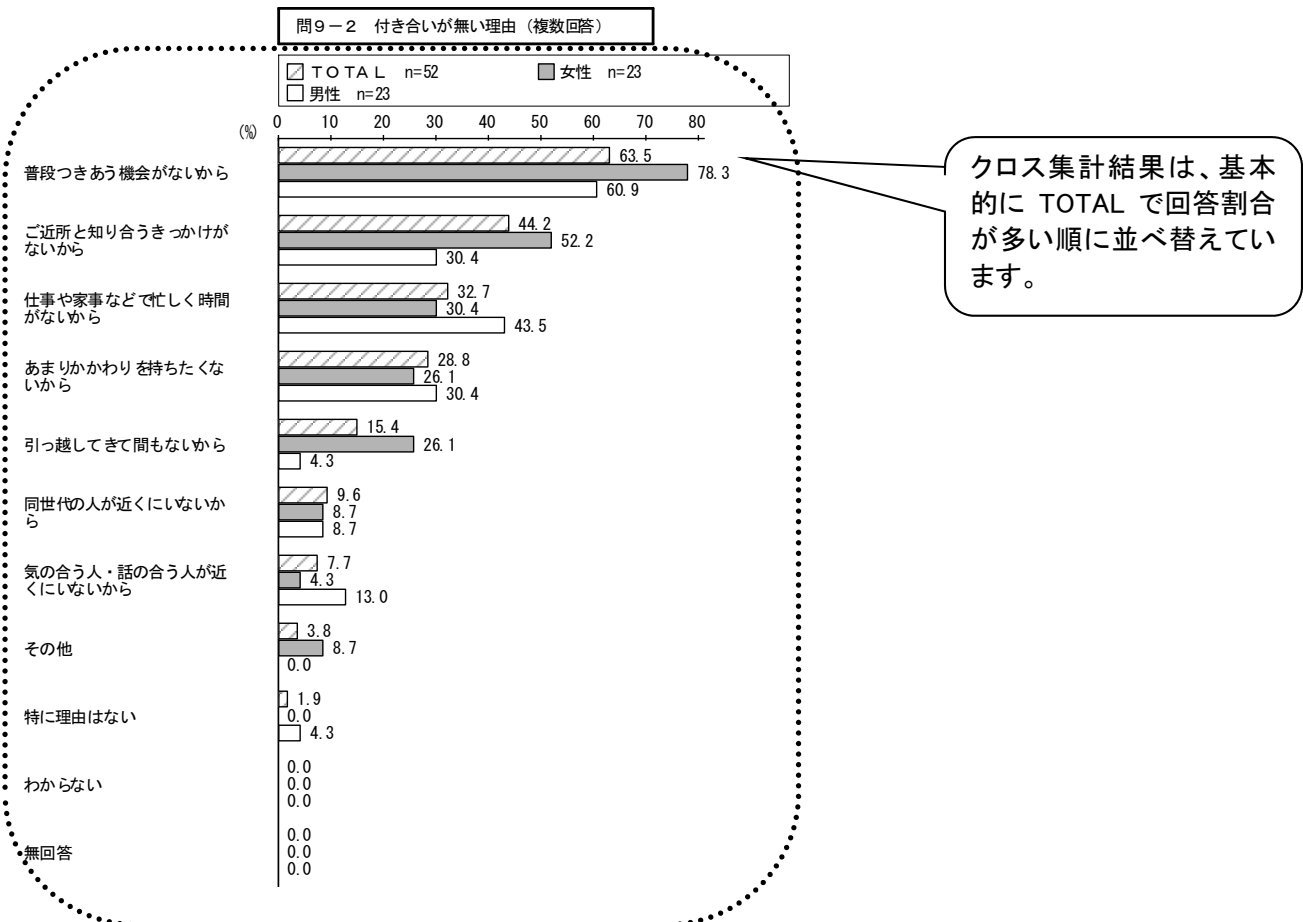
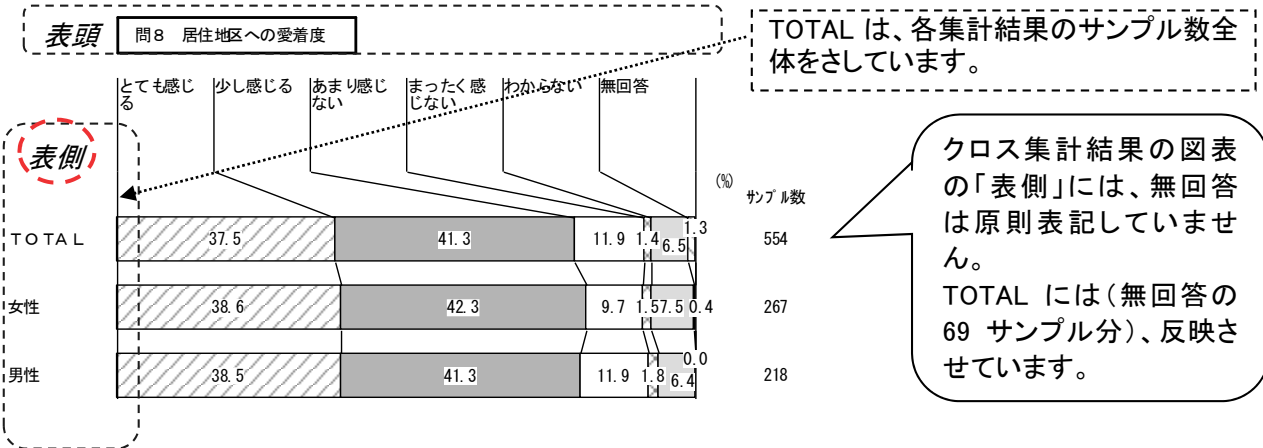
■ 報告書を見る際の注意点

【数値の見方】

- 調査結果の数値は、回答率（%：パーセント）で表示している。%の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数はnで示している。
- %の数値は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため各回答の数値の合計が必ずしも100%とならない場合がある。
- 回答は、単数回答（○はひとつ）と複数回答（あてはまるものすべてに○）の選択式の回答と、具体的に意見等を回答する場合がある。複数回答設問（M. A.）の場合は、その回答割合（%）の合計は100%を超えることがありうる。
- 設問番号・タイトルの前に「*」が記載されている項目は、該当設問番号の回答結果を用いて、選択肢を集約する等により再集計した項目である。
- 帯グラフや横棒グラフに  や  の印、縦棒グラフの数表に○や△の印がある。基本的にはTOTALに対し、有意水準5%で比率の差の検定を行い、統計的に意味のある差として、有意に高い（、○）または有意に低い（、△）ことを示している。（ただし、TOTALとの比較は参考値）
- 図表やコメント部分での回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。正式な回答の選択肢は、資料編の調査票を参照のこと。
- クロス集計において、サンプル数が30未満のものは、参考値として掲載している。

【グラフの見方】

各図表では、サンプル数、構成比（％）等の数値が記載されています。



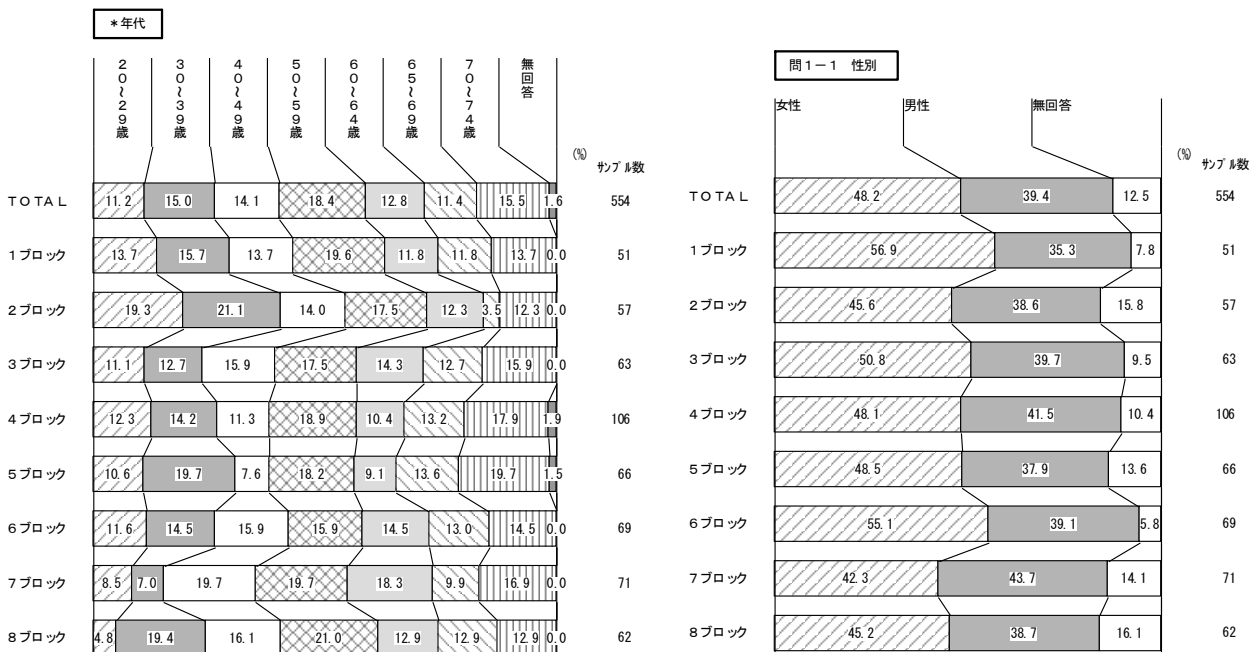
II 調査結果と分析

II-1 調査結果の概要

福祉のまちづくりを進めるにあたり、地域のつながりが必要だと感じる度合や、地域で感じている課題、地域で支え合っていくために必要だと思うことなど、地区ごとの特徴がみられた。また、災害時に一層期待される「地域での支え合い」に関連して、避難の際の不安における地区ごとの特徴に注目した。

ここでは、4つの設問に注目し、地区別の意識の違いをそれぞれ1ページで取りまとめた。なお、各設問文と選択肢ごとの回答割合はページ下部に掲載している。

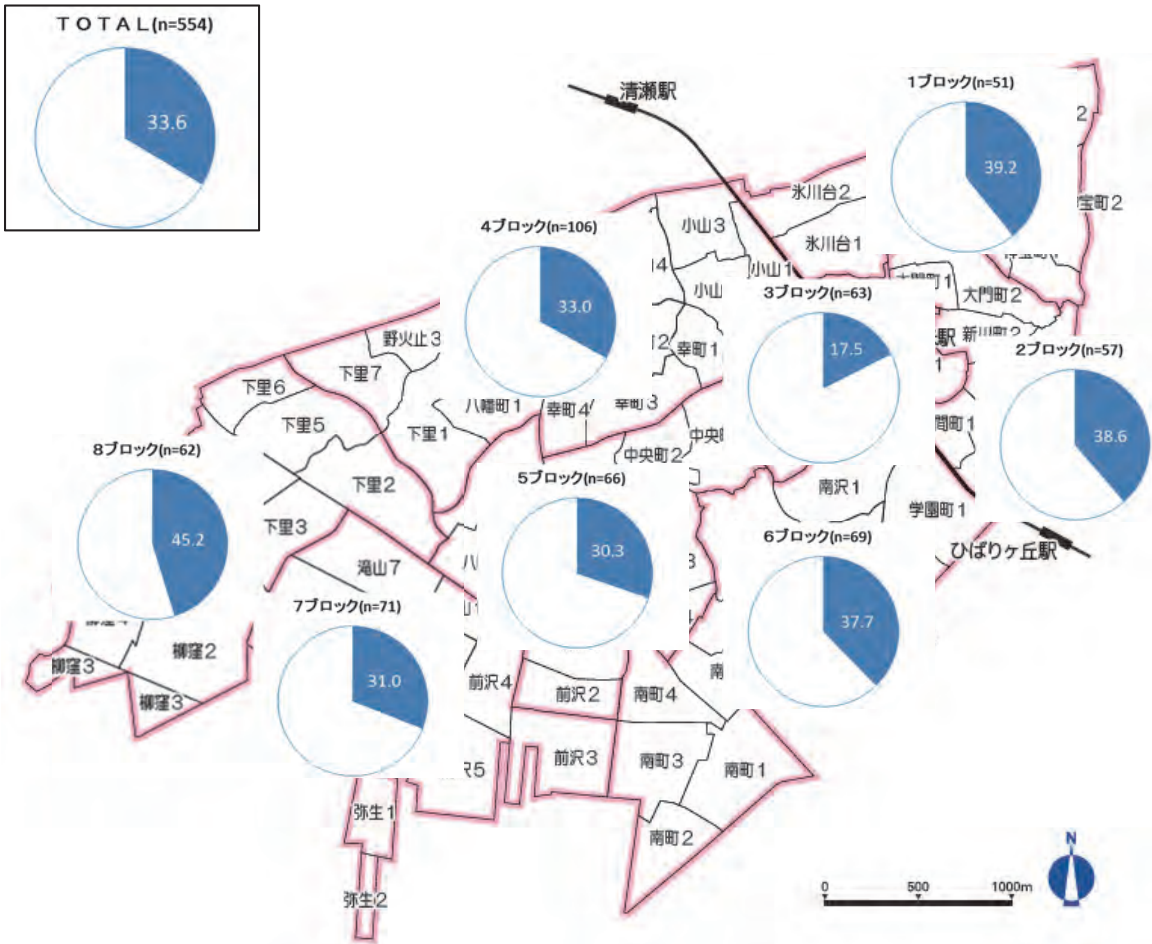
<地区別の回答者属性>



問 13 現在の地域での暮らしに「地域のつながり」は「とても必要」だと思う割合

「地域のつながり」は「とても必要」だと思う割合は 33.6%。

地区別では、第 8 ブロックでは 45.2% と最も高い一方、第 3 ブロックは 17.5% と最も低い。



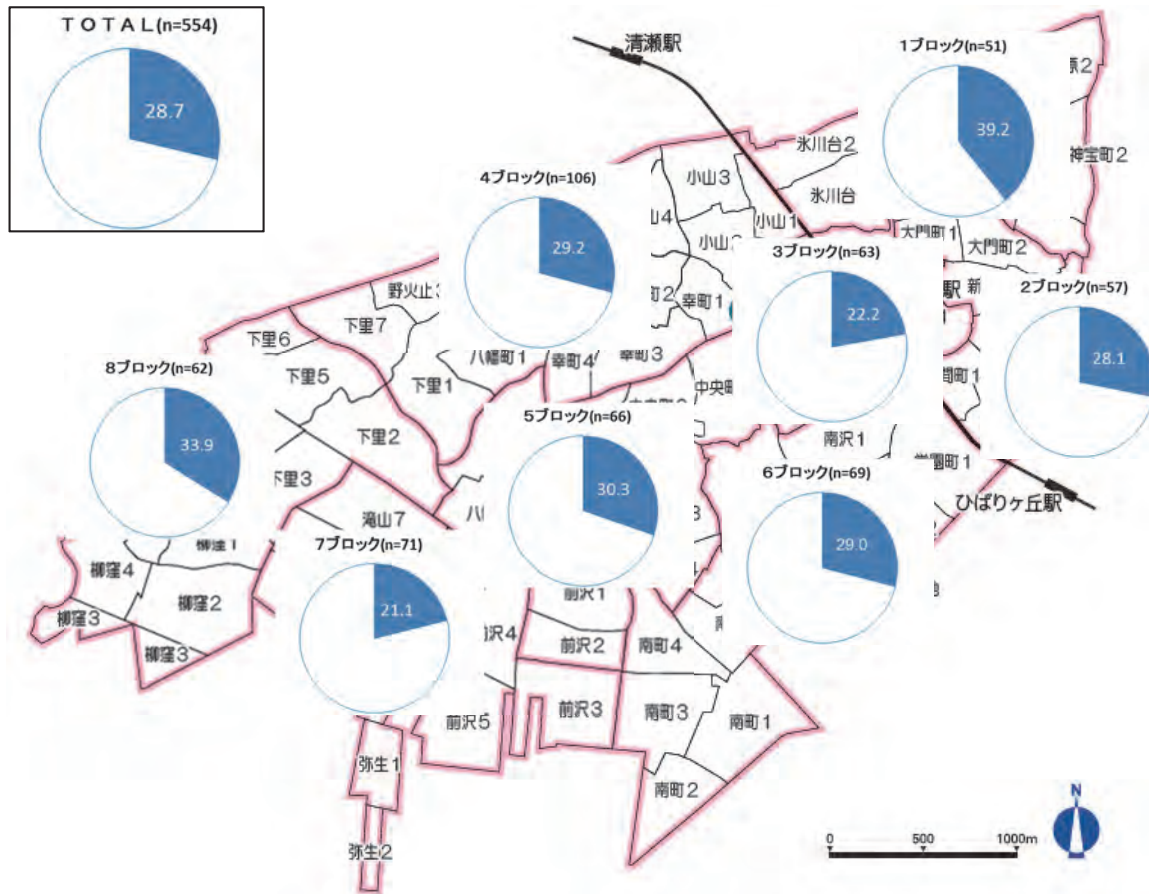
問 13 あなたは、現在の地域での暮らしに「地域のつながり」は必要だと思いますか。(単数回答)

選肢 (%)	とても必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらかといえば必要ないと思う	必要ないと思う	その他	わからない	無回答
地区							
TOTAL (n=554)	33.6	54.0	3.2	1.3	0.0	6.9	1.1
1ブロック (n=51)	39.2	49.0	2.0	3.9	0.0	5.9	0.0
2ブロック (n=57)	38.6	52.6	5.3	1.8	0.0	1.8	0.0
3ブロック (n=63)	17.5	69.8	3.2	1.6	0.0	6.3	1.6
4ブロック (n=106)	33.0	55.7	3.8	0.9	0.0	5.7	0.9
5ブロック (n=66)	30.3	54.5	3.0	1.5	0.0	6.1	4.5
6ブロック (n=69)	37.7	44.9	5.8	1.4	0.0	10.1	0.0
7ブロック (n=71)	31.0	60.6	1.4	0.0	0.0	7.0	0.0
8ブロック (n=62)	45.2	41.9	1.6	0.0	0.0	9.7	1.6

問 14 現在のお住まいの地域で「夜間暗いところがあり、通行に不安」と感じる割合

「夜間暗いところがあり、通行に不安」と感じる割合は 28.7%。

地区別では、第 7 ブロックは 21.1% と最も低い一方、第 1 ブロックでは 39.2% と最も高い。

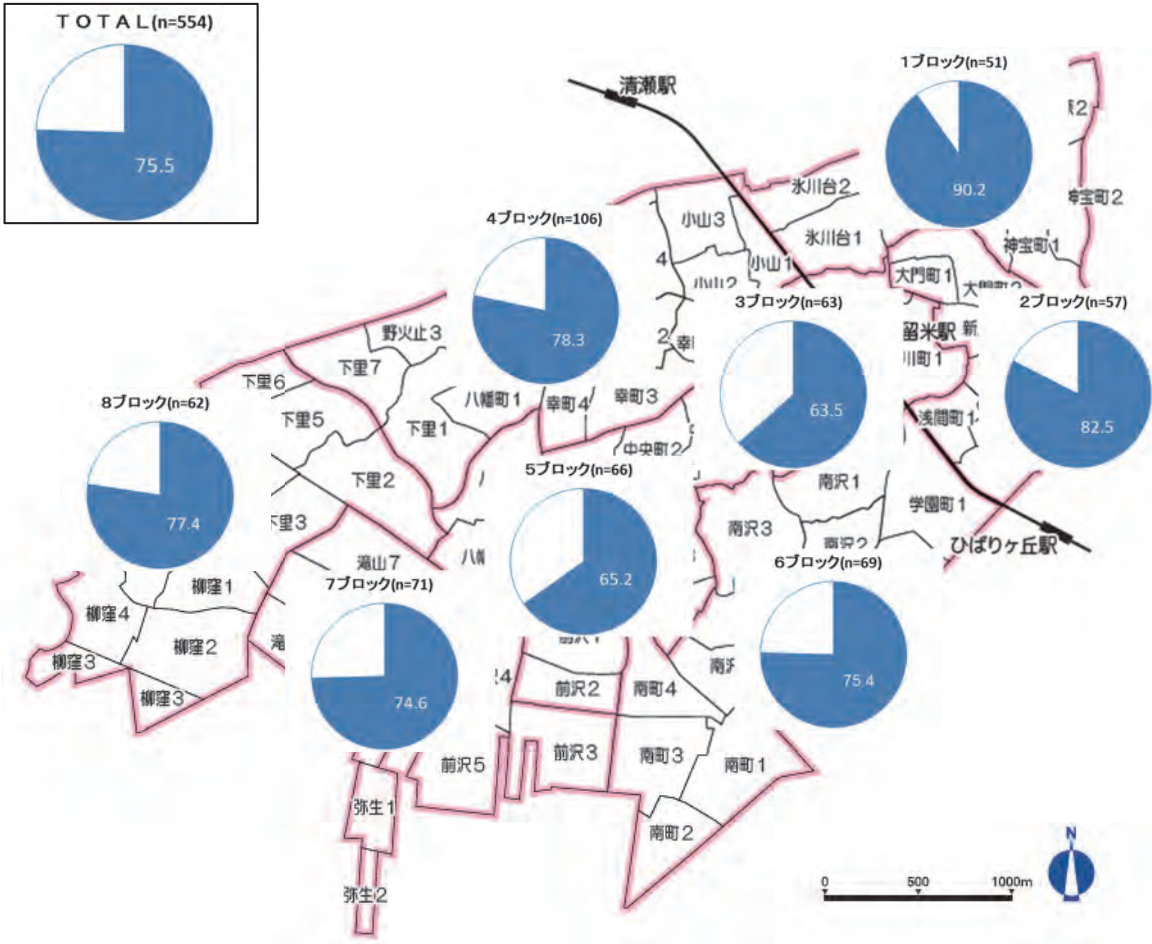


問 14 あなたは、現在のお住まいの地域で課題と覚えることはありますか。(複数回答)

選択肢 (%)	夜間暗いところがあり、通行に不安	近隣同士のコミュニケーションが少ないと感じる	ゴミなどの不法投棄がたびたびある	騒音が激しい	買い物に不便	自然環境が少ない	住民層の入れ替わりが激しい	その他	無回答
地区									
TOTAL (n=554)	28.7	26.5	20.9	11.4	8.1	5.8	4.5	15.7	19.0
1ブロック (n=51)	39.2	25.5	27.5	3.9	7.8	2.0	0.0	9.8	21.6
2ブロック (n=57)	28.1	28.1	24.6	12.3	15.8	0.0	5.3	17.5	14.0
3ブロック (n=63)	22.2	25.4	20.6	17.5	1.6	9.5	3.2	14.3	17.5
4ブロック (n=106)	29.2	34.0	22.6	15.1	6.6	7.5	2.8	13.2	13.2
5ブロック (n=66)	30.3	19.7	18.2	3.0	9.1	7.6	0.0	21.2	18.2
6ブロック (n=69)	29.0	21.7	15.9	13.0	5.8	10.1	2.9	15.9	26.1
7ブロック (n=71)	21.1	25.4	19.7	4.2	5.6	2.8	12.7	15.5	23.9
8ブロック (n=62)	33.9	27.4	21.0	17.7	11.3	1.6	8.1	19.4	17.7

問 23 地域の人々がお互いに支え合っていく上で
「隣近所の住民同士の普段からのつきあい」を大切と思う割合

「隣近所の住民同士の普段からのつきあい」を大切と思う割合は 75.5%。
地区別では、第 1 ブロックは 90.2%と最も高い一方、第 3 ブロックでは 63.5%と最も低い。

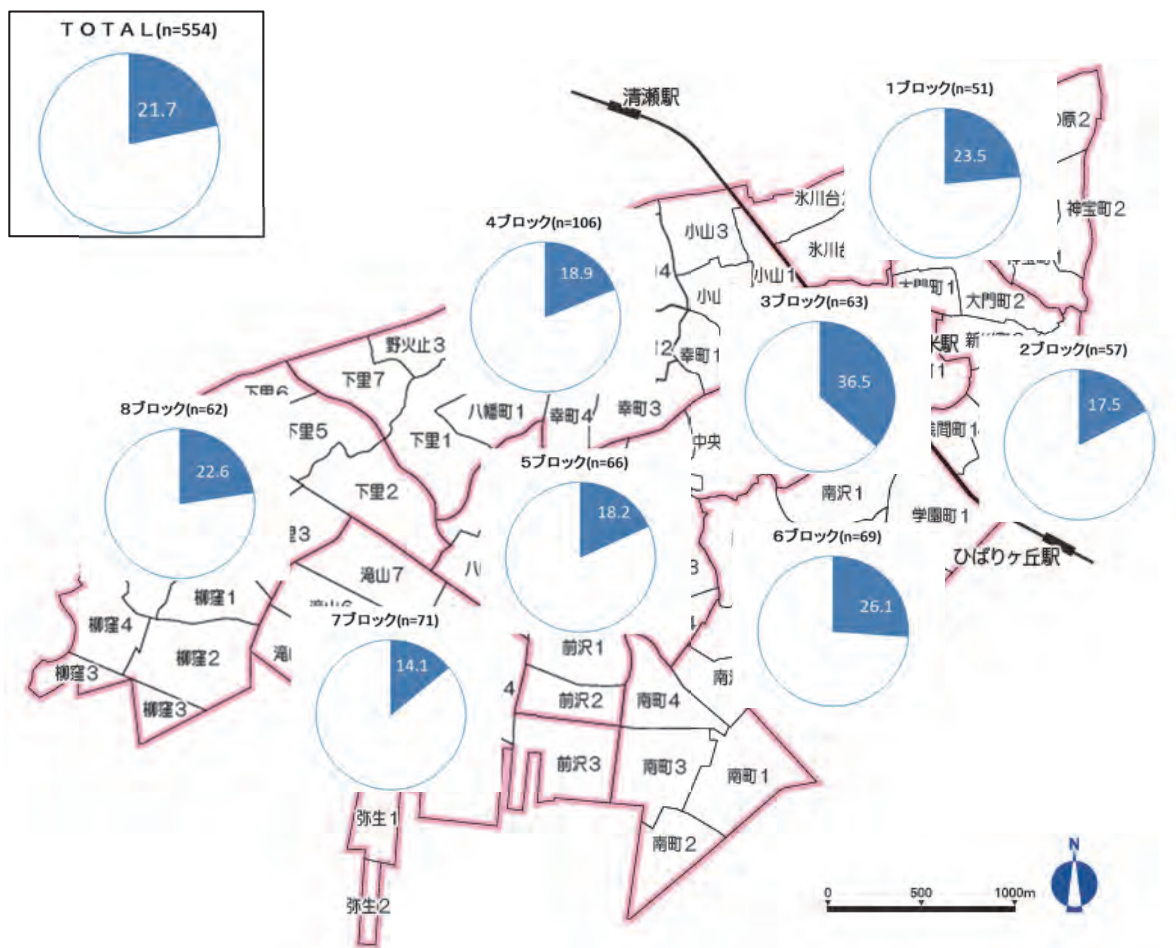


問 23 あなたは、地域の人々がお互いに支え合っていく上で大切なことはどのようなことだと思いますか。
(回答は3つまで)

選択肢 (%)	隣近所の住民同士の普段からのつきあい	ひとりで暮らしている高齢者の見守りなどの活動	地域が行う防災活動などの日常的な協力活動	スポーツやレクリエーション活動を通じた健康づくり	子どものしつけや子育て	障害のある人となない人との交流	その他	わからない	無回答
TOTAL(n=554)	75.5	54.3	46.4	24.9	21.8	19.7	1.3	2.2	2.3
1ブロック(n=51)	90.2	51.0	41.2	25.5	31.4	11.8	0.0	0.0	2.0
2ブロック(n=57)	82.5	54.4	50.9	24.6	26.3	14.0	3.5	5.3	0.0
3ブロック(n=63)	63.5	61.9	57.1	22.2	22.2	22.2	0.0	4.8	1.6
4ブロック(n=106)	78.3	54.7	47.2	32.1	17.0	23.6	0.0	1.9	0.9
5ブロック(n=66)	65.2	53.0	42.4	24.2	22.7	24.2	3.0	1.5	3.0
6ブロック(n=69)	75.4	52.2	50.7	26.1	14.5	18.8	1.4	1.4	1.4
7ブロック(n=71)	74.6	53.5	40.8	23.9	15.5	22.5	1.4	0.0	7.0
8ブロック(n=62)	77.4	53.2	43.5	14.5	30.6	14.5	1.6	1.6	3.2

問 25 火災などの避難の際に
「避難先や避難方向がわからず、逃げ遅れるのではないか」と不安な割合

「避難先や避難方向がわからず、逃げ遅れるのではないか」と不安に感じる割合は 21.7%。
地区別では、第 7 ブロックは 14.1% と低い一方、第 3 ブロックでは 36.5% と最も高い。



問 25 あなたは、火災などの避難の際に不安なことは何ですか。(複数回答)

選択肢 (%)	就寝しているときに火災に気づくのが遅れる	いざというときに冷静に判断出来ずパニックになる	避難先や避難方向がわからず、逃げ遅れる	体力の低下によりで避難ができず、逃げ遅れる	非常ベルなどの音が聞こえず火災に気づくのが遅れる	その他	不安を感じていない	無回答
地区								
TOTAL (n=554)	54.5	49.6	21.7	17.7	14.1	5.8	12.3	2.5
1ブロック (n=51)	60.8	45.1	23.5	19.6	11.8	3.9	15.7	5.9
2ブロック (n=57)	43.9	47.4	17.5	7.0	8.8	12.3	15.8	1.8
3ブロック (n=63)	54.0	50.8	36.5	19.0	15.9	4.8	6.3	1.6
4ブロック (n=106)	56.6	58.5	18.9	24.5	14.2	4.7	10.4	0.0
5ブロック (n=66)	60.6	43.9	18.2	22.7	12.1	6.1	7.6	1.5
6ブロック (n=69)	49.3	50.7	26.1	18.8	14.5	4.3	10.1	1.4
7ブロック (n=71)	50.7	43.7	14.1	14.1	14.1	7.0	22.5	4.2
8ブロック (n=62)	61.3	53.2	22.6	9.7	19.4	3.2	8.1	4.8

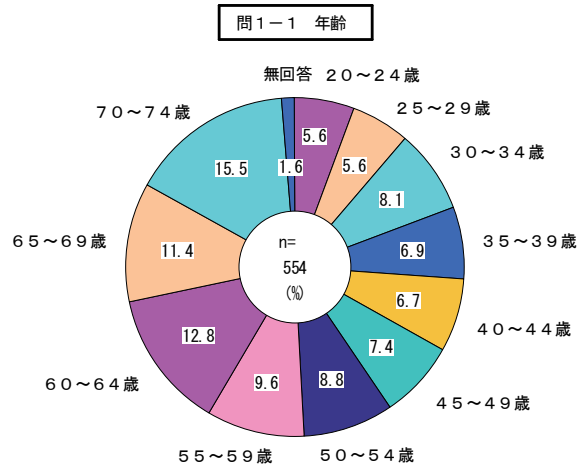
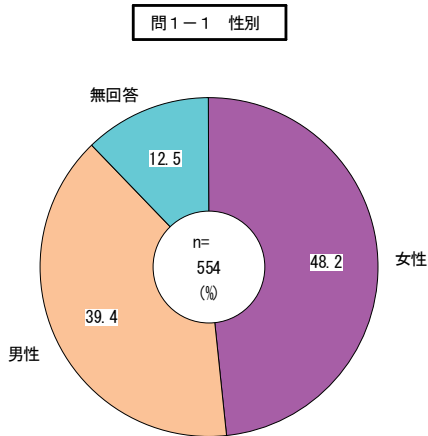
II-2 単純集計結果

問1 あなた（あて名ご本人）の性別、年齢をお答えください。（それぞれ〇はひとつ）

性別は、「女性」が48.2%、「男性」が39.4%である。

年代は、「70～74歳」が15.5%と最も高く、次いで「60～64歳」（12.8%）である。

60歳以上が回答者の約4割を占めている。

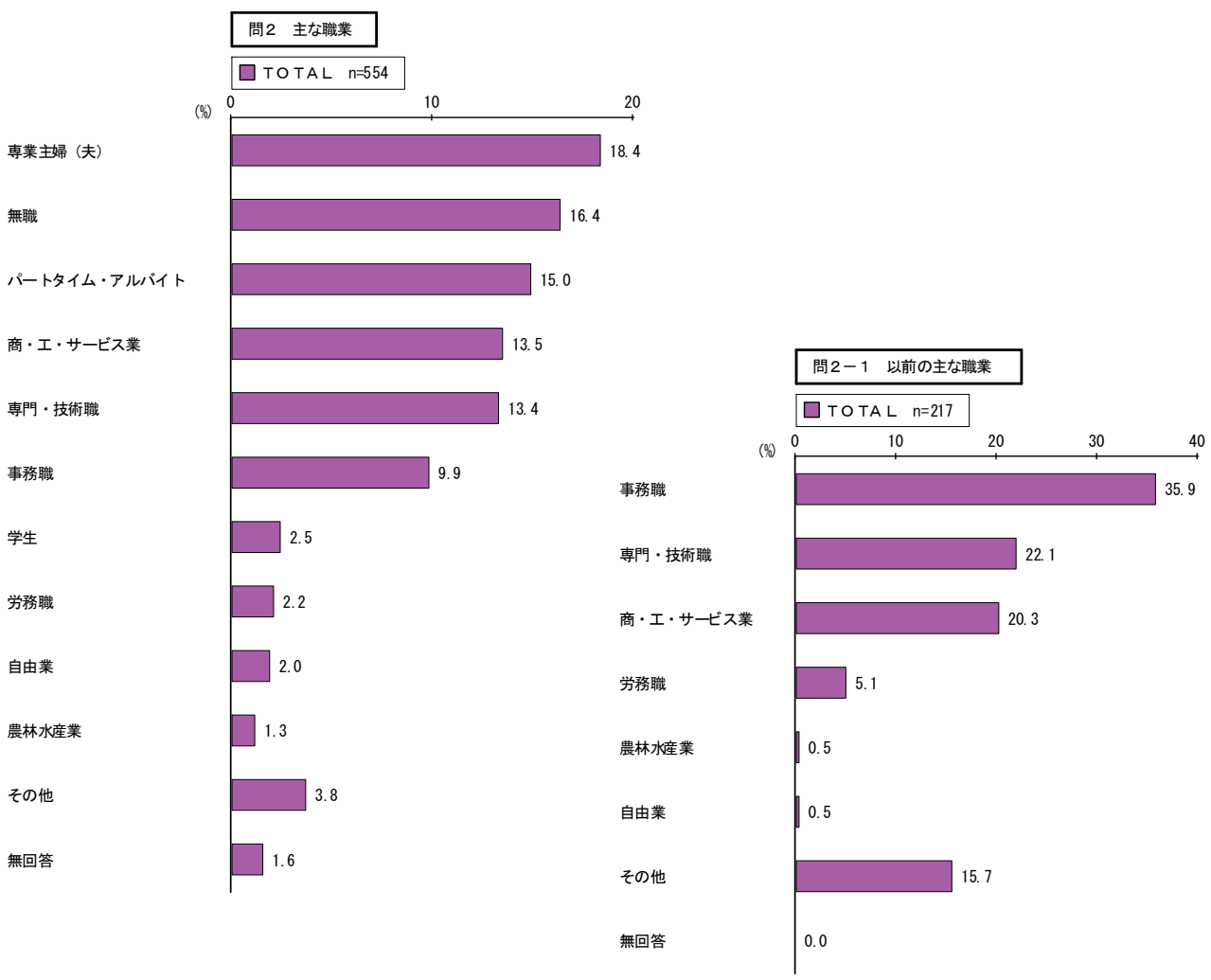


問2 あなた（あて名ご本人）の主な職業は何ですか。（〇はひとつ）

「専業主婦（夫）」が18.4%と最も高く、次いで「無職」（16.4%）、「パートタイム・アルバイト」（15.0%）となっている。（左図）

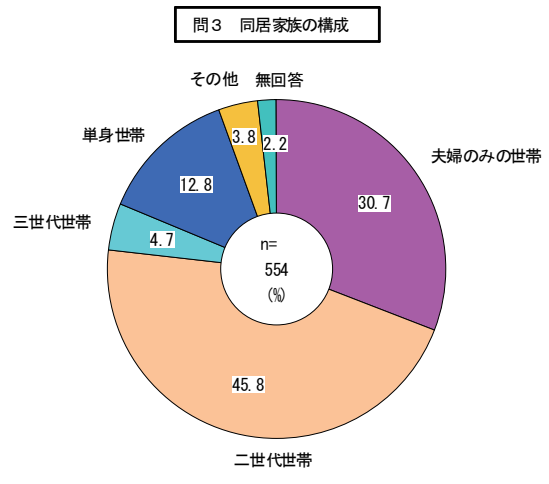
問2-1 （前問で「7. パートタイム・アルバイト」「8. 専業主婦（夫）」
「10. 無職」等と回答された方のうち、以前お勤めされていた方に）
 ※ お勤めされていなかった方は、問3へお進みください。
 以前お勤めのときの主な職業は何でしたか。（〇はひとつ）

「事務職」が35.9%と最も高く、次いで「専門・技術職」（22.1%）、「商・工・サービス業」（20.3%）となっている。（右図）



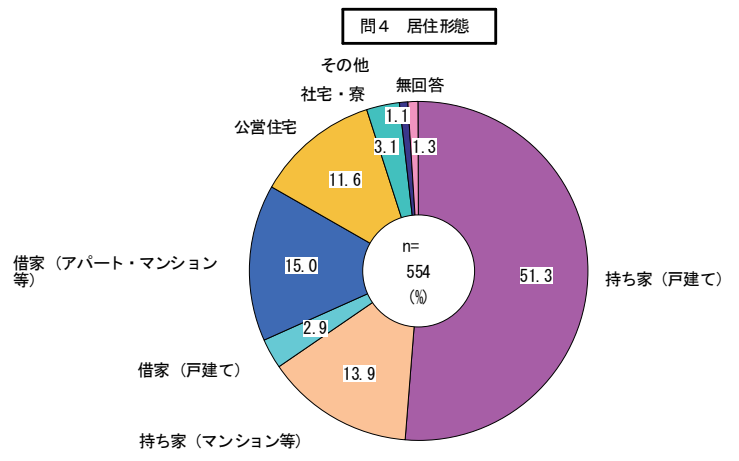
問3 あなた（あて名ご本人）の同居家族の構成について。（〇はひとつ）

「二世世代世帯」が45.8%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」(30.7%)、「単身世帯」(12.8%)となっている。



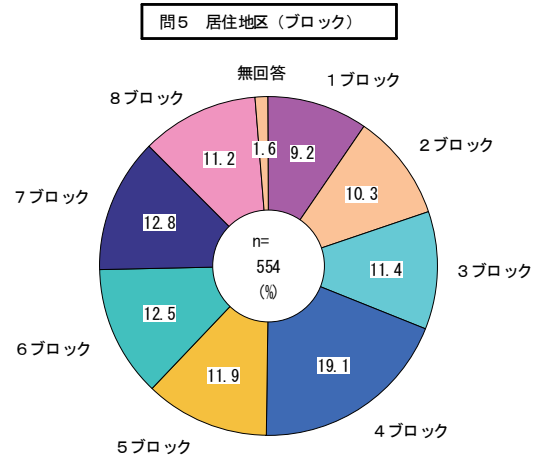
問4 あなた（あて名ご本人）のお住まいについて、あてはまるものをお選びください。（〇はひとつ）

「持ち家（戸建て）」が51.3%と最も高く、次いで「借家（アパート・マンション等）」(15.0%)、「持ち家（マンション等）」(13.9%)となっている。



問5 あなた（あて名ご本人）のお住まいは、どちらですか。（〇はひとつ）

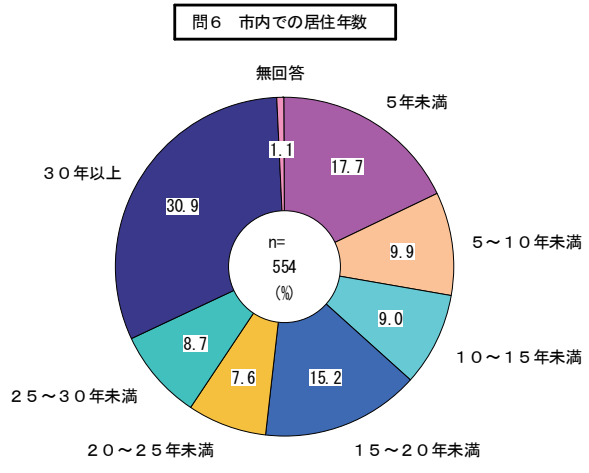
「4ブロック」が 19.1%と最も高く、次いで「7ブロック」（12.8%）、「6ブロック」（12.5%）となっている。



- 1ブロック（上の原1・2丁目、神宝町1・2丁目、金山町1・2丁目、氷川台1・2丁目）
- 2ブロック（大門町1・2丁目、新川町2丁目、浅間町1～3丁目）
- 3ブロック（東本町、新川町1丁目、本町1～4丁目）
- 4ブロック（小山1～5丁目、幸町1～5丁目、下里1・7丁目、野火止1～3丁目、八幡町1丁目）
- 5ブロック（中央町1～6丁目、八幡町2・3丁目、前沢1・2丁目）
- 6ブロック（学園町1・2丁目、ひばりが丘団地、南沢1～5丁目、南町1～4丁目）
- 7ブロック（前沢3～5丁目、滝山1～7丁目、弥生1・2丁目）
- 8ブロック（下里2～6丁目、柳窪1～5丁目）

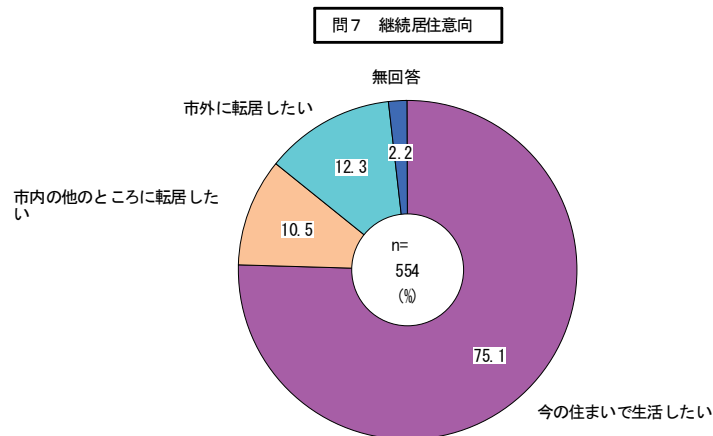
問6 あなた（あて名ご本人）の市内の居住年数についてお答えください。市内での転居は、通算してお答えください。（〇はひとつ）

「30年以上」が 30.9%と最も高く、次いで「5年未満」（17.7%）、「15～20年未満」（15.2%）となっている。



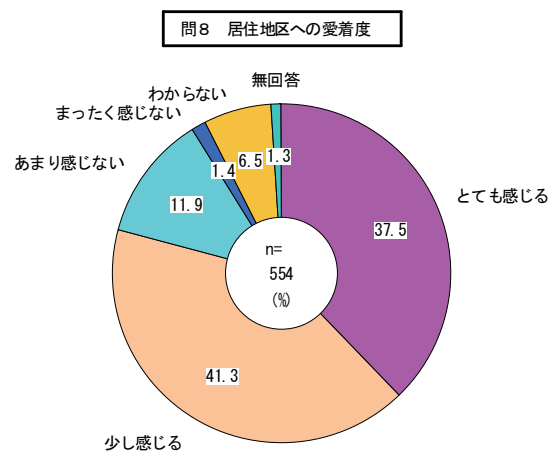
問7 あなた（あて名ご本人）は、今後もずっと現在のお住まいで生活していきたいと思
いますか。（〇はひとつ）

「今の住まいで生活したい」が 75.1%と最も高く、次いで「市外に転居したい」（12.3%）、「市
内の他のところに転居したい」（10.5%）となっている。



問8 あなた（あて名ご本人）は、お住まいの地域に愛着を感じていますか。（〇はひとつ）

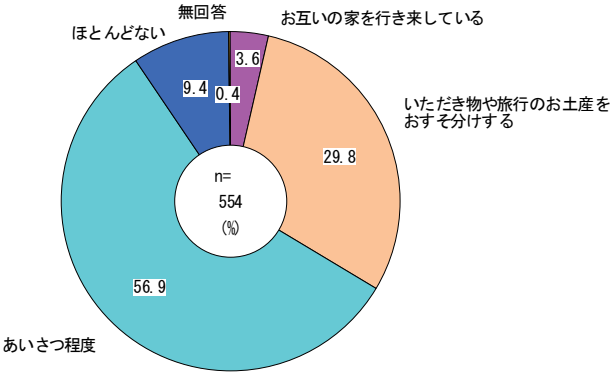
「少し感じる」が 41.3%と最も高く、次いで「とても感じる」（37.5%）となっている。「少し感
じる」「とても感じる」合わせて、78.8%の人が愛着を感じている。



問9 あなた（あて名ご本人）の「日常的なつきあい」について、おうかがいします。
 ① ふだん、となり近所とどのようなおつきあいをされていますか。（〇はひとつ）

「あいさつ程度」が 56.9%と最も高く、次いで「いただき物や旅行のお土産をおすそ分けする」（29.8%）となっている。一方、「ほとんどない」は 9.4%である。

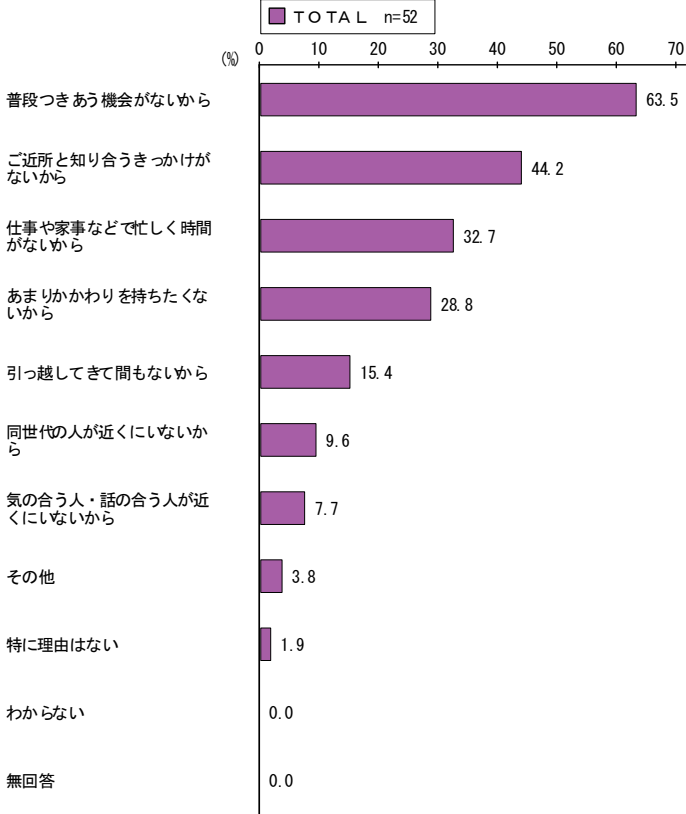
問9-1 となり近所同士の付き合いの程度



② ①で「4. ほとんどない」と答えた方におたずねします。主な理由は何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

「普段つきあう機会がないから」が 63.5%と最も高く、次いで「ご近所と知り合うきっかけがないから」（44.2%）、「仕事や家事などで忙しく時間がないから」は 32.7%である。

問9-2 付き合いが無い理由（複数回答）

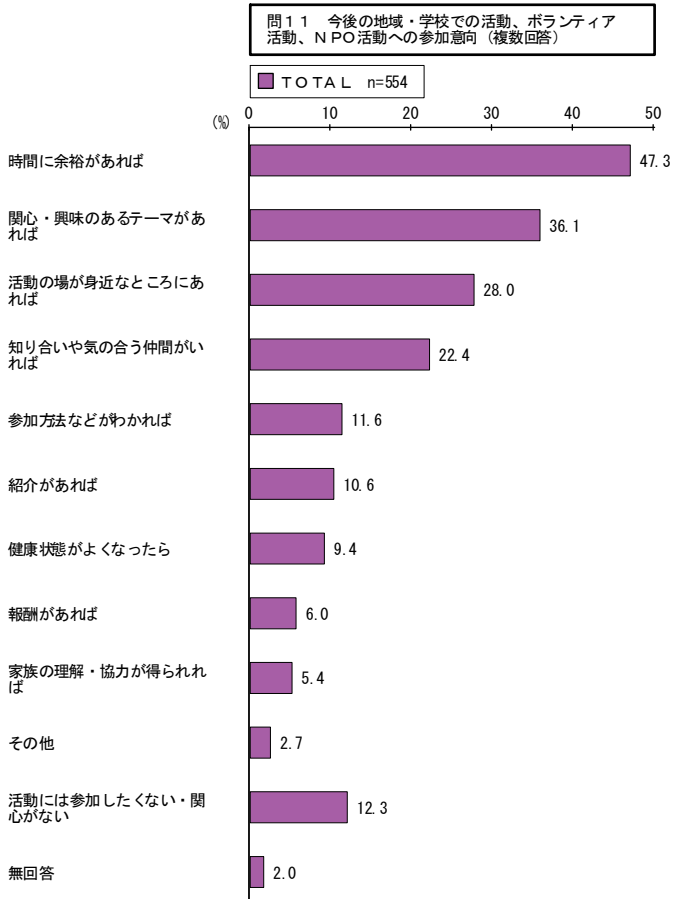
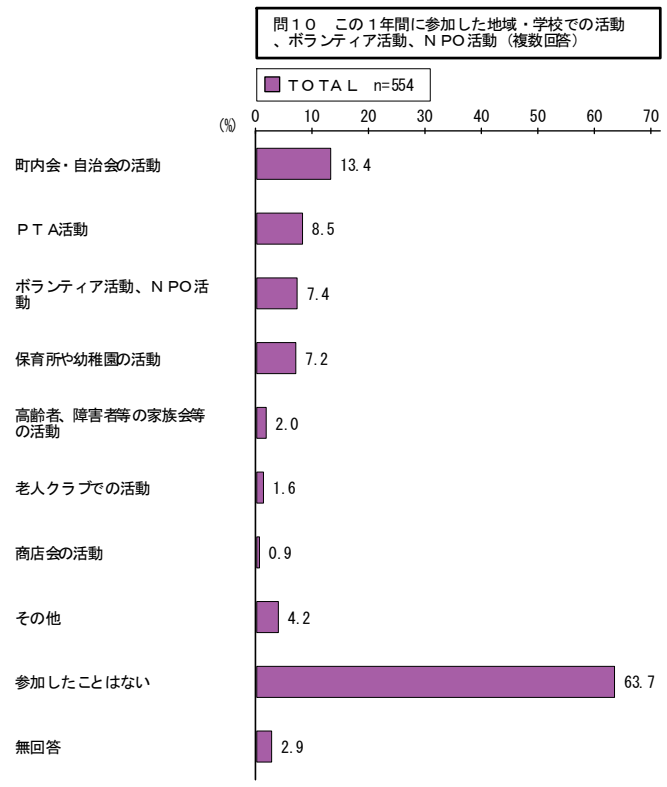


問 10 あなた（あて名ご本人）は、過去1年以内に（現在も含めて）、地域・学校などでの活動や、ボランティア活動、NPO（※）活動を行ったり、参加したことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

過去1年以内に参加したことがある活動では、「町内会・自治会の活動」が13.4%と最も高く、次いで「PTA活動」（8.5%）、「ボランティア活動、NPO活動」（7.4%）となっている。
過去1年以内に活動に「参加したことはない」は63.7%となっている。（左図）

問 11 あなた（あて名ご本人）は、今後、地域の活動、ボランティア活動、NPO活動などに参加したいと思いませんか。現在の活動の有無にかかわらずお答えください。
※趣味活動等は除いてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

「時間に余裕があれば」が47.3%と最も高く、次いで「関心・興味のあるテーマがあれば」（36.1%）、「活動の場が身近なところがあれば」（28.0%）となっている。（右図）

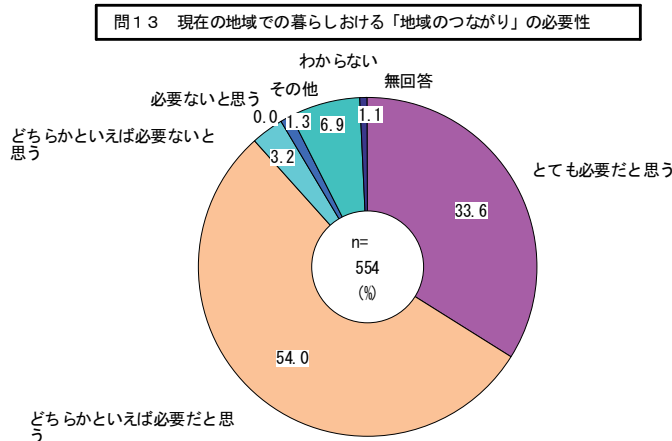


問 12 住みよい福祉のまちづくりのため、あなた（あて名ご本人）の生かせる「特技」「経験」などがありますか。もしよろしければ、ご自由にご記入ください。

※資料編参照

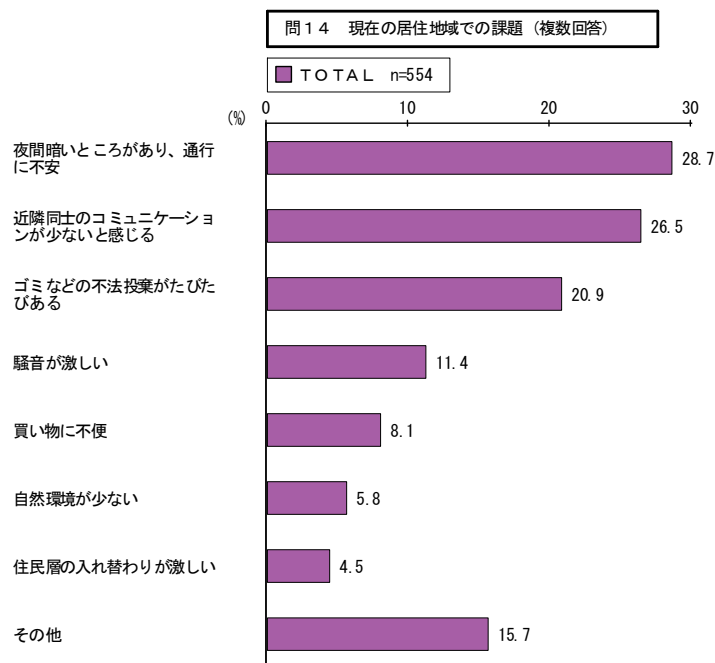
問 13 あなた（あて名ご本人）は、現在の地域での暮らしに「地域のつながり」は必要だと思いますか。（〇はひとつ）

「どちらかといえば必要だと思う」が 54.0%と最も高く、次いで「とても必要だと思う」（33.6%）となっており、「どちらかといえば必要だと思う」「とても必要だと思う」合わせて、87.6%となっている。



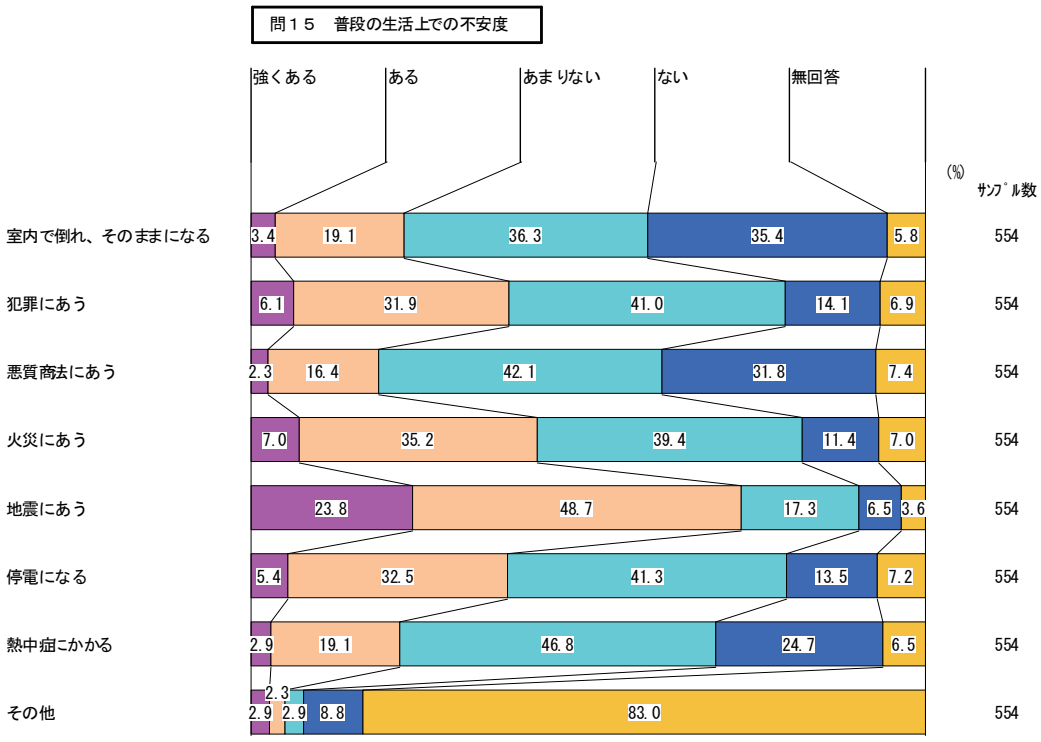
問 14 あなた（あて名ご本人）は、現在のお住まいの地域で課題と感ずることはありますか。次のうちからあてはまるものをお選びください。（あてはまるものすべてに〇）

「夜間暗いところがあり、通行に不安」が 28.7%と最も高く、次いで「近隣同士のコミュニケーションが少ないと感じる」（26.5%）、「ゴミなどの不法投棄がたびたびある」（20.9%）となっている。



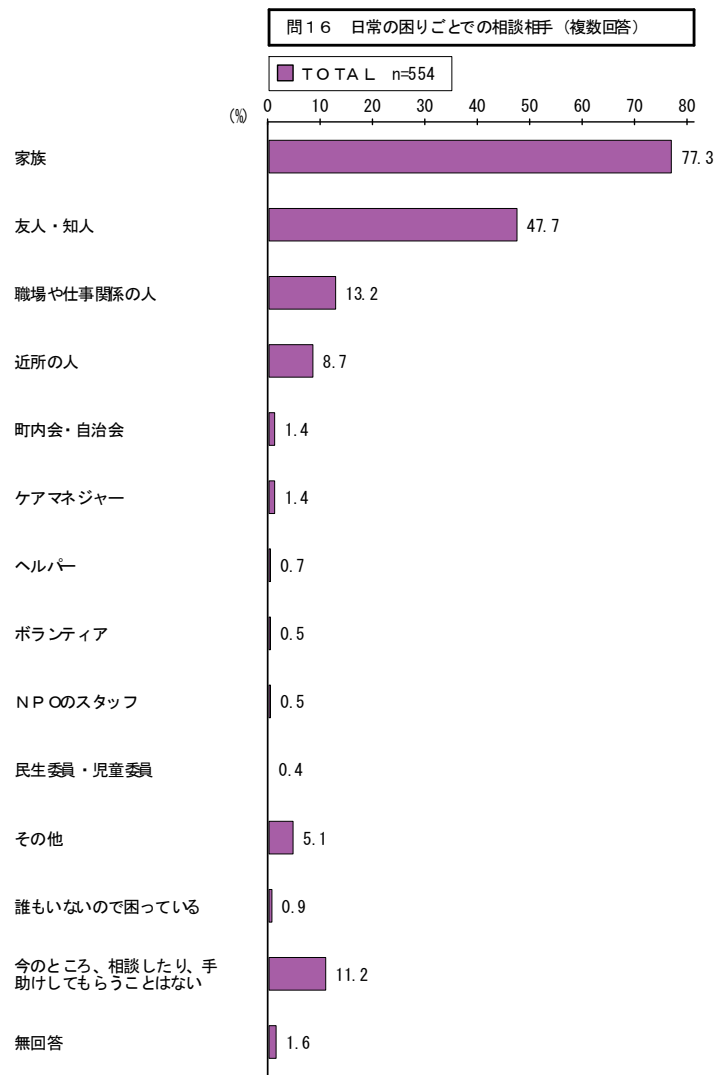
問 15 あなた（あて名ご本人）が普段の生活上で不安になることはありますか。それぞれについて、あてはまる番号に○をおつけください。

不安になることが「強くある」ものについて、8項目の中では、「地震にあう」が23.8%と最も高く、次いで「火災にあう」(7.0%)、「犯罪にあう」(6.1%)となっている。



問 16 あなた（あて名ご本人）は、日常の困りごとを、だれに相談したり手助けをしてもらっていますか。（あてはまるものすべてに○）

「家族」が 77.3%と最も高く、次いで「友人・知人」（47.7%）、「職場や仕事関係の人」（13.2%）となっている。「今のところ、相談したり、手助けしてもらったことはない」は 11.2%である。

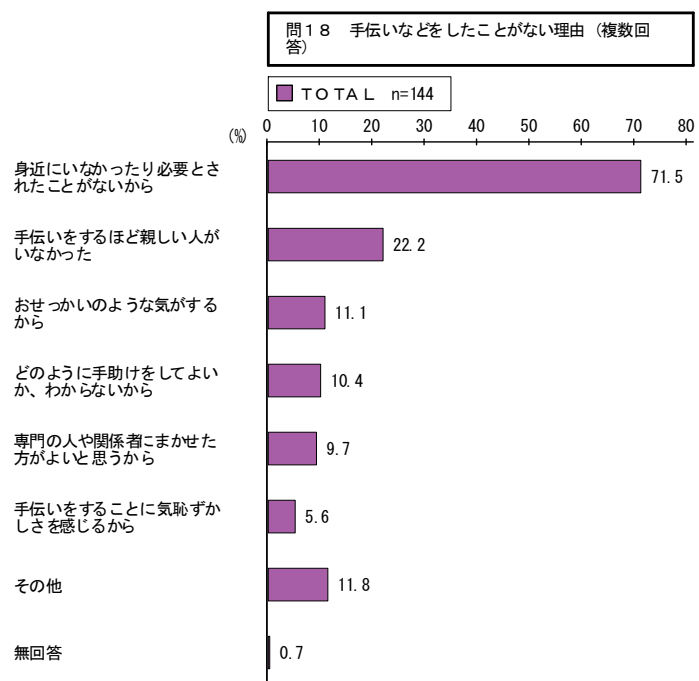
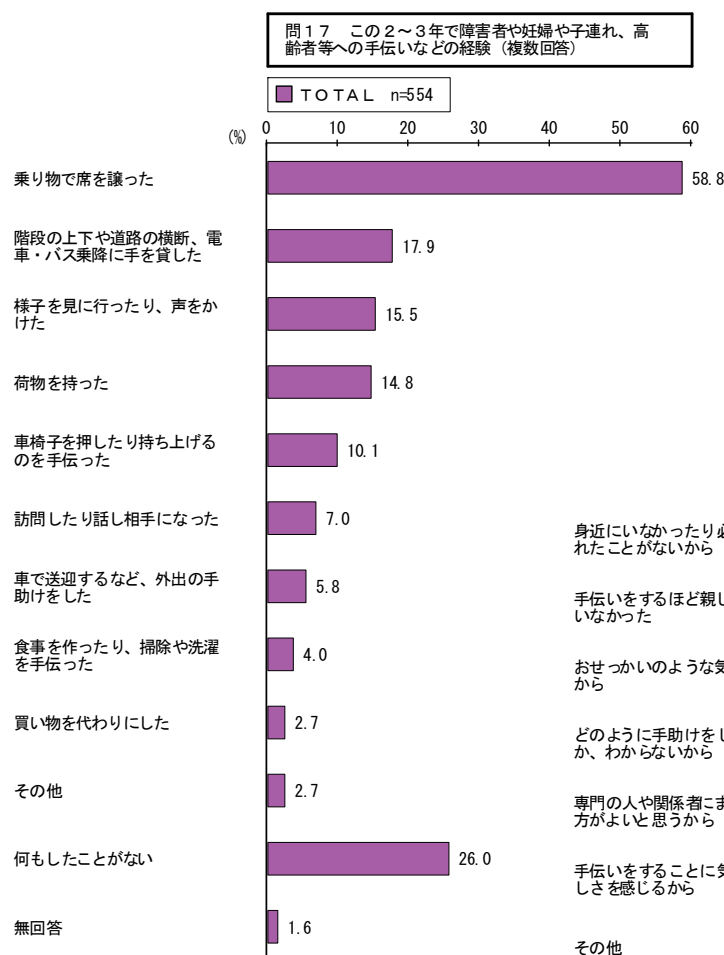


問 17 あなた（あて名ご本人）は、この 2～3 年のうちに、街やご近所で、障害のある人や妊婦、子ども連れ、高齢者等に対して、次のようなお手伝いなどをしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

「乗り物で席を譲った」が 58.8%と最も高い。経験では、次いで「階段の上下や道路の横断、電車・バス乗降に手を貸した」（17.9%）、「様子を見に行ったり、声をかけた」（15.5%）となっている。一方、「何もしたことがない」は 26.0%である。（左図）

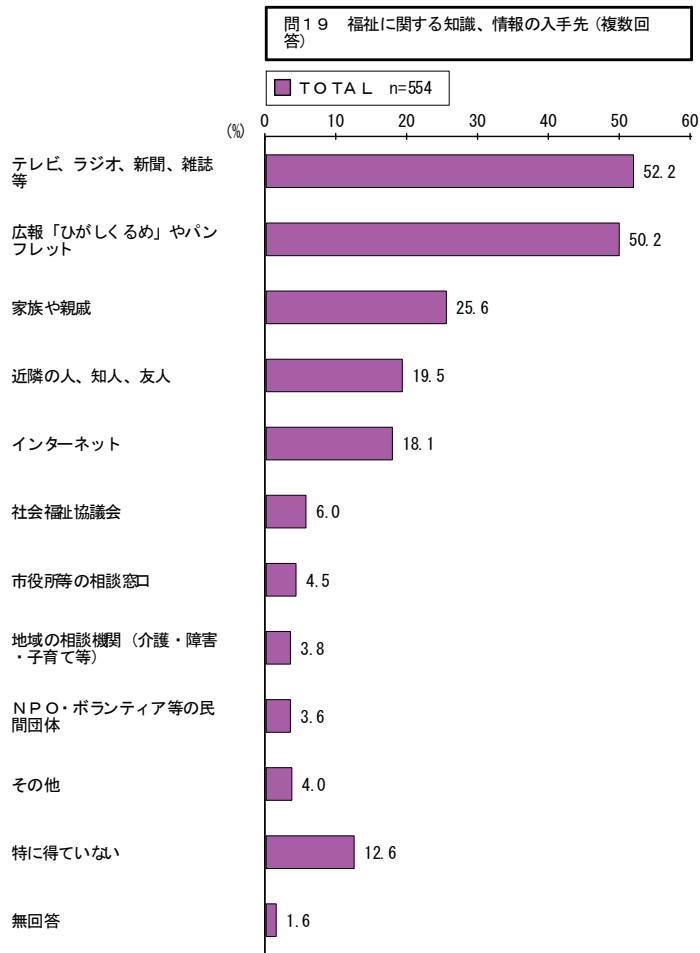
問 18 お手伝いなどをしたことがない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「身近にいなかったり必要とされたことがないから」が 71.5%と最も高く、次いで「手伝いをするほど親しい人がいなかった」（22.2%）、「おせっかいのような気がするから」（11.1%）となっている。（右図）



問 19 あなた（あて名ご本人）は、福祉に関する知識、情報をどこから得ていますか。
（あてはまるものすべてに○）

「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」が 52.2%と最も高く、次いで「広報「ひがしくるめ」やパンフレット」（50.2%）、「家族や親戚」（25.6%）となっている。一方、「特に得ていない」は 12.6%である。

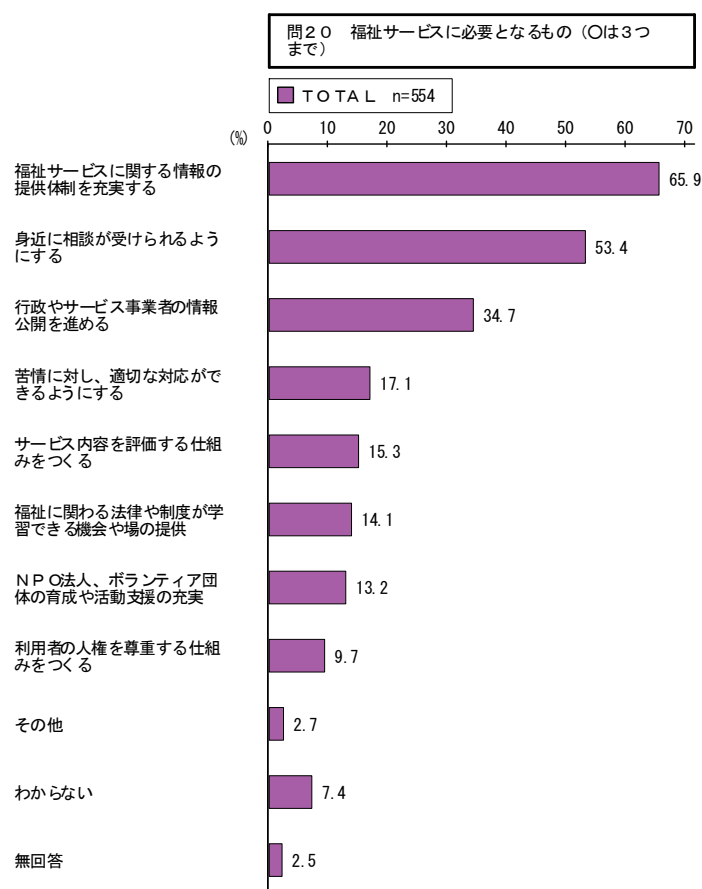


福祉サービスに関することについて

問 20 ほとんどの福祉サービスは、利用者が自由に選択（必要とする福祉サービスを自ら選択）できるようになっています。

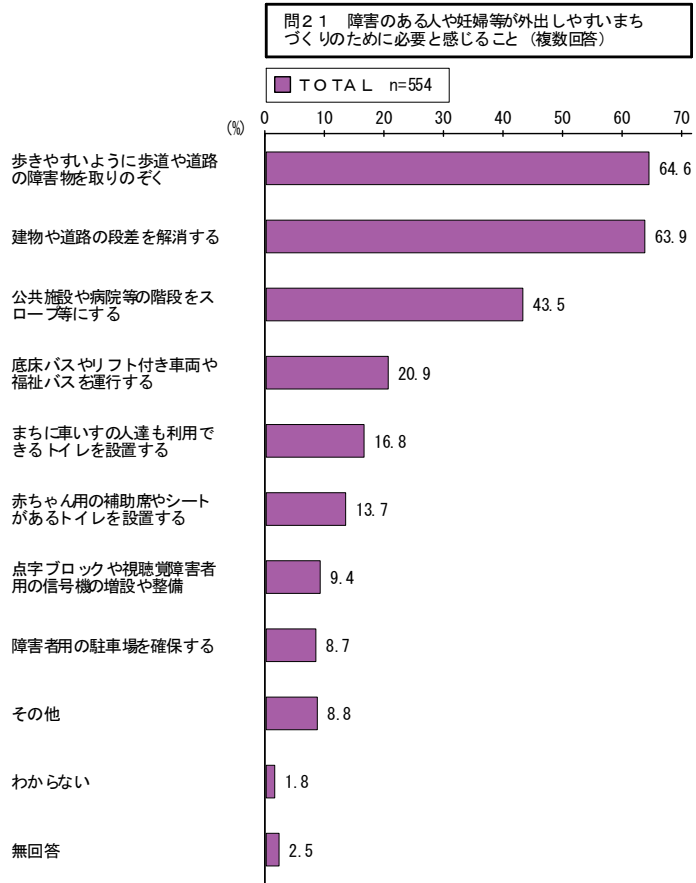
あなた（あて名ご本人）は、こうした利用者のための福祉にはどのようなことが必要になると思いますか。（〇は3つまで）

「福祉サービスに関する情報の提供体制を充実する」が65.9%と最も高く、次いで「身近に相談が受けられるようにする」（53.4%）、「行政やサービス事業者の情報公開を進める」（34.7%）となっている。



問 21 あなた（あて名ご本人）は、障害のある人や妊婦、子ども連れ、高齢者等が外出しやすいまちづくりを進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
（〇は3つまで）

「歩きやすいように歩道や道路の障害物を取りのぞく」が64.6%と最も高く、次いで「建物や道路の段差を解消する」（63.9%）、「公共施設や病院等の階段をスロープ等にする」（43.5%）となっている。

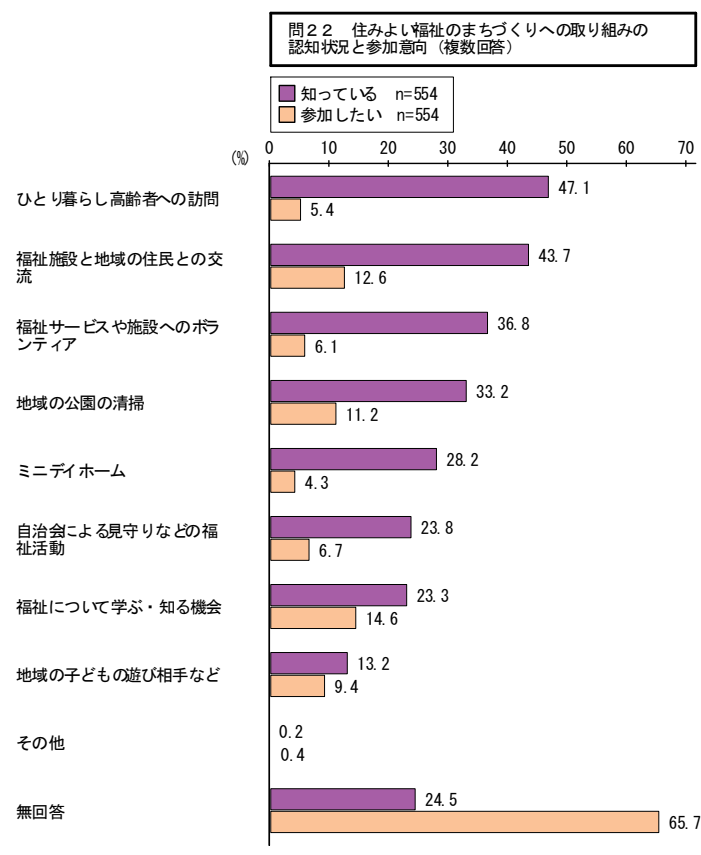


問 22 住みよい福祉のまちづくりは、地域の中で市民が協力して進める必要もあります。あなた（あて名ご本人）は次の取り組みのうち、知っているものはどれですか。また、参加したいものはどれですか。（〇はそれぞれいくつでも）

知っているものでは、「ひとり暮らし高齢者への訪問」が 47.1%と最も高く、次いで「福祉施設と地域住民との交流」(43.7%)、「福祉サービスや施設へのボランティア」(36.8%)となっている。

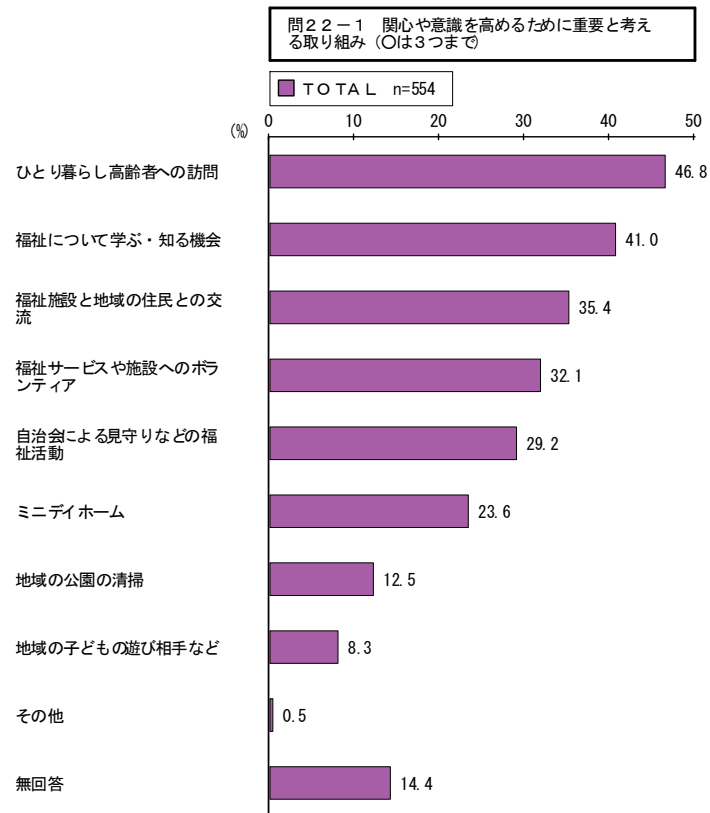
参加したいものでは、「福祉について学ぶ・知る機会」が 14.6%と最も高く、次いで「福祉施設と地域住民との交流」(12.6%)、「地域の公園の清掃」(11.2%)となっている。

知っているものの無回答は 24.5%、参加したいものの無回答は 65.7%である。参加意向について、選択肢の中でいずれもあてはまらなかった割合が高い。



問 22-1 あなた（あて名ご本人）は、福祉に対する関心や意識を高めるために、どのような取り組みが重要だと思いますか。問 22 の中から 3 つまで選んで、番号でお答えください。

「ひとり暮らし高齢者への訪問」が 46.8%と最も高く、次いで「福祉について学ぶ・知る機会」（41.0%）、「福祉施設と地域の住民との交流」（35.4%）となっている。



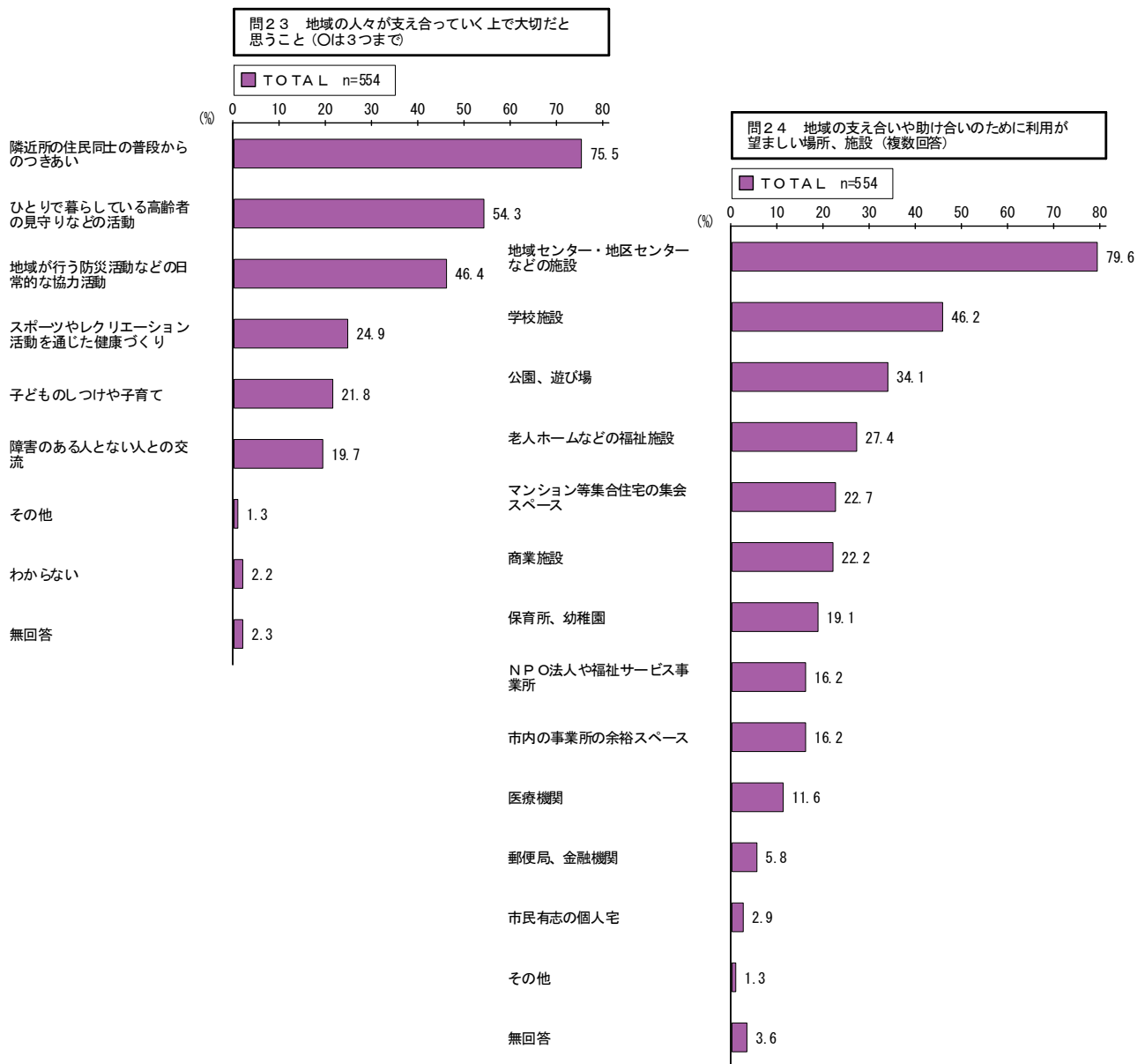
地域の助け合いなどについて

問 23 あなた（あて名ご本人）は、地域の人々がお互いに支え合っていく上で大切なことはどのようなことだと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。（〇は3つまで）

「隣近所の住民同士の普段からのつきあい」が75.5%と最も高く、次いで「ひとりで暮らしている高齢者の見守りなどの活動」(54.3%)、「地域が行う防災活動などの日常的な協力活動」(46.4%)となっている。(左図)

問 24 地域の支え合いや助け合いのために利用が望ましい場所、施設はどれですか。（あてはまるものすべてに〇）

「地域センター・地区センターなどの施設」が79.6%と最も高く、次いで「学校施設」(46.2%)、「公園、遊び場」(34.1%)となっている。(右図)



災害が起きたときの対応について

問 25 あなた（あて名ご本人）は、火災などの避難の際に不安なことは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

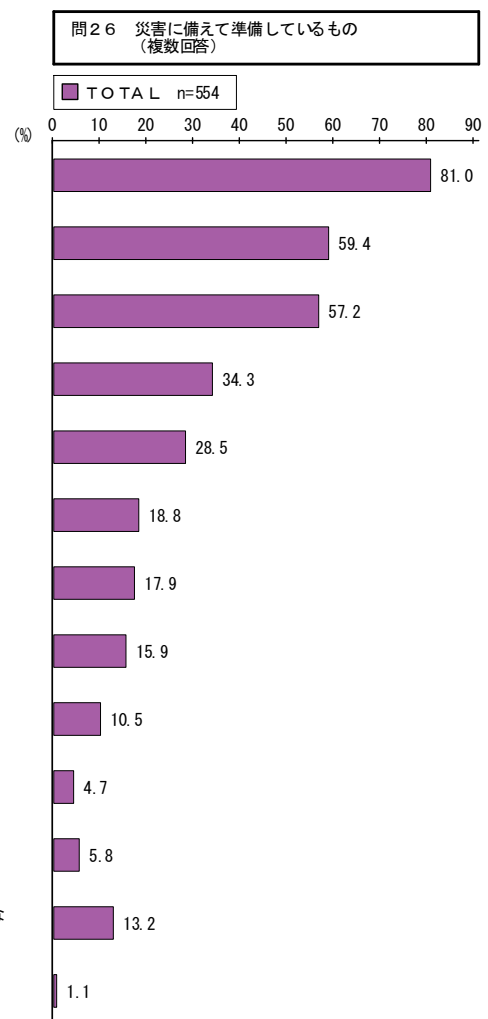
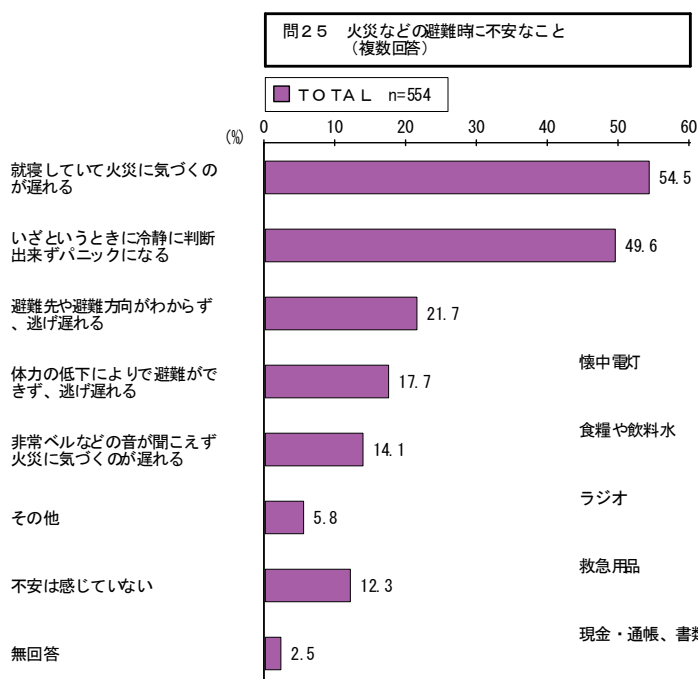
「就寝していて火災に気づくのが遅れる」が 54.5%と最も高く、次いで「いざというときに冷静に判断できず、パニックになる」(49.6%) となっている。

一方、「不安は感じていない」は 12.3%である。（左図）

問 26 あなた（あて名ご本人）は、大地震などの災害に備えてどのような準備をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

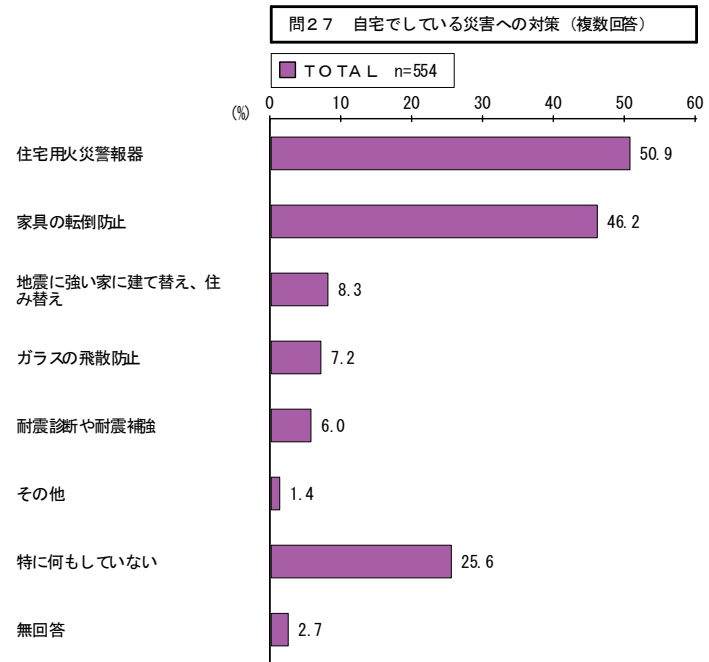
「懐中電灯」が 81.0%と最も高く、次いで「食糧や飲料水」(59.4%)、「ラジオ」(57.2%) となっている。

一方、「災害に対して備えはしていない」は 13.2%である。（右図）



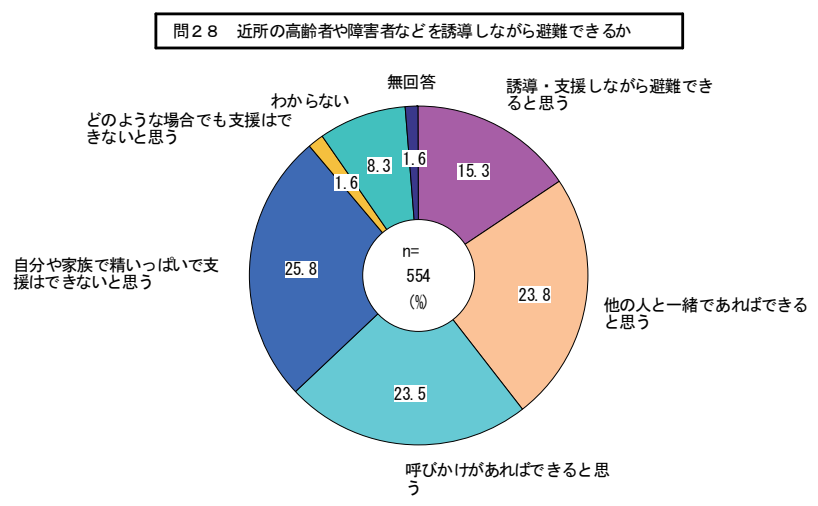
問 27 あなた（あて名ご本人）は、ご自宅で、大地震などの災害に対してどのような対策をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

「住宅用火災警報器」が 50.9%と最も高く、次いで「家具の転倒防止」（46.2%）である。一方、「特に何もしていない」は 25.6%である。



問 28 在宅時に災害が発生して避難する必要がある場合、あなた（あて名ご本人）は近所の高齢者や障害のある方などを誘導・支援しながら避難できると思えますか。（○はひとつ）

「自分や家族で精いっぱい支援はできないと思う」が 25.8%と最も高く、次いで「他の人と一緒にあればできると思う」（23.8%）、「呼びかけがあればできると思う」（23.5%）となっている。



問 29 あなたの地域の課題解決のために、ご自身ではどのようなことが協力できると思いますか。ご自由にご記入ください。

※資料編参照

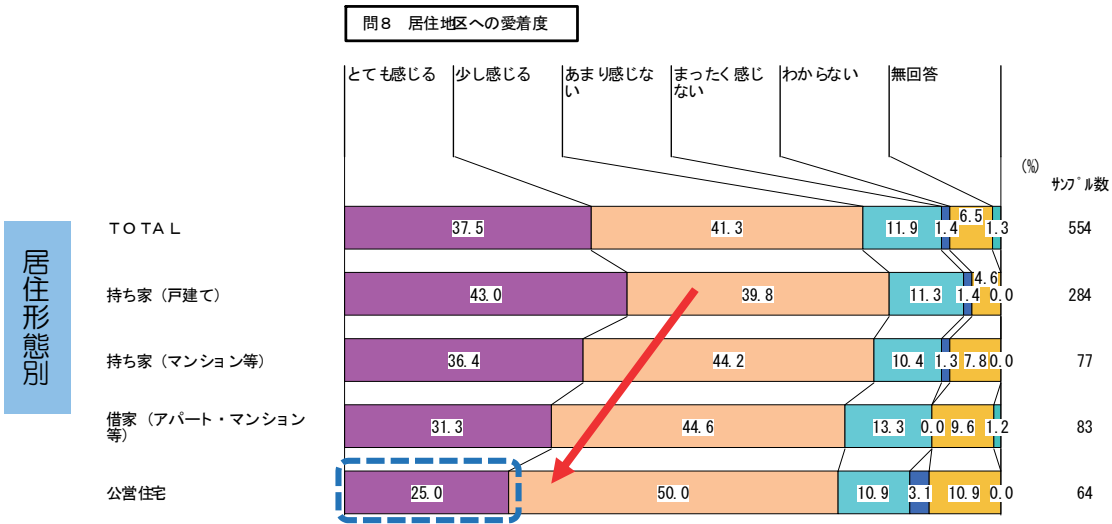
問 30 市民同士による支え合いを進めるための、アイデア・ご提案がありましたらご自由にご記入ください。

※資料編参照

II-3 クロス集計結果

1. 地域への愛着度

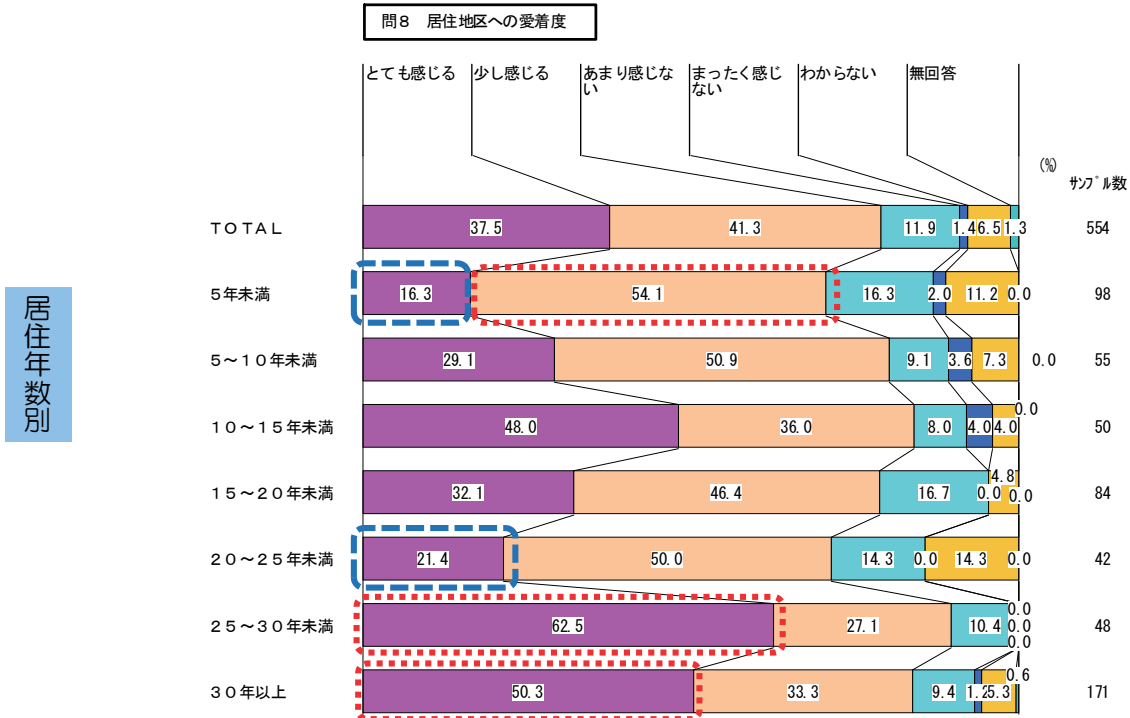
居住地区への愛着度は、持ち家の人ほど高く、特に持ち家（戸建て）で高い傾向がみられる。



※借家（戸建て）、社宅・寮、その他はサンプル数が小さいため非掲載

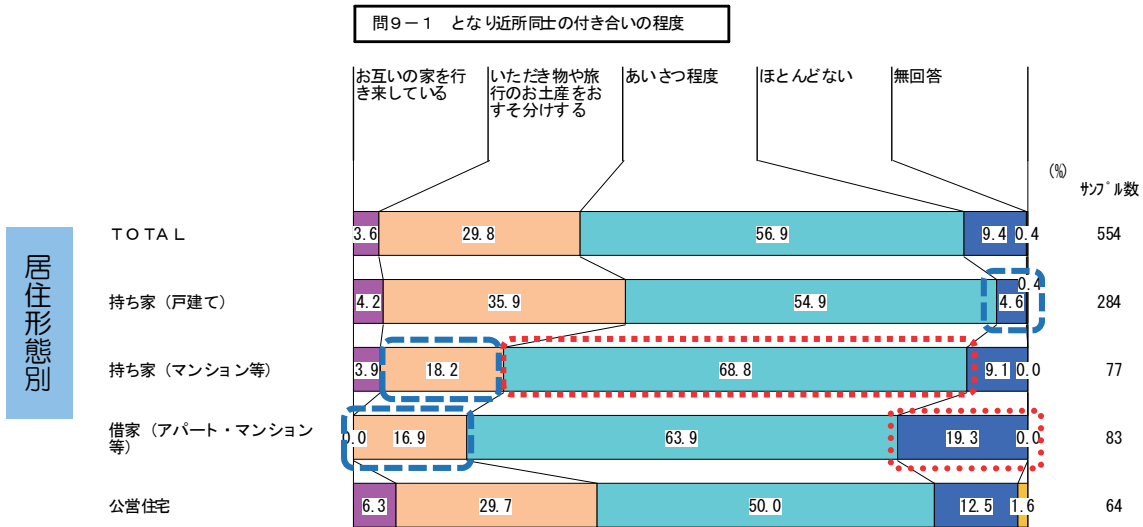
※ はTOTALに対し、5%水準で有意に低い（ ）。（参考値）

居住地区への愛着度について、「とても感じる」が最も高いのは「25～30年未満」、「30年以上」、「10～15年未満」の順となっている。



※ はTOTALに対し、5%水準で有意に高い（ ）または有意に低い（ ）。（参考値）

となり近所同士の付き合いの程度について、借家（アパート・マンション等）では、「ほとんどない」が19.3%と持ち家の人より高い。



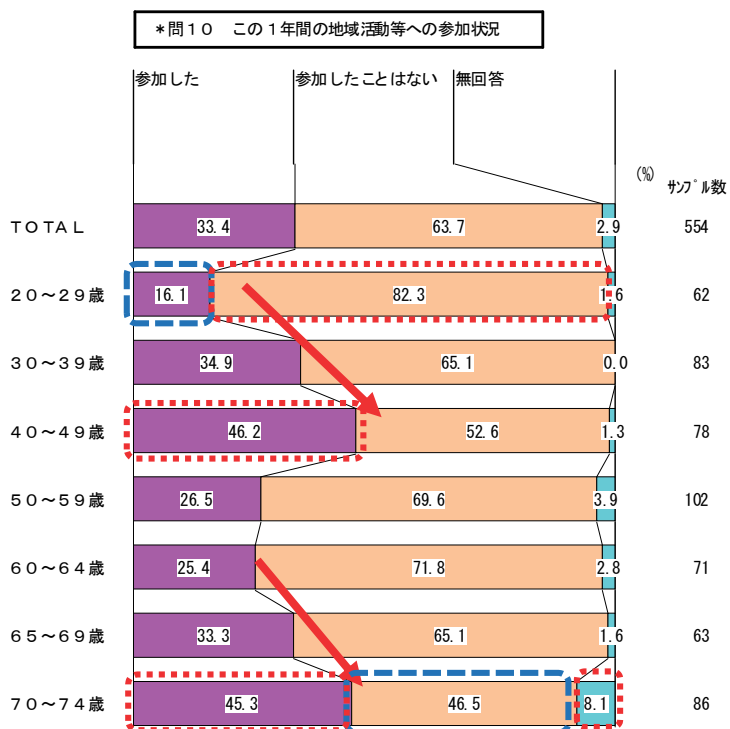
※借家（戸建て）、社宅・寮、その他はサンプル数が小さいため非掲載

※ はTOTALに対し、5%水準で有意に高い（ ）または有意に低い（ ）。（参考値）

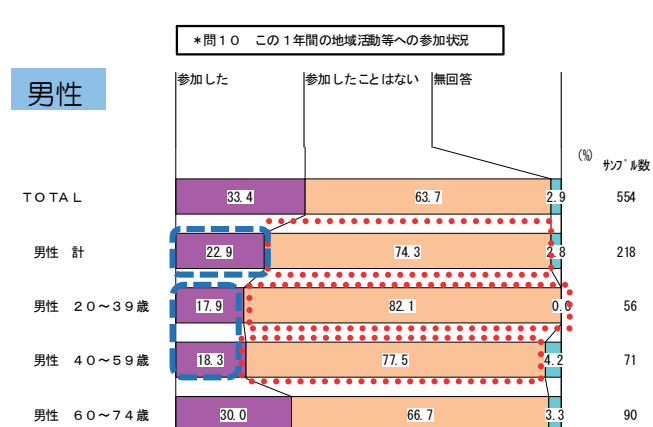
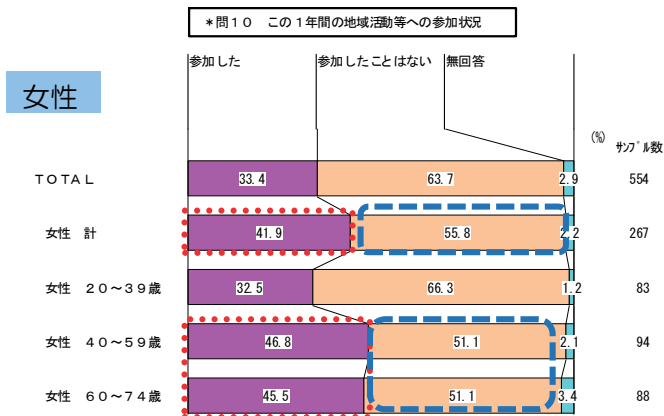
2. 地域活動等の状況

この1年間の地域活動等への参加状況について、年代で見ると、20代から40代にかけて参加割合が高くなる傾向にあり、60代後半から再び参加割合が高くなっている。

性・年代別で見ると、どの年代区分でも男性より女性のほうが、参加割合は高い。



※ は TOTAL に対し、5%水準で有意に高い () または有意に低い ()。 (参考値)

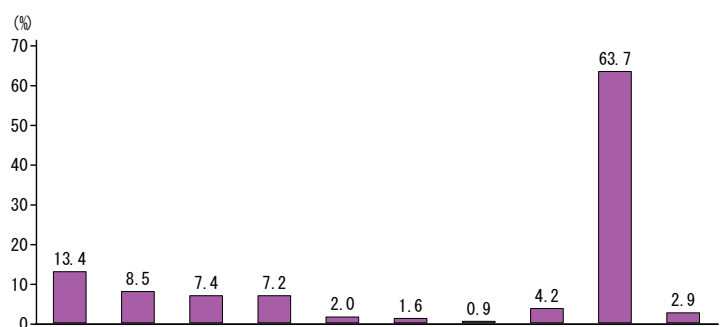


※ は TOTAL に対し、5%水準で有意に高い () または有意に低い ()。 (参考値)

この1年間に参加した地域活動等の参加内容について、性・年代で見ると、参加したことがある活動としては、女性 20～39 歳では「保育所や幼稚園の活動」(20.5%) が最も高く、女性 40～59 歳では「PTA 活動」(27.7%)、女性 60～74 歳では「町内会・自治会の活動」(25.0%) が最も高い。男性 20～39 歳では、「保育所や幼稚園の活動」(10.7%) が最も高く、男性 40～59 歳では「町内会・自治会の活動」(7.0%)、男性 60～74 歳では「町内会・自治会の活動」(17.8%) が最も高い。

問1.0 この1年間に参加した地域・学校での活動、ボランティア活動、NPO活動 (複数回答)

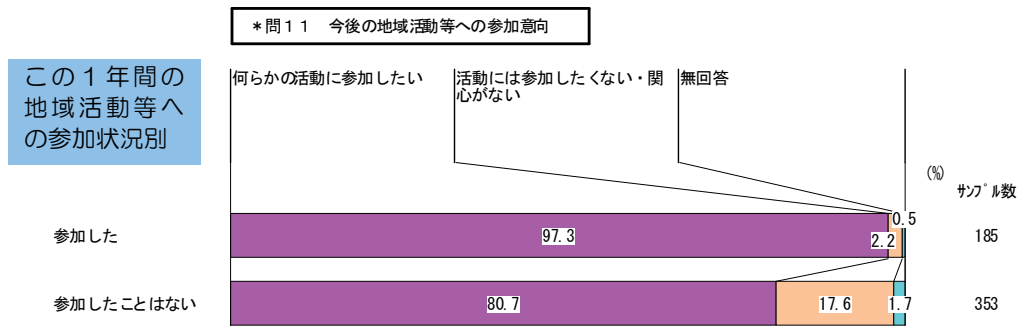
TOTAL n=554



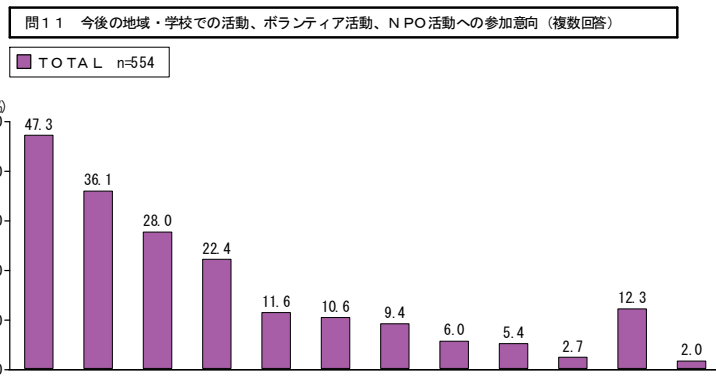
*性・年代	n	1	4	2	3	5	6	7	8	9	10
		町内会・自治会の活動	PTA活動	ボランティア活動、NPO活動	保育所や幼稚園の活動	高齢者の活動、障害者等の家族会等	老人クラブでの活動	商店会の活動	その他	参加したことはない	無回答
0 TOTAL	554	13.4	8.5	7.4	7.2	2.0	1.6	0.9	4.2	63.7	2.9
1 女性 計	267	17.2	14.2	7.9	9.4	2.2	2.2	0.7	4.1	55.8	2.2
2 女性 20～39歳	83	7.2	10.8	3.6	20.5	1.2	0.0	1.2	1.2	66.3	1.2
3 女性 40～59歳	94	18.1	27.7	10.6	7.4	1.1	1.1	1.1	2.1	51.1	2.1
4 女性 60～74歳	88	25.0	2.3	9.1	0.0	4.5	5.7	0.0	9.1	51.1	3.4
5 男性 計	218	9.6	0.9	7.3	4.1	1.8	0.9	0.5	2.8	74.3	2.8
6 男性 20～39歳	56	0.0	1.8	5.4	10.7	1.8	0.0	1.8	0.0	82.1	0.0
7 男性 40～59歳	71	7.0	1.4	2.8	2.8	1.4	0.0	0.0	4.2	77.5	4.2
8 男性 60～74歳	90	17.8	0.0	12.2	1.1	2.2	2.2	0.0	3.3	66.7	3.3

※○△は TOTAL に対し、5%水準で有意に高い (○) または有意に低い (△)。(参考値)

今後の地域活動等への参加意向について、この1年間に何らかの地域活動等に参加した人の97.3%は参加意向があり、参加したことはない人についても80.7%は参加意向がある。



この1年間に地域活動等に参加していない人の今後の地域活動等への参加意向について、性・年代別でみると、男性・女性とも40～59歳で「時間に余裕があれば」（ともに60.6%）が他の性・年代より高い。また、女性60～74歳では「活動の場が身近なところがあれば」（34.1%）が最も高く、男性60～74歳では「関心・興味のあるテーマがあれば」（32.2%）が最も高くなっている。



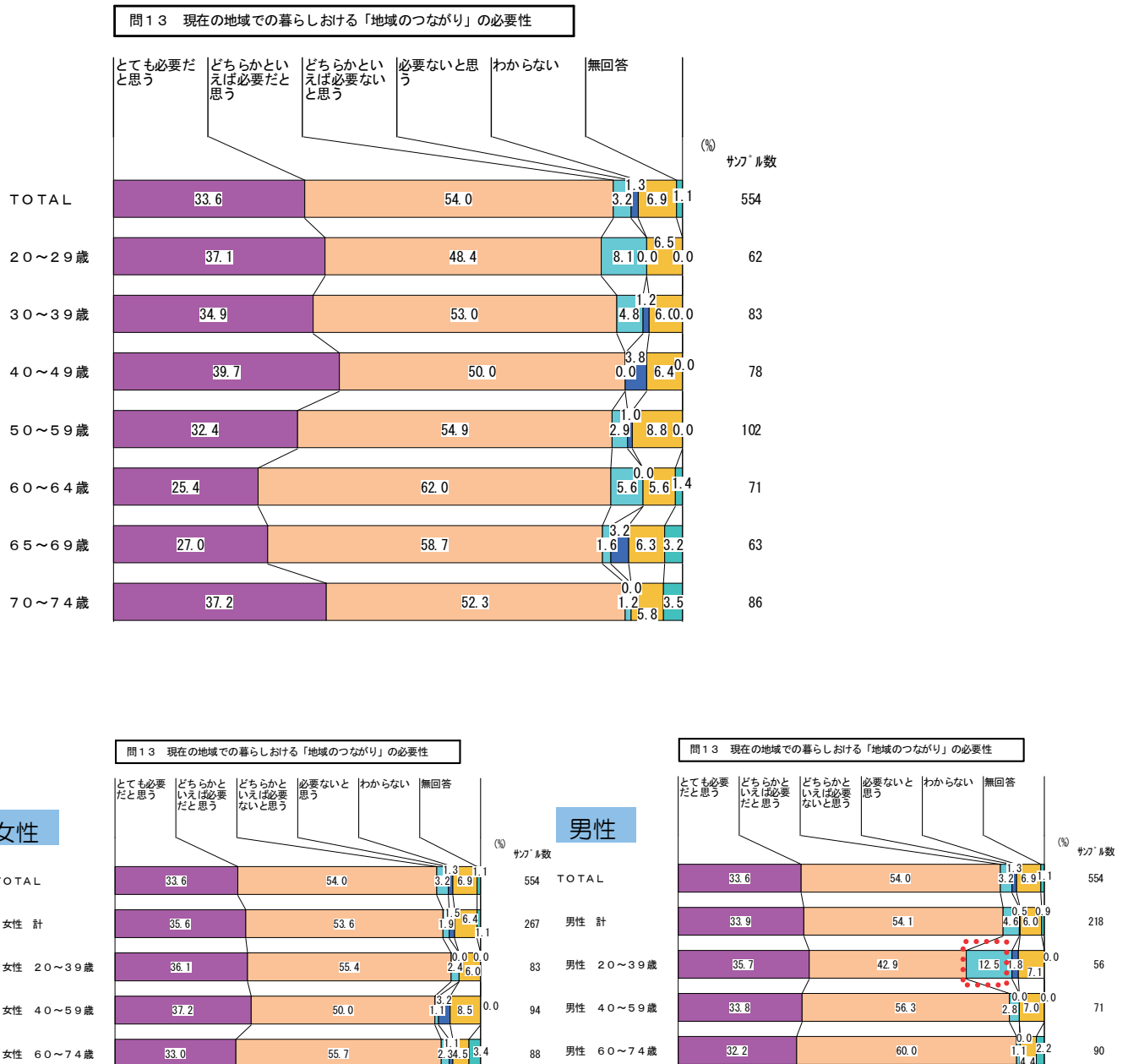
*性・年代	n	1 時間に余裕があれば	4 関心ば・興味のあるテーマがあれば	7 活動の場が身近なところがあれば	3 知り合いや気の合う仲間がいれば	5 参加方法などがわかれば	2 紹介があれば	8 健康状態がよくなったら	9 報酬があれば	6 家族の理解・協力が得られれば	10 その他	11 活動には参加したくない・関心がない	12 無回答
0 TOTAL	554	47.3	36.1	28.0	22.4	11.6	10.6	9.4	6.0	5.4	2.7	12.3	2.0
1 女性 計	267	50.6	40.4	33.0	28.5	14.6	10.5	10.1	6.7	7.5	4.5	9.4	1.1
2 女性 20～39歳	83	59.0	47.0	32.5	28.9	15.7	14.5	3.6	8.4	7.2	1.2	10.8	0.0
3 女性 40～59歳	94	60.6	38.3	31.9	31.9	10.6	3.2	7.4	8.5	4.3	4.3	11.7	0.0
4 女性 60～74歳	88	30.7	35.2	34.1	23.9	17.0	14.8	19.3	3.4	11.4	8.0	5.7	3.4
5 男性 計	218	46.3	32.1	22.0	17.4	7.3	10.6	6.4	5.5	2.8	0.0	15.1	3.7
6 男性 20～39歳	56	46.4	28.6	12.5	16.1	5.4	5.4	0.0	5.4	0.0	0.0	25.0	1.8
7 男性 40～59歳	71	60.6	35.2	26.8	16.9	9.9	11.3	5.6	7.0	5.6	0.0	11.3	2.8
8 男性 60～74歳	90	34.4	32.2	24.4	18.9	6.7	13.3	11.1	4.4	2.2	0.0	12.2	5.6

※○△はTOTALに対し、5%水準で有意に高い（○）または有意に低い（△）。（参考値）

3. 地域のつながり

現在の地域での暮らしにおける「地域のつながり」の必要性について、年代で見ると、60代を除き、どの年代も「とても必要だと思う」が3割以上となっており、「どちらかといえば必要だと思う」も合わせると、いずれの年代でも「必要だと思う」が8割を超えている。

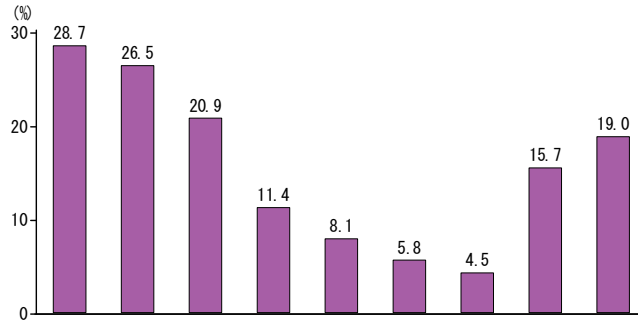
性・年代別で見ると、「とても必要だと思う」割合は、いずれも同程度となっている。男性20～39歳では「どちらかといえば必要ないと思う」が他の性・年代に比べて高い。



※ 12.5 はTOTALに対し、5%水準で有意に高い (12.5)。(参考値)

現在の居住地での課題について、性・年代別でみると、男女とも60～74歳では、「近隣同士のコミュニケーションが少ないと感じる」が最も高く、女性60～74歳では33.0%、男性60～74歳では40.0%となっている。

問14 現在の居住地での課題（複数回答）
 TOTAL n=554



*性・年代	n	1	3	2	7	5	6	4	8	9
0 TOTAL	554	28.7	26.5	20.9	11.4	8.1	5.8	4.5	15.7	19.0
1 女性 計	267	31.5	23.6	21.0	10.1	7.9	5.2	4.1	17.2	17.2
2 女性 20～39歳	83	50.6	20.5	12.0	6.0	8.4	6.0	2.4	22.9	12.0
3 女性 40～59歳	94	28.7	17.0	26.6	16.0	8.5	5.3	5.3	17.0	17.0
4 女性 60～74歳	88	15.9	33.0	23.9	6.8	6.8	4.5	4.5	11.4	22.7
5 男性 計	218	26.6	31.2	23.4	12.8	6.9	6.4	3.7	12.4	18.3
6 男性 20～39歳	56	44.6	19.6	21.4	14.3	8.9	5.4	3.6	21.4	12.5
7 男性 40～59歳	71	32.4	28.2	25.4	12.7	8.5	8.5	2.8	11.3	15.5
8 男性 60～74歳	90	11.1	40.0	23.3	12.2	4.4	5.6	4.4	7.8	24.4

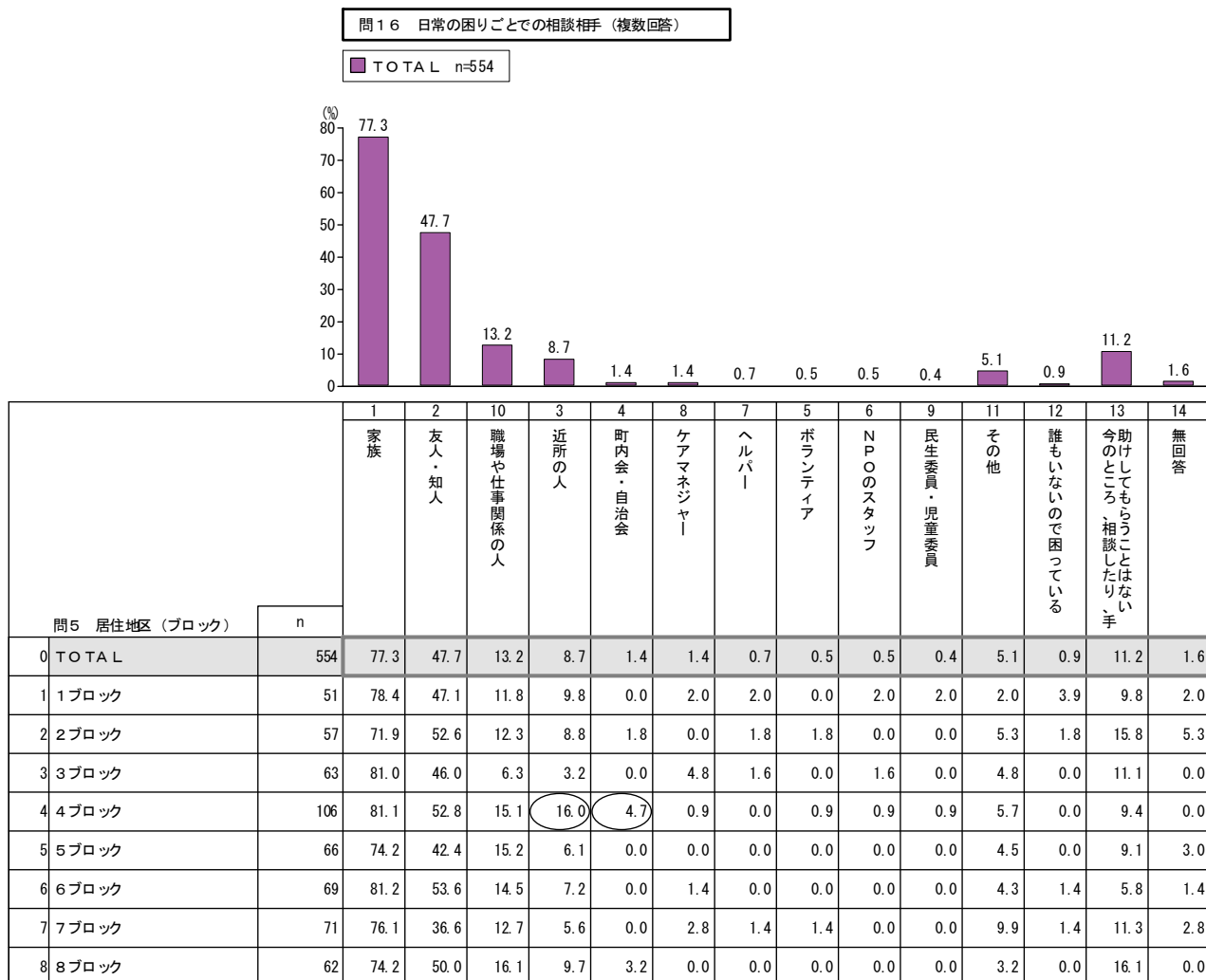
※○△はTOTALに対し、5%水準で有意に高い(○)または有意に低い(△)。(参考値)

日常の困りごとでの相談相手について、性・年代別でランキングをみると、男女ともに60～74歳では、「家族」「友人・知人」に次いで「近所の人」があげられている。

(%)

	1位	2位	3位	4位	5位	
TOTAL (n=554)	家族 77.3	友人・知人 47.7	職場や仕事関係の人 13.2	近所の人 8.7	その他 5.1	今のところ、相談したり、手助けしてもらったことはない 11.2
女性 計 (n=267)	家族 88.0	友人・知人 58.8	職場や仕事関係の人 14.2	近所の人 10.5	その他 4.1	今のところ、相談したり、手助けしてもらったことはない 4.9
女性 20～39歳 (n=83)	家族 95.2	友人・知人 72.3	職場や仕事関係の人 20.5	近所の人 10.8	その他 4.8	今のところ、相談したり、手助けしてもらったことはない 0.0
女性 40～59歳 (n=94)	家族 87.2	友人・知人 63.8	職場や仕事関係の人 17.0	近所の人 (4位) 6.4	その他 (4位) 6.4	今のところ、相談したり、手助けしてもらったことはない 5.3
女性 60～74歳 (n=88)	家族 81.8	友人・知人 39.8	近所の人 13.6	ケアマネジャー (4位) 4.5	職場や仕事関係の人 (4位) 4.5	今のところ、相談したり、手助けしてもらったことはない 9.1
男性 計 (n=218)	家族 69.3	友人・知人 36.7	職場や仕事関係の人 14.2	近所の人 6.9	その他 4.1	今のところ、相談したり、手助けしてもらったことはない 16.1
男性 20～39歳 (n=56)	家族 80.4	友人・知人 60.7	職場や仕事関係の人 21.4	その他 3.6	近所の人 1.8	今のところ、相談したり、手助けしてもらったことはない 8.9
男性 40～59歳 (n=71)	家族 63.4	友人・知人 32.4	職場や仕事関係の人 18.3	その他 5.6	近所の人 2.8	今のところ、相談したり、手助けしてもらったことはない 18.3
男性 60～74歳 (n=90)	家族 66.7	友人・知人 25.6	近所の人 13.3	町内会・自治会 (4位) 1.1	ボランティア (4位) 1.1	今のところ、相談したり、手助けしてもらったことはない 18.9

日常の困りごとでの相談相手について、居住地区別でみると、4ブロックでは他のブロックより「近所の人」や「町内会・自治会」の回答割合が高い。

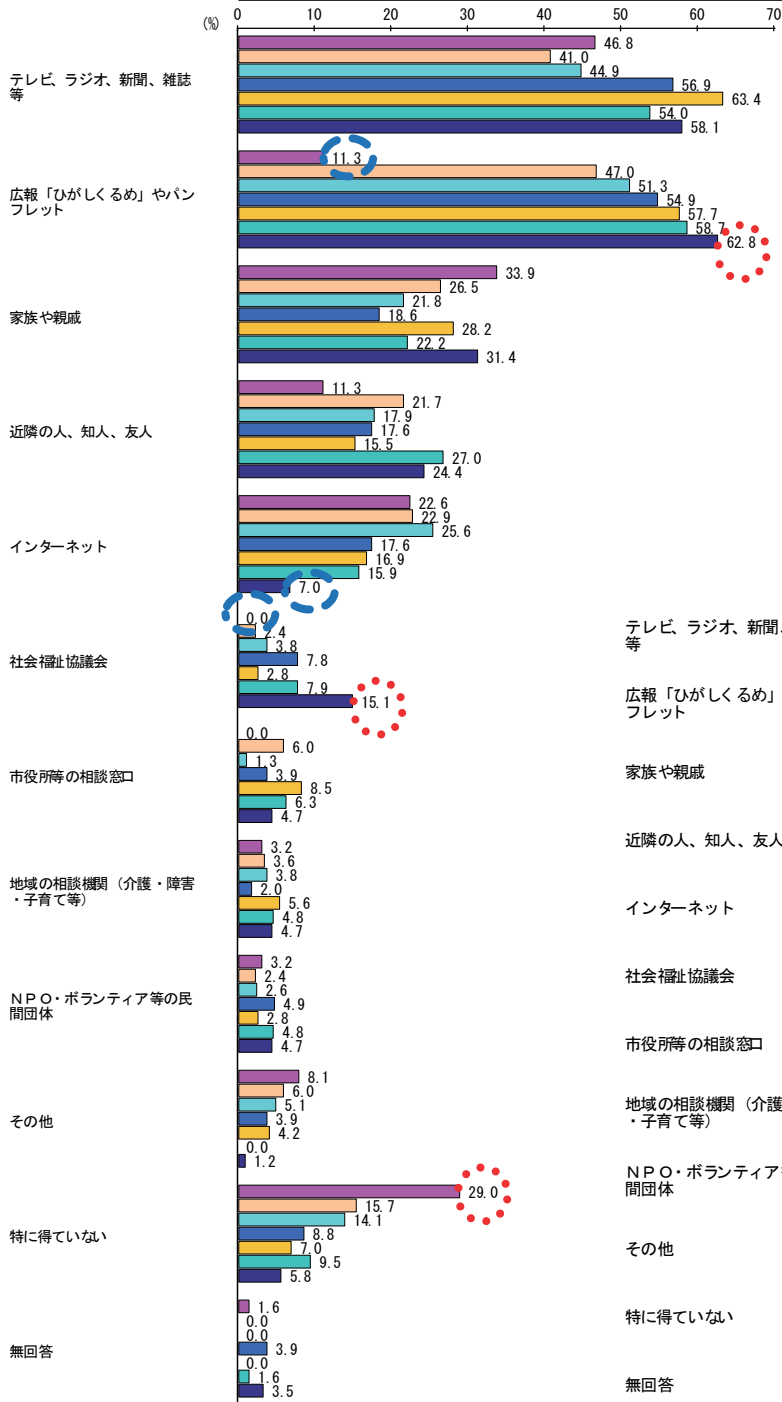
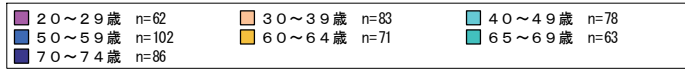


※○は TOTAL に対し、5%水準で有意に高い (○)。(参考値)

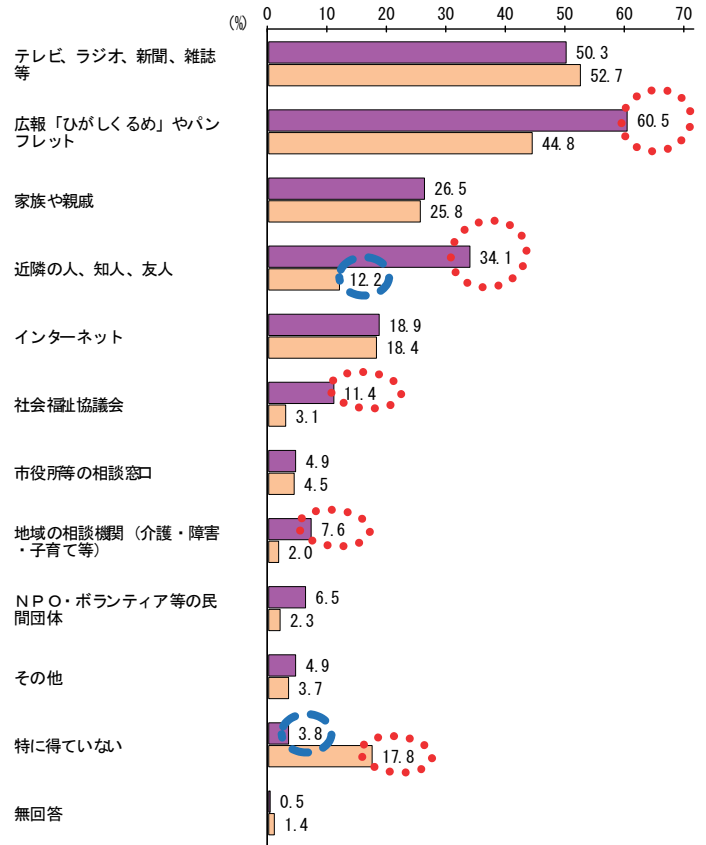
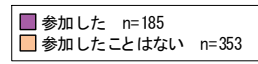
福祉に関する知識、情報の入手先について、年代別でみると、「広報「ひがしくるめ」やパンフレット」は年代があがるにつれ、高くなっており、20代では11.3%に対し、70～74歳では62.8%である。また、20代では「特に得ていない」が29.0%と、他の年代に比べ特に高い。(次ページ左図)

福祉に関する知識、情報の入手先について、この1年間に何らかの地域活動等に参加した人と参加したことはない人を比べると、入手先として「広報「ひがしくるめ」やパンフレット」や、「近所の人、知人、友人」などで差が大きく、参加したことはない人では、「特に得ていない」は17.8%となっている。(次ページ右図)

問19 福祉に関する知識、情報の入手先 (複数回答)



問19 福祉に関する知識、情報の入手先 (複数回答)



※ は TOTAL に対し、5%水準で有意に高い () または有意に低い ()。 (参考値)

福祉に関する知識、情報の入手先について、性・年代別にランキングをみると、女性ではどの年代においても「広報「ひがしくるめ」やパンフレット」が最も高く、男性では「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」が最も高い。男性 20～39 歳では、「インターネット」が広報等より高い一方、女性 60～74 歳ではインターネットは 5 位までに入っていない。

(%)

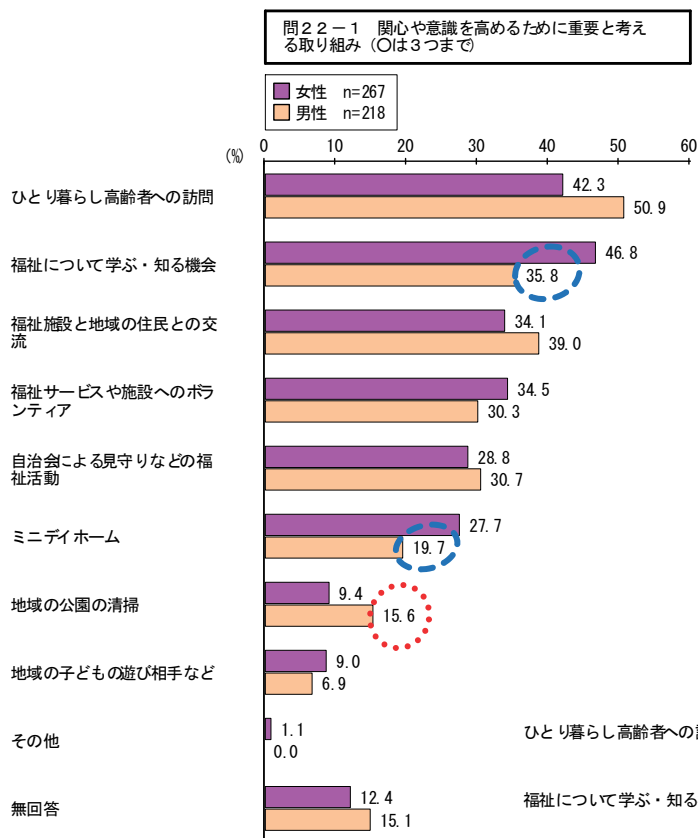
	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	
TOTAL (n=554)	テレビ、ラジオ、 新聞、雑誌等 52.2	広報「ひがしくる め」やパンフレ ット 50.2	家族や親戚 25.6	近隣の人、知 人、友人 19.5	インターネット 18.1	特に得ていない 12.6
女性 計 (n=267)	広報「ひがしくる め」やパンフレ ット 57.3	テレビ、ラジオ、 新聞、雑誌等 51.3	近隣の人、知 人、友人 24.0	家族や親戚 22.8	インターネット 17.6	特に得ていない 11.2
女性 20～39歳 (n=83)	広報「ひがしくる め」やパンフレ ット (1位) 42.2	テレビ、ラジオ、 新聞、雑誌等 (1位) 42.2	インターネット 25.3	家族や親戚 22.9	近隣の人、知 人、友人 20.5	特に得ていない 20.5
女性 40～59歳 (n=94)	広報「ひがしくる め」やパンフレ ット 60.6	テレビ、ラジオ、 新聞、雑誌等 52.1	近隣の人、知 人、友人 22.3	インターネット 19.1	家族や親戚 16.0	特に得ていない 8.5
女性 60～74歳 (n=88)	広報「ひがしくる め」やパンフレ ット 67.0	テレビ、ラジオ、 新聞、雑誌等 59.1	家族や親戚 29.5	近隣の人、知 人、友人 28.4	社会福祉協議 会 11.4	特に得ていない 5.7
男性 計 (n=218)	テレビ、ラジオ、 新聞、雑誌等 51.4	広報「ひがしくる め」やパンフレ ット 40.4	家族や親戚 30.3	インターネット 18.8	近隣の人、知 人、友人 11.9	特に得ていない 14.7
男性 20～39歳 (n=56)	テレビ、ラジオ、 新聞、雑誌等 46.4	家族や親戚 37.5	インターネット 21.4	広報「ひがしくる め」やパンフレ ット 17.9	近隣の人、知 人、友人 10.7	特に得ていない 21.4
男性 40～59歳 (n=71)	テレビ、ラジオ、 新聞、雑誌等 47.9	広報「ひがしくる め」やパンフレ ット 42.3	家族や親戚 26.8	インターネット 19.7	近隣の人、知 人、友人 11.3	特に得ていない 16.9
男性 60～74歳 (n=90)	テレビ、ラジオ、 新聞、雑誌等 57.8	広報「ひがしくる め」やパンフレ ット 53.3	家族や親戚 28.9	インターネット 16.7	近隣の人、知 人、友人 13.3	特に得ていない 7.8

※女性 60～74 歳のインターネットは 6 位 (8.0%)

4. 福祉サービスに関すること

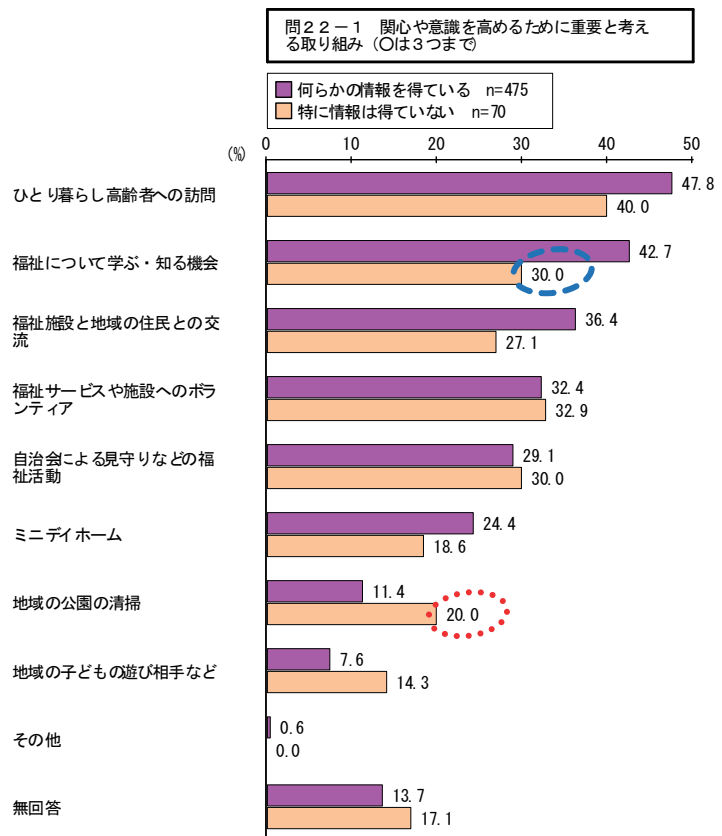
福祉に対する関心や意識を高めるために重要だと考える取組みについて、性別で差がみられる部分に注目すると、女性と比べて男性のほうが、「地域の公園の清掃」が高く、一方、「福祉について学ぶ・知る機会」、「ミニデイホーム」は低い。（左図）

福祉に対する関心や意識を高めるために重要だと考える取組みについて、福祉に関する情報を得ている人と得ていない人を比べると、何らかの情報を得ている人のほうが「福祉について学ぶ・知る機会」が高く、一方、「地域の公園の清掃」は低い。



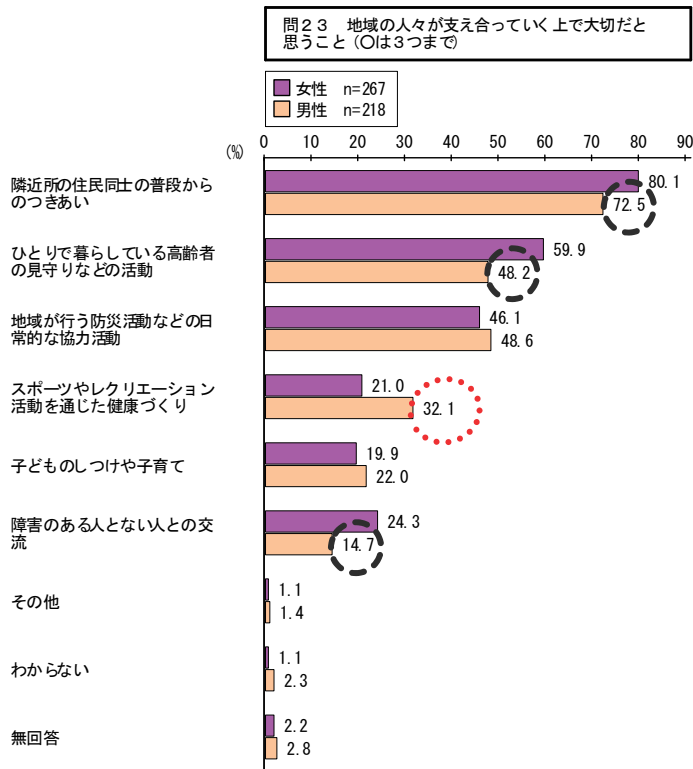
※ は女性に対し、5%水準で有意に高い () または有意に低い ()。 (左図)

※ は何らかの情報を得ているに対し、5%水準で有意に高い () または有意に低い ()。 (右図)



5. 地域の助け合いなどについて

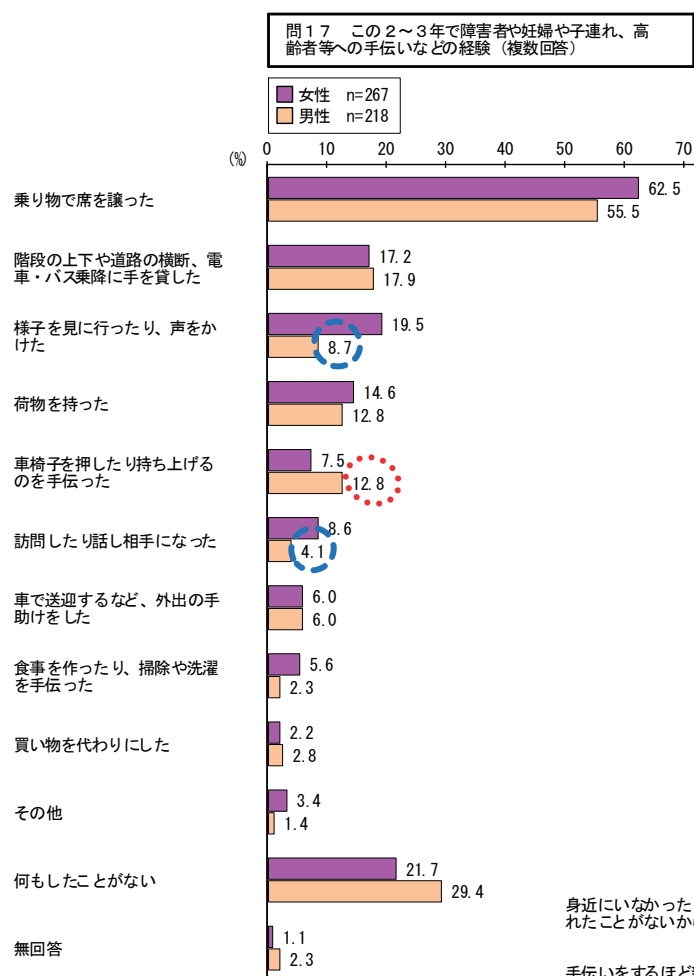
地域の人々が支え合っていく上で大切だと思うことについて、性別で見ると、女性のほうが男性より「隣近所の住民同士の普段からのつきあい」や「ひとりで暮らしている高齢者の見守りなどの活動」、「障害のある人とない人との交流」が高く、一方、「スポーツやレクリエーション活動を通じた健康づくり」は低い。



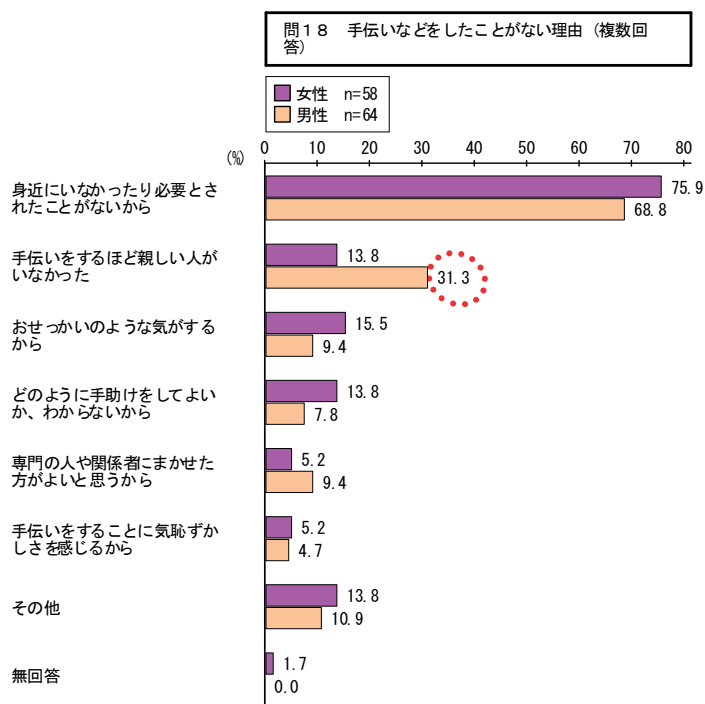
※ は女性に対し、5%水準で有意に高い () または有意に低い ()。

この2～3年のうちに、街や近所で、障害者や妊婦や子連れ、高齢者等に対して、したことがある手助けについて、男性では、「車椅子を押したり持ち上げるのを手伝った」が女性より高く、一方、「様子を見に行ったり、声をかけた」、「訪問したり話し相手になった」では女性が男性より高い。

手助けをしたことがない理由としては、男性では「手伝いをするほど親しい人がいなかった」が女性と比べて高くなっている。

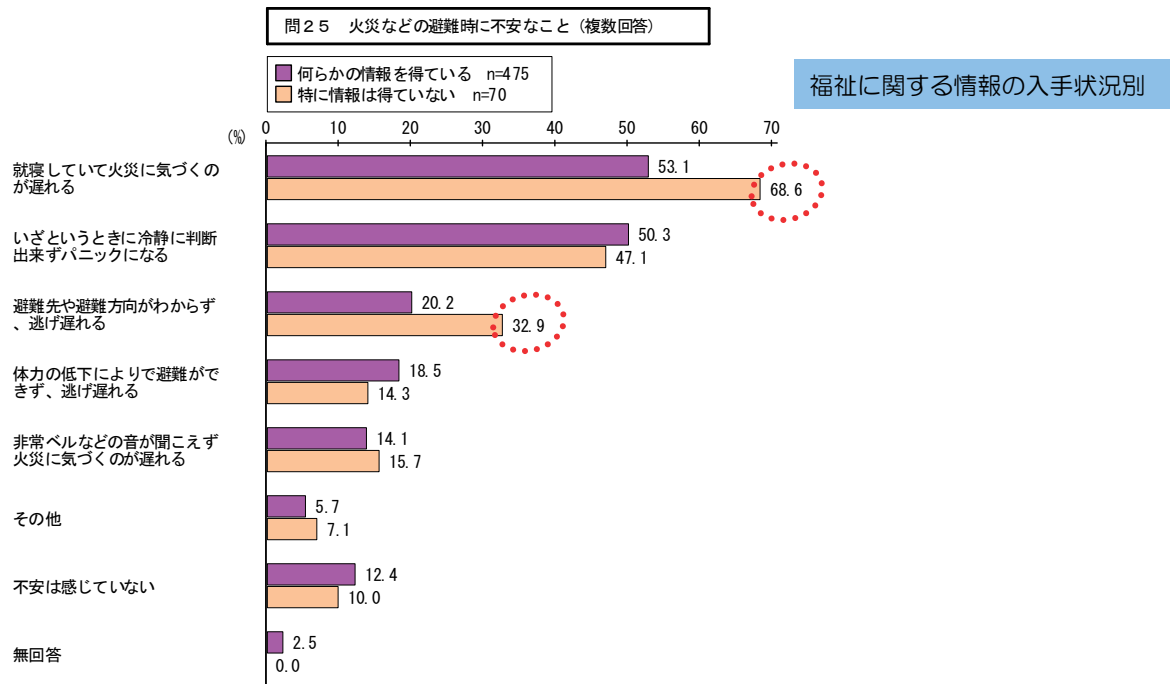


※ は女性に対し、5%水準で有意に高い（ ）または有意に低い（ ）。



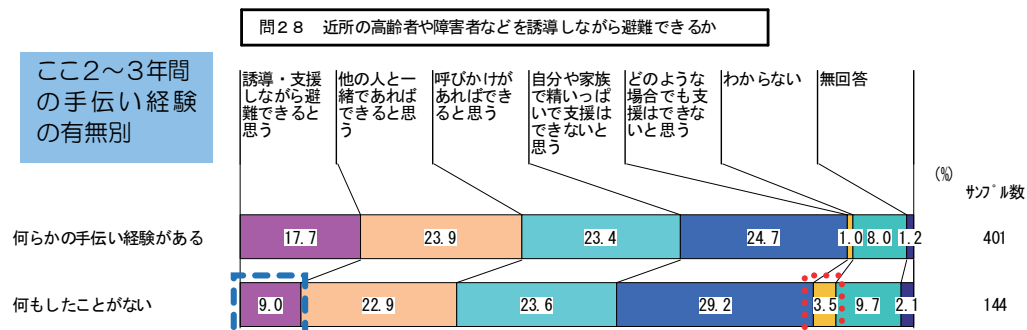
6. 災害が起きたときの対応

火災などの避難時に不安なことについて、福祉に関する情報の入手状況別でみると、特に情報を得ていない人では、「就寝していて火災に気づくのが遅れる」、「避難先や避難方向がわからず、逃げ遅れる」が高い。



※ は何らかの情報を得ているに対し、5%水準で有意に高い ()。

近所の高齢者や障害者などを誘導しながら避難できるかについて、ここ2～3年間の手伝い経験の有無別でみると、何らかの手伝い経験がある人のほうが何もしたことがない人に比べて、「誘導・支援しながら避難できると思う」が高い。



※ は何らかの手伝い経験があるに対し、5%水準で有意に高い () または有意に低い ()。

Ⅲ 資料編

Ⅲ-1 調査票

～ みんなでつくる福祉のまちづくりをめざして ～ 東久留米市地域福祉に関するおたずね

調査ご協力をお願い

日ごろから皆様には、市政の発展のためにご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。さて、このたび東久留米市では、福祉のまちづくりを進め、すべての市民が安全・安心で住みよい地域づくりに参加できるように、日ごろお考えになっていること、あるいはお住まいの地域で感じている課題などをお聞きし、地域福祉の計画づくりに役立てることを目的として、本アンケートを実施することといたしました。

この調査にご協力いただくために、市内にお住まいの 1,500 人の皆様を無作為に（くじ引きのような方法で）選ばせていただきました。お答えいただきました内容はすべて統計的に処理し、本調査目的以外に使用することはいたしません。

お忙しいところ、まことに恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご回答いただきますよう、お願い申し上げます。

平成25年9月

東久留米市長 馬場 一彦

ご記入に当たって

- 1 ご回答は、あて名のご本人がお答えください。筆記用具は、鉛筆、またはボールペンなど、どのようなものでも構いません。
- 2 ご回答は（○はひとつ）、（あてはまるものすべてに○）など、設問ごとに表示していますので、指示にしたがってご回答ください。「その他」を選択された場合、カッコ内に内訳などをご記入いただく場合があります。
- 3 返送いただいた調査票、ご回答は無記名でいただきますので回答者（個人）が特定されることはありません。また、回答はすべて統計的に処理し、個々の調査票を外部に出すことはありません。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）で
9月24日(火)までにご投函ください。
なお、ご住所、お名前は記入なさらなくて結構です。

【アンケートの問い合わせ先】 東久留米市福祉保健部 福祉総務課 福祉政策係
電話 042(470)7777(代表)
内線 2511

あなた(あて名ご本人)のことについて、おたずねします。

問1 あなた(あて名ご本人)の性別、年齢をお答えください。(それぞれ○はひとつ)

〔性別〕	1. 女性	2. 男性		
〔年齢〕				
1. 20～24歳	4. 35～39歳	7. 50～54歳	10. 65～69歳	
2. 25～29歳	5. 40～44歳	8. 55～59歳	11. 70～74歳	
3. 30～34歳	6. 45～49歳	9. 60～64歳		

問2 あなた(あて名ご本人)の主な職業は何ですか。(○はひとつ)

1. 商・工・サービス業	5. 事務職	9. 学生
2. 農林水産業	6. 労務職	10. 無職
3. 自由業	7. パートタイム・アルバイト	11. その他()
4. 専門・技術職	8. 専業主婦(夫)	

問2-1 (前問で「7. パートタイム・アルバイト」「8. 専業主婦(夫)」「10. 無職」等と回答された方のうち、以前お勤めされていた方に)

※ お勤めされていなかった方は、問3へお進みください。

以前お勤めのときの主な職業は何でしたか。(○はひとつ)

1. 商・工・サービス業	4. 専門・技術職	7. その他
2. 農林水産業	5. 事務職	()
3. 自由業	6. 労務職	

【すべての方におたずねします。】

問3 あなた(あて名ご本人)の同居家族の構成について。(○はひとつ)

1. 夫婦のみの世帯	3. 三世代世帯	5. その他
2. 二世代世帯	4. 単身世帯	()

問4 あなた(あて名ご本人)のお住まいについて、あてはまるものをお選びください。(○はひとつ)

1. 持ち家(戸建て)	5. 公営住宅
2. 持ち家(マンション等)	6. 社宅・寮
3. 借家(戸建て)	7. その他
4. 借家(アパート・マンション等)	()

問5 あなた（あて名ご本人）のお住まいは、どちらですか。（○はひとつ）

1. 1ブロック（上の原1・2丁目、神宝町1・2丁目、金山町1・2丁目、氷川台1・2丁目）
2. 2ブロック（大門町1・2丁目、新川町2丁目、浅間町1～3丁目）
3. 3ブロック（東本町、新川町1丁目、本町1～4丁目）
4. 4ブロック（小山1～5丁目、幸町1～5丁目、下里1・7丁目、野火止1～3丁目、八幡町1丁目）
5. 5ブロック（中央町1～6丁目、八幡町2・3丁目、前沢1・2丁目）
6. 6ブロック（学園町1・2丁目、ひばりが丘団地、南沢1～5丁目、南町1～4丁目）
7. 7ブロック（前沢3～5丁目、滝山1～7丁目、弥生1・2丁目）
8. 8ブロック（下里2～6丁目、柳窪1～5丁目）

問6 あなた（あて名ご本人）の市内の居住年数についてお答えください。市内での転居は、通算してお答えください。（○はひとつ）

- | | | |
|-------------|-------------|----------|
| 1. 5年未満 | 4. 15～20年未満 | 7. 30年以上 |
| 2. 5～10年未満 | 5. 20～25年未満 | |
| 3. 10～15年未満 | 6. 25～30年未満 | |

問7 あなた（あて名ご本人）は、今後もずっと現在のお住まいで生活していきたいと思えますか。（○はひとつ）

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 今の住まいで生活したい | 3. 市外に転居したい |
| 2. 市内の他のところに転居したい | |

問8 あなた（あて名ご本人）は、お住まいの地域に愛着を感じていますか。（○はひとつ）

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 1. とても感じる | 3. あまり感じない | 5. わからない |
| 2. 少し感じる | 4. まったく感じない | |

東久留米市地域資源PR
マスコットキャラクター

湧水の妖精
るるめちゃん



問9 あなた（あて名ご本人）の「日常的なつきあい」について、おうかがいします。

① ふだん、となり近所とどのようなおつきあいをされていますか。（〇はひとつ）

- | | |
|-------------------------|-----------|
| 1. お互いの家を行き来している | 3. あいさつ程度 |
| 2. いただき物や旅行のお土産をおすそ分けする | 4. ほとんどない |

② ①で「4. ほとんどない」と答えた方におたずねします。主な理由は何ですか。
（あてはまるものすべてに〇）

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 仕事や家事などで忙しく時間がないから | 7. あまりかかわりを持ちたくないから |
| 2. 引っ越してきて間もないから | 8. その他 |
| 3. 普段つきあう機会がないから | () |
| 4. ご近所と知り合うきっかけがないから | 9. 特に理由はない |
| 5. 同世代の人が近くにいないから | 10. わからない |
| 6. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから | |

【すべての方におたずねします。】

問10 あなた（あて名ご本人）は、過去1年以内に（現在も含めて）、地域・学校などでの活動や、ボランティア活動、NPO（※）活動を行ったり、参加したことはありますか。（あてはまるものすべてに〇）

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 町内会・自治会の活動 | 6. 老人クラブでの活動 |
| 2. ボランティア活動、NPO活動 | 7. 商店会の活動 |
| 3. 保育所や幼稚園の活動 | 8. その他 |
| 4. PTA活動 | () |
| 5. 高齢者、障害者等の家族会等の活動 | 9. 参加したことはない |

※NPO：福祉、教育・文化、まちづくり、環境、国際協力など様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し、収益を分配することを目的としない団体を指します。なお、収益を目的とする事業を行うこと自体は認められますが、事業で得た収益は様々な社会貢献活動に充てることとなります。

問11 あなた（あて名ご本人）は、今後、地域の活動、ボランティア活動、NPO活動などに参加したいと思いませんか。現在の活動の有無にかかわらずお答えください。

※趣味活動等は除いてお答えください。（あてはまるものすべてに〇）

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 時間に余裕があれば | 7. 活動の場が身近なところがあれば |
| 2. 紹介があれば | 8. 健康状態がよくなったら |
| 3. 知り合いや気の合う仲間がいれば | 9. 報酬があれば |
| 4. 関心・興味のあるテーマがあれば | 10. その他 |
| 5. 参加方法などがわかれば | () |
| 6. 家族の理解・協力が得られれば | 11. 活動には参加したくない・関心がない |

問 12 住みよい福祉のまちづくりのため、あなた（あて名ご本人）の生かせる「特技」「経験」などがありますか。もしよろしければ、ご自由にご記入ください。

問 13 あなた（あて名ご本人）は、現在の地域での暮らしに「地域のつながり」は必要だと思いませんか。（○はひとつ）

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| 1. とても必要だと思う | 4. 必要ないと思う |
| 2. どちらかといえば必要だと思う | 5. その他（ ） |
| 3. どちらかといえば必要ないと思う | 6. わからない |

問 14 あなた（あて名ご本人）は、現在のお住まいの地域で課題と感ずることはありますか。次のうちからあてはまるものをお選びください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------------|--------------------------------|
| 1. 夜間暗いところがあり、通行に不安 | 5. 買い物に不便 |
| 2. ゴミなどの不法投棄がたびたびある | 6. 自然環境が少ない |
| 3. 近隣同士のコミュニケーションが少ないと感じる | 7. 騒音が激しい |
| 4. 住民層の入れ替わりが激しい | 8. その他（ ） |

問 15 あなた（あて名ご本人）が普段の生活上で不安になることはありますか。それぞれについて、あてはまる番号に○をおつけください。

	（不安が） 強くある	（不安が） ある	（不安は） あまりない	（不安は） ない
室内で倒れ、そのままになる・・・・・・・・	1	2	3	4
犯罪にあう・・・・・・・・	1	2	3	4
悪質商法にあう・・・・・・・・	1	2	3	4
火災にあう・・・・・・・・	1	2	3	4
地震にあう・・・・・・・・	1	2	3	4
停電になる・・・・・・・・	1	2	3	4
熱中症にかかる・・・・・・・・	1	2	3	4
その他（ ）	1	2	3	4

問 16 あなた（あて名ご本人）は、日常の困りごとを、だれに相談したり手助けをしてもらっていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|------------|---------------|--------------------------------|
| 1. 家族 | 6. NPOのスタッフ | 11. その他 |
| 2. 友人・知人 | 7. ヘルパー | () |
| 3. 近所の人 | 8. ケアマネジャー | 12. 誰もいないので困っている |
| 4. 町内会・自治会 | 9. 民生委員・児童委員 | 13. 今のところ、相談したり、手助けしてもらったことはない |
| 5. ボランティア | 10. 職場や仕事関係の人 | |

問 17 あなた（あて名ご本人）は、この 2～3 年のうちに、街やご近所で、障害のある人や妊婦、子ども連れ、高齢者等に対して、次のようなお手伝いなどをしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 1. 乗り物で席を譲った | 7. 買い物を代わりにした |
| 2. 荷物を持った | 8. 車で送り迎えをするなど、外出の手助けをした |
| 3. 階段の上り下りや道路の横断、電車・バスの乗り降りに手を貸した | 9. 食事を作ったり、掃除や洗濯を手伝った |
| 4. 車いすを押したり、持ち上げるのを手伝った | 10. その他 |
| 5. 様子を見に行ったり、声をかけた | () |
| 6. 訪問したり、話し相手になった | 11. <u>何もしたことがない</u> |

（問 17 で「11. 何もしたことがない」と答えた方に）

問 18 お手伝いなどをしたことがない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 手伝いをするほど親しい人がいなかったから |
| 2. 手伝いを必要とする人が身近にいなかったり、必要とされたことがないから |
| 3. 手伝いをすることに気恥ずかしさを感じるから |
| 4. おせっかいのような気がするから |
| 5. どのように手助けしてよいか、わからないから |
| 6. 専門の人や関係者にまかせた方がよいと思うから |
| 7. その他 () |

【すべての方におたずねします。】

問 19 あなた（あて名ご本人）は、福祉に関する知識、情報をどこから得ていますか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 家族や親戚 | 7. NPO・ボランティア等の民間団体 |
| 2. 近隣の人、知人、友人 | 8. テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等 |
| 3. 広報「ひがしくるめ」やパンフレット | 9. インターネット |
| 4. 市役所等の相談窓口 | 10. その他 |
| 5. 社会福祉協議会 | () |
| 6. 地域の相談機関（介護・障害・子育て等） | 11. 特に得ていない |

福祉サービスに関することについて、おたずねします。

問 20 ほとんどの福祉サービスは、利用者が自由に選択（必要とする福祉サービスを自ら選択）できるようになっています。

あなた（あて名ご本人）は、こうした利用者のための福祉にはどのようなことが必要になると思いますか。（○は3つまで）

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 福祉サービスに関する情報の提供体制を充実する |
| 2. 身近に相談が受けられるようにする |
| 3. 苦情に対し、適切な対応ができるようにする |
| 4. サービス内容を評価する仕組みをつくる |
| 5. 行政やサービス事業者（介護保険事業者等）の情報公開を進める |
| 6. 福祉に関わる法律や制度について学習できる機会や場を提供する |
| 7. NPO法人、ボランティア団体の育成や活動への支援を充実させる |
| 8. 利用者の人権を尊重する仕組みをつくる |
| 9. その他 () |
| 10. わからない |

問 21 あなた（あて名ご本人）は、障害のある人や妊婦、子ども連れ、高齢者等が外出しやすいまちづくりを進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

（○は3つまで）

- | |
|--|
| 1. 建物（入口、階段など）や道路の段差を解消する |
| 2. 歩きやすいように歩道や道路の障害物（商品や看板、違法駐車、放置自転車、電柱等）を取りのぞく |
| 3. 公共施設や病院等の階段をスロープにしたり、エレベーターやエスカレーターを設置する |
| 4. 車いすのまま乗り降りできる低床バスやリフト付きの車両や福祉バスを運行する |
| 5. まちの中に車いすの人たちなども利用できるトイレを設置する |
| 6. 点字ブロックや視覚障害者用の信号機の増設や整備を行う |
| 7. 赤ちゃん用の補助席やベビーシートが設置されたトイレを設置する |
| 8. 障害者用の駐車場を確保する |
| 9. その他 () |
| 10. わからない |

問 22 住みよい福祉のまちづくりは、地域の中で市民が協力して進める必要もあります。
 あなた（あて名ご本人）は次の取り組みのうち、知っているものはどれですか。また、参加したいものはどれですか。（○はそれぞれいくつでも）

それぞれ、当てはまる番号に○をおつけください。	知っている	参加したい
ひとり暮らし高齢者への訪問・・・・・・・・・・・・・・・・	1	1
ミニデイホーム（少人数の高齢者が会食、交流等を行うサービス）	2	2
NPO法人・社会福祉法人の福祉サービスや施設へのボランティア・・	3	3
福祉施設と地域の住民との交流（イベント、お祭り、など）・・・・・	4	4
自治会による見守りなどの福祉活動・・・・・・・・・・・・・・・・	5	5
地域の公園の清掃・・・・・・・・・・・・・・・・	6	6
地域の子どもの遊び相手など・・・・・・・・・・・・・・・・	7	7
福祉について学ぶ・知る機会（生涯学習・福祉講座など）・・・・・・・・	8	8
その他（・・・・・・・・）・・	9	9

問 22-1 あなた（あて名ご本人）は、福祉に対する関心や意識を高めるために、どのような取り組みが重要だと思いますか。問 22 の中から 3 つまで選んで、番号でお答えください。

--	--	--

地域の助け合いなどについて、おたずねします。

問 23 あなた（あて名ご本人）は、地域の人々がお互いに支え合っていく上で大切なことはどのようなことだと思いますか。次の中から 3 つ以内で選んでください。
 （○は 3 つまで）

1. 隣近所の住民同士の普段からのつきあい
2. 子どものしつけや子育て
3. ひとりで暮らしている高齢者の見守りなどの活動
4. 障害のある人とない人との交流
5. 地域が行う防災活動などの日常的な協力活動
6. スポーツやレクリエーション活動を通じた健康づくり
7. その他（・・・・・・・・）
8. わからない

問 24 地域の支え合いや助け合いのために利用が望ましい場所、施設はどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 学校施設（会議室等） | 8. 地域センター・地区センターなどの施設 |
| 2. 保育所、幼稚園 | 9. 市内の事業所の余裕スペース（会議室等） |
| 3. 商業施設（スーパーやコンビニなど） | 10. 郵便局、金融機関 |
| 4. 老人ホームなどの福祉施設 | 11. 公園、遊び場 |
| 5. マンション等集合住宅の集会スペース | 12. 市民有志の個人宅 |
| 6. 医療機関（待合室や会議室等） | 13. その他 |
| 7. NPO法人や福祉サービス事業所（会議室等） | () |

災害が起きたときの対応について、おたずねします。

問 25 あなた（あて名ご本人）は、火災などの避難の際に不安なことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 非常ベルなどの音が聞こえず、火災に気づくのが遅れるのではないか |
| 2. 体力の低下により速やかに避難ができず、逃げ遅れるのではないか |
| 3. 避難先や避難方向がわからず、逃げ遅れるのではないか |
| 4. 就寝していて火災に気づくのが遅れるのではないか |
| 5. いざというとき冷静に判断できず、パニックになるのではないか |
| 6. その他 () |
| 7. 不安は感じていない |

問 26 あなた（あて名ご本人）は、大地震などの災害に備えてどのような準備をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------|----------------|---------------|
| 1. 懐中電灯 | 6. スリッパ | 11. その他 |
| 2. 食糧や飲料水 | 7. 現金・通帳、書類 | () |
| 3. ラジオ | 8. 非常用トイレ | 12. 災害に対して備えは |
| 4. 救急用品（包帯、医薬品等） | 9. 非常用ベル・笛 | していない |
| 5. ヘルメット | 10. 近所の電話連絡帳など | |

問 27 あなた（あて名ご本人）は、ご自宅で、大地震などの災害に対してどのような対策をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 家具の転倒防止 | 5. 地震に強い家に建て替え、住み替え |
| 2. 住宅用火災警報器 | 6. その他（ ） |
| 3. ガラスの飛散防止 | 7. 特に何もしていない |
| 4. 耐震診断や耐震補強 | |

問 28 在宅時に災害が発生して避難する必要がある場合、あなた（あて名ご本人）は近所の高齢者や障害のある方などを誘導・支援しながら避難できると思いますか。（○はひとつ）

- | |
|----------------------------|
| 1. 誘導・支援しながら避難できると思う |
| 2. 他の人と一緒にあればできると思う |
| 3. 呼びかけがあればできると思う |
| 4. 自分や家族で精いっぱいでは支援はできないと思う |
| 5. どのような場合でも支援はできないと思う |
| 6. わからない |

問 29 あなたの地域の課題解決のために、ご自身ではどのようなことが協力できると思いますか。ご自由にご記入ください。

--

【 最後におたずねします。 】

問 30 市民同士による支え合いを進めるための、アイデア・ご提案がありましたらご自由にご記入ください。

--

ご回答、ありがとうございました。

記入漏れなどないか、ご確認の上、同封の返信用封筒にて9月24日（火）までにご返送くださいますよう、お願いいたします。（切手は不要です）

「地域福祉に関するおたすね」調査に
ご協力をいただき、ありがとうございます。

本調査の結果がまとまりましたら、年内には概略の広報のほか、調査報告書を市ホームページ、公共施設等で公表する予定です。

また、調査結果をもとに地域福祉に関する計画の策定作業を進めてまいります。その際には、市民の皆様に参加いただく催しなども予定していきたいと考えています。催しのご案内などご連絡を差し上げて差し支えなければ、下記にご記入をお願いいたします。

氏名： _____

住所： 〒 _____

電話： _____

メールアドレス： _____ @ _____

- いただいた個人情報は、本調査に係る地域福祉の催しのご連絡以外に使用することはありません。
- また第三者に提供することもしません。
- このページの情報は、回答内容と結びつけることはいたしません。

東久留米市福祉保健部 福祉総務課 福祉政策係

電話 042(470)7777(代表)

内線 2511

東久留米市地域資源PR
マスコットキャラクター

湧水の妖精
るるめちゃん



Ⅲ-2 自由回答

- ・問 13 「地域のつながりの必要性」についての回答内容
とても = 「とても必要だと思う」
どちらかといえば = 「どちらかといえば必要だと思う」

※「地域のつながりの必要性」について、

「とても必要だと思う」と回答した人、「どちらかといえば必要だと思う」と回答した人について、それぞれの問 12、問 29、問 30 に記載のあった自由回答を年代順に掲載しています。(KEY は調査票の回収番号)

- ・問 12 福祉のまちづくりのために生かせる「特技」・「経験」
- ・問 29 地域課題の解決のために協力できること
- ・問 30 アイデア・提案

KEY	Q13地域のつなかりの必要性	年代	性別	Q12生かせる特技・経験	Q29地域課題解決のために協力をできること	Q30支え合いを進めるためのアイデア・提案
12	ととも	20～29	男性	スポーツインストラクター	短時間のボランティア(イベント協力)	Q30支え合いを進めるためのアイデア・提案
55	ととも	20～29	女性		個人で行動を起こすのはなかなか難しいと思うし、なにかきっかけがないとできないと思う。まだ年齢も20代なので福祉について考えにくい。	支え合いも大事だが、保育所の増設やお年寄りや障害者が利用できる施設に投資すべきだと思う。それからだと思う。
67	ととも	20～29	女性	パソコン 写真		
130	ととも	20～29	男性			
143	ととも	20～29	男性	パソコン エンジン	ボランティア活動への参加。	地域内公園の清掃を通じた交流 市民で行う部活動。
158	ととも	20～29	女性	若い10代の人々が、まだ市に対して関心がないように思われる。だから、若い人から高齢者も楽しめる食事会ができればいいと思います。私は飲食店でアルバイトをしているので、接客や料理はできます。	近所つきあいをもち増やす。ボランティアに参加する。	未来は高齢化社会が進むと思うので、ブロックごとに集会をし、お互いの意志や生き方を尊重できる、話を聞ける場所をつくれればいいと思います。
264	ととも	20～29	男性	私は、26才で妻と2人で暮らしています。収入も少なく子供も作る事も考えてしまいます。間10より、ボランティアの件があります。が、とでも外に時間を割く事ができません。この年代の低所得化はまだ続くと思います。市税を使うから還元するような事があればと思います。間11の答えを書きました。	この様なアンケートに答える。街のイベントに休みの日に参加する	毎月、市で出している印刷物は、若い人は見ていないと思います。4人以上の家族のある家は多いと思いますが、1人暮らしの人にはアクセス(HP)できるようにして、見たい人は見て下さいの様な物にした方がコストカットにつながるのでは(新聞の購読率低下と同じです。)
287	ととも	20～29	女性	これから看護師になります。現在看護学生(4年)です。		
343	ととも	20～29	男性	ストリートダンス	毎日のコミュニケーション	祭りが西口と北口で別なのが理解できない。祭りは久留米を盛り上げるためにやるのだから、西も北も関係ない。やる時はやりきらなきゃ、と思う。もし地主の問題等があるのなら「久留米を盛り上げる」という本質を達成するために早く解決してもらいたい。市が盛り上げられればおのずとコミュニケーションは増えると思う。
378	ととも	20～29	男性	機能訓練特化型デイサービスで勤務している。自立を目指し、高齢者の意向(生の声)を聞くことができる。	このような、意見の提言。	HPやネットは美観見ない、広報などはスパーなどではもちろん、宅配弁当(ワタミなど)業者をお願いするなど、独居で引きこもりの方にこそ、知らせる工夫が必要。
410	ととも	20～29	男性	芝居・殺陣・ダンス・アイドルイベント(地下アイドル)	エンターテインメントまではいかなくとも、殺陣、龍笛等の発表老人ホームでのふれあい等の協力はできると思っています。企画等のていあん!	コミュニケーションができる場所があればよいと思う。若者達が興味を持ちそうなボランティアのアイデアを出す。まずは若者にボランティアに興味をもってもらわないとダメだと思う。
434	ととも	20～29	女性	IT関係の業務についてるので、パソコン得意。	とができれば、気にかけるくらいはできるとおもう。実際の行動は、乳児2人いるので、むずかしそうだが、	他県の乳児コーナーであつたのだけど、“初めて参加する人のための～”という場をつくとよいと思う。ペテラン、常連にいきなりまじるのは勇気いる。初めての同士だと仲良くなりやすい。一度参加すると壁も低くなる。そういうのに参加してからだと、取りくみやすい。
464	ととも	20～29	女性	上級救命技能認定者です。(AED、応急手当)	明確な情報がなく、わかりません。自覚している課題はあります。	働く世代に参加を促進するのなら、土日祝、平日夜間に行うことが必要であると思います。
484	ととも	20～29	男性	大字で福祉の学部で在籍していました。		
490	ととも	20～29	男性	幼い頃から運動をしているので、体力を生かせると思います。		高齢者と若者が広流する場を、設けるべきだと思います。
497	ととも	20～29	女性	ダンス		

16件

KEY	Q13地域の つながりの 必要性	年代	性	Q12生かせる特技・経験	Q29地域課題解決のために協力できること	Q30支え合いを進めるためのアイデア・提案
24	どちらか といえは	20～29	女性	教員免許(中学・高校・国語科) 手話	手話が少しできる	災害時の避難場所に目で見て分かる情報提示をしてほしい。聴覚障害者は放送が聞こえず、食 事の配給等に気が付かないから、 近隣の方々の地域での住所、氏名、電話番号等自治会などや町内会がない所でも情報が得られ る方がいざという時に呼びかけ支援ができると思うのですが、人によって近隣の方々のコミュニ ケーションが取りにくい人もいますと思うので
100	どちらか といえは	20～29	無回答		緊急時の対応について学び、いざという時に適切 な対応が出来る冷静さを培っておくこと。また地域 の清掃など、人とあまり関わらずに済むボランティア なら参加してみたいと思っています。人と接する のが下手なものです。	アイデアではありませんが、みなが他人を尊重し、他人の家の事情などを詮索したり、とやかく言 わないようになれば関わりやすくなると思います。お年寄りは結構他人に対して遠慮がないという 私の偏見です。
152	どちらか といえは	20～29	男性	これといった特技はありません。 正社員で働いて、専門的な能力 を持っていただけると常々思いま す、難しい状態です。		
212	どちらか といえは	20～29	女性		まず、空地(農地を含む)を出来るかざり確保。行 政が、やりたい放題のデベロッパーに規制をかけ る。 日程などがあればボランティア活動等をしたいで す。	東日本大震災であったような、若い、20～30～40代の人が人生の残り少ない老令の人を助けて、 命を落とすような、事は美談ではあっても、あって欲しくないです。
233	どちらか といえは	20～29	男性			自由に使えるスペースや公園等の設備をよくしてほしい
261	どちらか といえは	20～29	男性		隣近所でのあいさつをする きかいがあれば、色々と協力したいとは、思ってい ますが、そういうふうに入ることがないともうも うにしたら皆さんかかすかと思えます。	
329	どちらか といえは	20～29	女性			交流の場をわかりやすく皆に伝わるようにし、町の皆が仲良くなれるようにする。(若い子からお 年よりまで)
544	どちらか といえは	20～29	女性	グラフィックデザインをしていま す		

8件

KEY	Q13地域のつなかりの必要性	年代	性	Q12生かせる特技・経験	Q29地域課題解決のために協力をできること	Q30支え合いを進めるためのアイデア・提案
26	とでも	30～39	女性	体操指導	まず、どうしても、自分の家族のことが一番になってしまふ。安全が確実、確認できたとき、初めて周囲に目がいくと思うので、その時、指示してくれるリーダーのような人がいてくれればいいと思う。子供達の登下校の時間に通学路に出て、不審者がいないか確認する。	もっと集会場など、格安で使える場を使いやすくすべき。
76	とでも	30～39	女性	ベビーアロママッサージ		
115	とでも	30～39	女性			
127	とでも	30～39	女性	料理		
145	とでも	30～39	女性			
148	とでも	30～39	女性		ご近所同志のコミュニケーションを深める自分たちの避難場所がわからない人がたくさんいます。ハザードマップの様な、この地域の人はこの場所です。というような、「あなたはこの場所」ですとはっきりわかる様なものがほしい。子供にも教えやすい。(私も避難場所が第7小学校だと思っていいたら、本当は西中学校だったと言っ事があり。子供も知らなかったので実際災害があったらこれくらい思った。)	地域対抗運動会の様なもの(小倉井市にはあります)
154	とでも	30～39	女性	ボランティアに参加しています が、東久留米のたくさんあるボランティアの方々が、どのように活動しているのか、もっと市民の方に知ってもらえる機会があればいいと思います。	高齢者が多いため、声かけ程度ならできる。	
224	とでも	30～39	女性	ボランティアにたくさんあるボランティアの方々が、どのように活動しているのか、もっと市民の方に知ってもらえる機会があればいいと思います。	より多くの人達と関わる。地域の色々な事に興味をもち、東久留米の自然や動物園と人達と住みやすい明るい地域にいくために、たくさんの人達と笑顔でいる!	住みやすい東久留米市にもっとするために、色々なボランティアや個人でやられている方の活動を知ってもらえる機会を作る。私もですが、便利なお店があっても、よく分からない事の方が多いので、やっぱり人との関わり合いから生まれてくると思つてます。人にも自然にも、動物にも優しい街にしたいです!
299	とでも	30～39	女性			回覧板 街の中にポスターなどで知らせる場所を設置する(ポードなど) 自治体(自分の住む地域の)イベント、行事
309	とでも	30～39	女性	ピアノ、オルガンが弾ける事。結婚式のオルガンリストをしていたので、タイピングに合った曲の始まり、終わりができます。イベント等にも応用できると思っています。合奏、コーラス等の伴奏。	子どもを持った事で、その時その時に、どんな助けがほしいかがわかるようになった。子どもに対して、自分の子以外でも、あたたかい気持ちでいられるようになり、あいさつや、「あがないういよ」などの声かけができるようになった。	子育ての面から〜もつと男の人が子育てに参加してほしい。まずは、新聞、TV、ポスター等、「男の人と子どもが関わっている姿」が、たくさん人の目に映つたらいいと思う。広報の赤ちゃんの写真もいいけど、おじいちゃんや子ども、お父さんと子ども等もあつていいと思う。
363	とでも	30～39	女性	過去に水泳指導経験があり、子供〜高齢者の方と接する仕事に携わっていました。水泳(プール)を通じて泳ぐ事の楽しさや健康づくりを教える事ができる事が私の特技だと思つています。	ご近所同士の付き合いはあいさつ程度でどう言うた方がご近所にいるのか良く知らない世帯もあります。自治会等の設置があれば、そう言った会にも協力できるし、ご近所同士の助け合いもできるのですが...	
377	とでも	30～39	男性	高齢者のお世話をする。	依頼していただいたり出来る内容であれば、引き受ける。	商店街等地域みっちりやくを重要視し交流を深める。
459	とでも	30～39	女性		どの様な課題があるのかわかりたい。	
469	とでも	30～39	女性		近所のひとり暮らし高齢い者、障がい者のリストが判ればいさというときに声かけなり手伝いに行けると思ふ	
14件						

KEY	Q13地域のつなかりの必要性	年代	性	Q12生かせる特技・経験	Q29地域課題解決のために協力をできること	Q30支え合いを進めるためのアイデア・提案
18	どちらか といえは	30～39	女性		お年寄りの話を聞いたり、小さい子どもの遊び相手になったりは協力できるように思います。(または、事務作業等。)	Q30支え合いを進めるためのアイデア・提案 形だけのイベントばかりでなく、日頃のコミュニケーションが大切だと思います。世代等関係なく心を開きかけとなるような催しがあればいいと思うのですが…。
51	どちらか といえは	30～39	女性			深夜や早朝に騒ぐ家があったり、ゴミを決められた日にできない家など、周りに、モラルやマナーに欠けると感じられる方々がいいます。いざというときに助け合うことは非常に重要ですが、日頃のそういった状況があると難しいのではないかと感じたりします。自分1人だけで地域に暮らしているわけではないのですから、まずは最低限のモラルやマナーを市民1人1人が持たなければならぬと思います。
116	どちらか といえは	30～39	無回答	ホームヘルパー資格所有・幼児から高校生までの子ども連に、スキー指導や、宿泊キャンプや、野外室内定例活動を10年ほど行っていました。 保健師としての知識(今までのキャリア、経験)	ホームヘルパーの資格をいかした活動。	町コン シルバセンターの活性化
208	どちらか といえは	30～39	女性			幼児期から福祉に親しむ機会が増えたとよい。子供だけでなく、親も交えてが望ましい。
253	どちらか といえは	30～39	女性		交流する機会をもつ	
263	どちらか といえは	30～39	女性	音楽。ピアノを勉強してきたので、伴奏位ならできます。	近所の中では年齢的に若い方なので、力仕事etcなら協力できると思います。また子育てと仕事をしているもので、それらに関するなやみ等であれば、相談にのれると思います。 東久留米が地元ではなく、また単身者にとっては地域と交流する機会も難しく思う。 現在は子育て中のため、定期的なボランティアはできないが、地域の防災セミナーなど単発で行って頂ければ参加可能だと思えます。	市のHP(市役所etc)をもう少し充実させてみてはどうでしょうか。(イベントの告知など)
366	どちらか といえは	30～39	女性			地域での交流や活動は子育て世代や高齢者が多いという先入観があるので、若者が参加しやすいものがあればよいと思います。
367	どちらか といえは	30～39	女性	中・高の教職、HP制作などのPC知識		
456	どちらか といえは	30～39	女性			重くならない程度の自治会。
457	どちらか といえは	30～39	男性		声の掛け合いを、心がける。	
511	どちらか といえは	30～39	女性	大学院で心理(主に発達)を学び、発達障害について現在も学んでいる。(特別支援教育士)	子育てが落ちついたら、ボランティアに参加したいです。	市民体育館のキッズスペース(?)は小学3年生まで利用可ですが、幼児と小学生では遊ぶ激しさも違うので、できれば小学生のあそべるスペースを作ってほしいです。幸町4-6-0…以前ここにあったミラーがなくなり、安全に道を渡る事が難しいです。また設置してください。
539	どちらか といえは	30～39	女性	保育士 etc…		
12件						

KEY	Q13地域のつなかりの必要性	年代	性	Q12生かせる特技・経験	Q29地域課題解決のために協力ができること	Q30支え合いを進めるためのアイデア・提案
68	ととも	40～49	女性			何が必要なのかわからなないので、今どこで何が必要なのかかんたんに情報を得られたら多くの人に参加できると思っています
82	ととも	40～49	女性	読み聞かせ	通学路のパトロール 近所の高齢者への声かけ	地域の避難訓練。(実際に避難所に集まり地区ごとに自己紹介など、食事の用意など分担し、食べてみる)
95	ととも	40～49	男性			子育て世代とお年寄りの交流がもつとあればと思う。保育園にお年寄りを迎えて折り紙を教えてもらう、あやとり、歌を歌う、など。
175	ととも	40～49	女性	子供を2人育てました(まだ育て中ですが…中3、小3)		「子育て世代にやさしい街」をめざして未就学児のいる全ての世帯に保育園に入っている入っていない母親が仕事をしているかいないかにかかわらず老人のデーサービスのように子供を無料で月1回で良いので3時間～5時間あずかってくれるサービスがあればお母さんの息抜きの時間ができて良いと思います。
177	ととも	40～49	女性		これから、地域のことについて、学んで、考えて行きたいと思えます。	
186	ととも	40～49	女性	ピアノが弾けるので老人ホーム等に行き一緒に歌などで楽しめたらよいなと思う。	自治会で防災訓練等しているが、各戸にどのような方が何人いらっしゃるかわからないので、近隣の交流を更に深めていくこと。	
196	ととも	40～49	無回答	花を植えたりなどのお手伝いな	ちよびりめんどく思っても、地域のみなさんと気軽に困った事をばなし合おうというパワーが、課題解決の近みちだと思ふ 案があるのでなく話すと	楽しい事から始める形で市のキャンプなどで、一緒に狭い所、少々苦痛な所で楽しく過ごす、体験はいずれ、大人になって避難所生活の時に役立つ芽をつくるのでは
241	ととも	40～49	女性		近所に高齢者や障害のある方が住んでいる等の情報があればよいと思う。知っていれば手助け出来ることもあるかも。	近所に高齢者や障害のある方が住んでいる等の情報があればよいと思う。知っていれば手助け出来ることもあるかも。
313	ととも	40～49	女性	手話通訳、美容師	散髪に外に出られない方の散髪が可能です。近所情報があればよいと思ふ。通訳が、可能です。(いずれもボランティアがあるので、多少不安があります)	大地震の不安がありますので、自治会の中で、避難訓練が実際に行なえたら良いと思います。(1年に1度位)
421	ととも	40～49	男性	スポーツ振興		
426	ととも	40～49	女性	スポーツ(エアロビクス、アクアビクス、水泳、アスレチックジム)のインストラクターの経験を生かし、お年寄から子供たちへ運動の指導ができる。		
468	ととも	40～49	女性		PTA活動で募金活動をもっとしたら良いと思う。市が「今年ば〇〇とテーマを決めて、市立小・中学校、私立幼小中学校が一斉にキャンペーンをしたらどうか。日本に募金とボランティアが根づくように。人だとなかなかしない。	小学校の近所同士の集まりが年一回以上あり、これだけでも心強く思う。自治会に加入していない集合住宅に住んでいるので、組合も回覧板もなく、いざという時に不安がある。無所属の人達のための互助会、自治会制度がほしい。そしてそれを告知し、広く市民に知らせてほしい。
479	ととも	40～49	女性	介護福祉士として特養勤務経験あり。認知症ケア専門士 介護支援専門員	認知症等要介護高齢者とその家族に対する支援	
487	ととも	40～49	男性	福祉の仕事をしていますので…	色々な課題について考える事。	制度や、仕組み(サービス等について)をもっと広く認知してもらおう必要があると思う。市が福祉の街にする、といった意気込みも必要の様だと思う。皆が正しい知識を持つよう。(もちろん、利用者側の意識もそだだが)市が底上げをするような政策をしてほしい。
538	ととも	40～49	男性	Web作成などのITの技能 管理業務主任者の資格	Web等を通じた広報活動 防災訓練等への参加	SNS (twitter等)を使った広報や情報交換

15件

KEY	Q13地域の つなかりの 必要性	年代	性	Q12生かせる特技・経験	Q29地域課題解決のために協力できること	Q30支え合いを進めるためのアイデア・提案
50	どちらか といえは	40～49	男性		週末しかいないので特別なことは、出来ないと思います。	
102	どちらか といえは	40～49	男性		わからない。	
104	どちらか といえは	40～49	無回答	看護業務	隣、近所とのつきあいによってコミュニケーションをはかること、日ごろから訓練しているならば可能かもしれない	市民全員で災害時の行動をシミュレーションした訓練を行う。年に1度。日中のパターンしかできないが...仕事している人で市以外にいる人も参加できないが
178	どちらか といえは	40～49	男性		治安維持のための見回り	各自自治会で、地域の見回りをしたら良いと思う。若い連中がうろろしているのが多く見られる
237	どちらか といえは	40～49	女性	いざという時は、手伝うことが出来る。『動きは、良い』		
247	どちらか といえは	40～49	女性		交流会でのお手伝い。	老人、子供、親との交流会の機会を作れば良いと思う。(地区ごと)例えば、防災訓練等、学校のみで行われているが、親、地域の方々合同で行うのもいいかもしれない。ブロック別で別れて、近所にどんな人が住んでいるか、把握できるかもしれない。避難場所、各地に、防災グッズはもう準備されていますか?災害になってからでは遅い。今度、広報に、各場所に備蓄されている物を掲載して下さい。アンケートをとったのですから、有言実行、期待しています。
291	どちらか といえは	40～49	女性	知的障害、肢体不自由の方々とずっと関わってきているので、その関係のことであれば少しは知識があると思っています。	近隣の人たちとの交流が大切だとは思いますが、フルタイムで仕事をしていると毎日、自分のことばかりでどんなことをしたら良いのかわかりません...	
311	どちらか といえは	40～49	男性		防災訓練の参加、町の清掃、消防団	「あいさつ運動」隣の人の顔も名前も知らないのが現状です。黒目川が好きでよくウォーキングをしています。すれちがう人があいさつをしてくれて、こちらもあいさつを返して、そういつた所から人と人とのつながりが始まるのではと思います。
381	どちらか といえは	40～49	女性		近所にいる両親が高齢のため、両親の手伝いは出来るが、ほかに手伝いや支援が必要な方がわからないので、何を協力すべきなのか、わかりません。また、仕事をしているので仕事中に災害がおきた時、両親が心配です。	広報で地域、地区ごとの子供や学生・高齢者などの人数を明示してほしいです。そこから課題や福祉について学ぶ学習会等を検討していただけたらとわかりやすいと考えます。東久留米市として大きく考えてもピンときませんが、地区として理解できれば、自分で出来ることもあるかなあと思います。
523	どちらか といえは	40～49	女性		グループを作り、パトロール	市民密着型の仕事や遊地の増設。

10件

KEY	Q13地域のつなかりの必要性	年代	性	Q12生かせる特技・経験	Q19地域課題解決のために協力ができること	Q30支え合いを進めるためのアイデア・提案
14	とても	50～59	男性		今はまだ働いているので時間がなかなか取れない。将来的には(自由な時間ができれば)、そのような場合に出席できると思う。	何といっても隣り・近所とのつながり、コミュニケーションが一番大切。これが出来ていればいざという時に助け合うこともできる。また、空巢などの犯罪の抑止力になる。
41	とても	50～59	男性		地震などの災害の時、や近所の方が困っている時など少しでも力になれるよう常に近隣との交流を心がけたいと思います。	
65	とても	50～59	女性	保育園の看護師です。後2年で定年をむかえます。しかし、興味は自分の行く先の介護等高令福祉に向いています。	近所の一人暮らし老人への安否確認	年金生活になった時、わずかな日銭をかせげるよう特技、趣味を生かしたNPO法人化した事業が何かできないか。有効だと判断されたら助成金を自治体が出す制度づくり
91	とても	50～59	女性	音楽(コーラス等)		
162	とても	50～59	女性	介護		
168	とても	50～59	男性	残念ながら、汗を流すことしかできません。	民生委員のサポート 催し物への参加 市報などの配付	民生委員(または議員)が中心となって地域の状況(どんな世帯で構成されているか等)を把握する。→政策につなげる。地域で研修・講演会を開催。(土日、夜の開催で勤人も参加) 地域の赤十字の活動で何か共催できないか。地域の消防団と連携できないか。地域ごとに市報を配付する人を指定して、見回り、声かけの一環としたら、市民同士による支え合いを進めるにはやはり市民同士による交流が必要だと思います。老若男女参加できるようなイベント等を開催できればと思います。
267	とても	50～59	女性	声の通りが良いので老人の方達とお話し等。	ご近所の方の顔を覚える	
273	とても	50～59	女性	カウンセラーの資格があるの	自治会での決められた活動。協力。	
284	とても	50～59	男性	で、傾聴ボランティア等	自治会での決められた活動。協力。	
300	とても	50～59	女性	障害者への支援活動	水が出なくなったら、畑にトイレを作る。	
338	とても	50～59	女性		私自身も家族に高齢者と子どもを抱え、かつ共働きなので、時間に余裕はないのですが、自治会等の活動にはできるだけ参加し、できることがあればと思っています。	近隣の高齢者の方々と、子どもたちが一緒に交流できる場や催しがあれば、顔見知りになり、いざという時に、お互いに助けあえるのではないかと思います。
340	とても	50～59	男性		地域のつながりを強く持つ(隣近所の住民同士につきあい)	
361	とても	50～59	男性		出来るだけ、協力したい。	自治会、で話し合をし、少しでも多くの意見を聞き、そんな事をとくに市民(市役所)でまとめ、市民に伝えている様にしてみたい。
392	とても	50～59	女性		声のかけ合い	
430	とても	50～59	無回答		地域の方々との交流し、話し合い、意見を出し合う。また、困っていることなどをきいたりする。	市民の方同志の、コミュニケーション、レクリエーションの充実。
438	とても	50～59	女性	介護福祉士の資格有り。和太鼓の趣味有り。		
442	とても	50～59	男性		もっと自治会を通してボランティア等へ参加出来るのでは?	お祭等、もっと市民が参加出来るイベントを充実すべき。自治会と市も、市民の交流の場を共力し盛り上げていくべきかと思ひます。
474	とても	50～59	男性	自分が障害者だということ。地域の清掃特技ではないが自宅前後左右ぐらゐの草むしり落葉はきなどをしています。近所の公園のゴミ拾いを年間されてる方に頭がさがります。	障害者の一般企業での仕事への参加前に記入しましたが、地域、自宅近所の清掃等が自分で気軽に来れる、やっつけてくれる行動です!!早朝公園のゴミ拾いを年間されてる方に頭がさがります。	楽しい集まりなどをめんみつに知らせ、もれなくカバーできるようにする。
512	とても	50～59	女性			せめてご近所同士の“あいさつ”からと思つてます。自治会がありますので積極的(でも無理のない)に参加される事を期待してます。
526	とても	50～59	男性			子供が小さいとききっかけも多いが、大きいと話す事もない。

20件

KEY	Q13地域のつなかりの必要性	年代	性	Q12生かせる特技・経験	Q29地域課題解決のために協力ができること	Q30支え合いを進めるためのアイデア・提案
3	どちらか といえは	50～59	男性		定年をむかえれば別だが、現状ではなかなか協力がするのは困難だと思います	「お互いの信頼関係の構築」を本気になってすることだがとてもむずかしいことも確かである、と思います。何か行事や交流会は形だけになっているのが本音でしょう。
8	どちらか といえは	50～59	男性		生活に余裕がなく、土・日も仕事なので協力はできないかもしれません。母親が高齢なため、これからの介護の知識を勉強しなければと思っています。	
88	どちらか といえは	50～59	無回答		プライバシーを守る事も必要と思うので、高齢者宅の庭の清掃等、お手伝いできたらと思います。	まずは、声を掛ける事から始められたらよいかと思います。
121	どちらか といえは	50～59	女性		高齢者宅への訪問 地域清掃	自治会の内容の充実。
128	どちらか といえは	50～59	女性	創傷の手当て、救命(OPR)		
209	どちらか といえは	50～59	無回答		自分の健康状態が悪いので何も出来ません。	
292	どちらか といえは	50～59	男性	特別支援学校教員なので、障害児・者に関わる事があれば活動できると思う。和太鼓についても指導できる。		地域のつながりは普段の近隣住民の間でのコミュニケーションが成立しているかどうかで決まると考えている。公共団体レベルで何かをしようとするのならば、何か大がかりなことを企画するのではなく、住民間の対話を活性化する方が講じられるべきだと思う。
349	どちらか といえは	50～59	男性		課題解決に向け、皆様といっしょに前向きに協力する事が出来る。	コミュニティ活動の積極的なアピールと、協力者の誘致。
375	どちらか といえは	50～59	女性		意見交換会があれば出席できる	
387	どちらか といえは	50～59	男性		町内会・自治会の活動	i-phone等を利用した安否確認、GPS情報等の活用
391	どちらか といえは	50～59	男性	太極拳講師(スポーツクラブ、その他で20年以上の指導経験あり)	現在の仕事が休みが不規則で、忙しいため協力がすることがむづかしいが、もう少し落ちついたら、地域の活動に協力したい、と思う。今は、未定である。	
397	どちらか といえは	50～59	女性		高齢者の買い物の手伝い。	自治会の活動を増やす。
406	どちらか といえは	50～59	女性		個人不可能だと思います。話を聞きながら、そこから解決さきを見つけていくきっかけを作ってあげる。	支え合いを進めるための…それは、ひとり、ひとりが心にもっている相手を思う心、すなわち思いやりだと思います。日本人の奥ゆかしさ、優しさではないでしょうか？
485	どちらか といえは	50～59	男性		仕事が忙しく、現実的には、むずかしい。	定年退職された、男性が中心になり、支え合いの主導者になって、頂きたい。
501	どちらか といえは	50～59	女性		今のところ、協力してもらえばかりになっている。	
505	どちらか といえは	50～59	女性	ヘルパー2級 デイサービス職員	介護保険では、頼めないことなど、要請があれば協力できます。	「認知症について」「車イスの扱い方」などの講習会を自治会など、地域の小さな団体ごとに行っていたら良いと思う。徘徊している人がいる時の対応の仕方やまた探している人への協力が今後ますます必要となると思うからです。車イスも正しい扱い方を知らない人が多く、段差を超えられないと思っています。人がいます。
520	どちらか といえは	50～59	男性		近所に声かけが出来る。	
531	どちらか といえは	50～59	女性	お菓子作り スポーツ	現在は正社員として働いております。土曜・日曜・祭日は出勤のため地域のイベントには全く参加できません。定年してからボランティアとして活動できるとかと思っています。	困った事があった場合、どこで誰に相談したら良いのか…地域の活動を知らない人が多いのでは？
18件						

KEY	Q13地域の つながりの 必要性	年代	性	Q12生かせる特技・経験	Q29地域課題解決のために協力ができること	Q30支え合いを進めるためのアイデア・提案
5	とても	60～64	女性	子育て支援	ひとり住いの高齢者の方への声かけやお買物のお手伝い位だったら出来そうです。	
117	とても	60～64	女性		ご近所で声をかけあえると、万一の時にも助け合えると思います。	
332	とても	60～64	女性		全体のシステム構築、イベントプラン、記録、公報、能力はあるが、家族の介護もあり、時間がとれない。	
405	とても	60～64	男性	ビデオ撮影、編集 公報PR	ひとり暮らしの高齢者への訪問	
450	とても	60～64	男性		「地域の課題解決」ですが、災害(特に震災の時に)でも福祉施設でボランティア	
466	とても	60～64	女性		アでリコーダー演奏などをしてお	
521	とても	60～64	女性		りますが、今後も続けたいと思っ	
					たり交流を測る様に努めておりますので。	
7件						
108	どちらか といえは	60～64	女性		現在自身が何ができるのか?分からないがその時に、困っている人がいたら協力する気持ちはある。避難場所	
126	どちらかと いえは	60～64	女性		が分かるよう町に(電柱等に)非難場所の位置が分かる	
138	どちらかと いえは	60～64	男性		ようにしてあると良いと思います。	
208	どちらか といえは	60～64	女性		地域の問題点(現状)の確認、連絡。	
213	どちらか といえは	60～64	男性		できるかざり意識をもて行動する。	
250	どちらか といえは	60～64	男性		近所の方がどのような支援や協力が必要なのか、どのような方が住んでいるのか、わかりません。どこまでプラ	
258	どちらか といえは	60～64	無回答		イベートの部分に入りこんでよいのか?私に出来る事があれば協力したいと思います。	
333	どちらかと いえは	60～64	女性	絵を描く	町内会・自治会がないので住民同士の横のつながりが	
334	どちらかと いえは	60～64	女性	広報紙や公表文書の作成。印刷の知識	できず、協力がわかない。なるべくなら作った方が	
346	どちらかと いえは	60～64	無回答	海外からの訪問者へのサポート(案内等)但し英語でのコミュニケーションに限る。	町内会・自治会等の充実、設立されていない場合は住民に呼びかけ設立する。(横のつながりが	
374	どちらかと いえは	60～64	男性	文章の製作	町内会・自治会等の充実、設立されていない場合は住民に呼びかけ設立する。(横のつながりが	
394	どちらかと いえは	60～64	男性		町内会・自治会等の充実、設立されていない場合は住民に呼びかけ設立する。(横のつながりが	
435	どちらかと いえは	60～64	無回答		町内会・自治会等の充実、設立されていない場合は住民に呼びかけ設立する。(横のつながりが	
443	どちらかと いえは	60～64	女性	保育(子育て支援)	町内会・自治会等の充実、設立されていない場合は住民に呼びかけ設立する。(横のつながりが	
495	どちらか といえは	60～64	無回答		町内会・自治会等の充実、設立されていない場合は住民に呼びかけ設立する。(横のつながりが	
16件						

KEY	Q13地域のつなかりの必要性	年代	性	Q12生かせる特技・経験	Q29地域課題解決のために協力できること	Q30支え合いを進めるためのアイデア・提案
94	とても	65～69	女性	ファミリーサポーターに参加している 東京老人ホーム(柳沢)へ月一、ボランティアへ行っている	自分でできる範囲の事は、協力したい。	時間があいたら、積極的に参加したいが現在はまだ動いていないのでむりかと思えます。
111	とても	65～69	女性			知識がないと不安になるので防災や自然災害に立ち向かうための冊子やCDを作り配布する(各家庭に) 地いきて集会を聞き勉強する。
192	とても	65～69	女性			趣味などを通じ交流を深める場所。があれば良い。その為にもピアーール、呼びかけなどの集会出来るよう呼かけの方法を作してほしい。
201	とても	65～69	男性	ボウリングのインストラクターの資格が現在あり週5回ボウリングスクールのインストラクターをしている。		現在、自治会の活動に参加しているが、市内には、その他、いろいろな団体がある。市が政策として、それらの各種団体のネットワークづくりを進める必要があると感じている。
223	とても	65～69	男性	社会福祉の仕事に従事していたこと。	先ず、近隣の人たちの安否は確認できると思う。地域で困っていることがあれば、援助活動に参加したい。	
257	とても	65～69	無回答	ゲートボール、ターゲット、囲碁、将棋 仕事が調査関係ですので今ままで見て来た、町の事が少しは分かると思う。今も世田谷に2ヶ月行っていますが、まずかんじた事は、いがいと静、公園とかなない(仕事で調べられている)のをかん	参加しやすいボランティア。	公園で良く話しをするので誰れもがあつまれる公園が必要。世田谷ではちよつとしたスペースがあればイスを置いて市民のいこいの場所になっている。(マンションのほんの少しな場所を)
288	とても	65～69	女性	マッサージ		自治会内での避難訓練 市内で何が起きているか等、災害状況を的確な市民への伝達方法を考えてほしい。(放送もききづらいことが多い)
303	とても	65～69	男性		近所に高齢の方への声かけ	
336	とても	65～69	男性		とにかく良く話し合うことが第一です。	
9件						
30	どちらかといえ	65～69	男性			ぶら下がろうとすると人達の意識を如何にして自立の方向へ持っていかれるかを考えることから、先ず取り組むべきと思う。ズルは絶対排除する。非国民は許さない社会作りをすることが、福祉社会を作ることにつながるのではないかと強く思う。
99	どちらかといえ	65～69	女性	特技等はありませんが、健康な身体を持っています。		団地に住んでいますが、個人情報保護の為、名簿(自治会の)に空欄が多く、何かの時に連絡がとりにくいです。
151	どちらかといえ	65～69	女性	趣味程度ですが草花の手入れ		ご近所とは地震が発生したら皆で一語に行動しましょうね、と。
181	どちらかといえ	65～69	男性	一級建築士 宅地建物取引主任者		
193	どちらかといえ	65～69	無回答		個人にもとめるのではなく、市役所・都庁が考え、行動を起こすべし 普さんのコミュニケーション おもてなしや、思いやり の心の醸成のために何が出来るか、協力できれば良いと思います	
242	どちらかといえ	65～69	無回答			
328	どちらかといえ	65～69	女性	保育者として永年働いてきたので子育てのお手伝いはできるが現在地の自治体で友人の手伝いをしている ので多分ここでは無理だと思ってしまう 近場ではいいかな...と思っている。	協力の要請が具体的にあれば手伝いはできるが現在は自分のことしかわかりません。	それぞれの個人のつながりが今はたよりです。提案があれば自分の中で消化はできると思いますが、
390	どちらかといえ	65～69	女性		親の介護が昨年親の死という事でそれ等の作業がなくなりました。この経験をの協力としたいと思います。	90才以上の老人が多い事でこの老人パワーをいかに活用していただける事を市より提案していただきたい家外に出ない老人をいかに外に出して、これらの活動に参加する事の出来る事と思っています。
399	どちらかといえ	65～69	無回答	特技、洋裁、料理		
439	どちらかといえ	65～69	男性		今までも地域の課題については、活動してきましたが、問題があればどの様な事でも協力出来る事ながら、活動していきたいと思えます。	
513	どちらかといえ	65～69	女性	家事、青事など。	公共機関や市の取り組みがハッキリしていないのでどこまで協力出来るかわかりません。	お互いに急に支援が必要になった時まず市役所に問合せようと思っておりますが、24時間対応のシステムになっているのでしょうか?日頃からの予備知識が必要だと思いますので今後さらさら学習の機会をもうけてほしい、明るい福祉の東久留米願ってます。
11件						

KEY	Q13地域のつなごりの必要性	年代	性別	Q12生かせる特技・経験	Q29地域課題解決のために協力をできること	Q30支え合いを進めるためのアイデア・提案
42	とても	70～74	男性			
66	とても	70～74	男性	自動車運転。パソコン少々		
73	とても	70～74	女性	道路清掃		
197	とても	70～74	女性		現在は、夫が目がわるく、どこに行くのも一語です のでご協力出来ることは少ないと思います。私もリ ウマチを持っています。特に支障は(普段の生 活に)ありません。(現在は)	コミュニケーションをどうとるか、一番難しい課題です。何かを一語行うとか作るとかそれ何回もくり かえし、みなさんが必ず参加出来るようにする(都合で参加できない人もいるため)
240	とても	70～74	女性	河川に恵まれ、憩いの水辺での 川遊びの風景は微笑ましく見て います。しかし、南沢湧水では、 夕方、朝早くとか汚物を洗う姿、 等、注意もできずがっかりです。 大腸菌等大丈夫でしょうか。水 質検査を公表していますか?夏 は特に回数多く欲しい。	自治会の殆は、男性で、防災その他等頑張ってい らっしゃる。お隣近所は、普段より井戸端会キ?仲 良く、気軽につきあひし、女性同士の助け合い が大切かなと。	隣近所ばかりでなく、広く考え、民生委員となれば、肩書きに守られ、おせっかいし易くなり、助け を待っている人の役に立てると思っていますが、人生、他人のお役に立ちたいと思っても、はや70 才でしたので、年令で民生委員への候補はダメでした。すぐそばで困っていらっしやるでしょうねと 心配しても、なかなか声はかけられられない現状です。
276	とても	70～74	男性	日本アメリカで会社経営をし、 色々の経験をして来たので、そ れらを生じた、活動が出来れば 良いと考えています。	広報活動の協力等。	市役所主導で年数回meetingを行って下さい。(注)要望として、国民健康保険料等の税を下げた ほしい。
289	とても	70～74	男性	引きこもり、ひとり暮らしの人達に 対しての「呼びかけ」や「ご機嫌 伺い」但し、おせっかい、干渉 にならない程度に。	7～8軒の近所同志なら日頃会えば挨拶しており災 害等が起っても、対処出来る。何も無いのに干渉 するのは問題。もつと広範囲の地域から市や公共 機関が指導すべきでしょう。	月に1回南部地域センターで「おしゃべり会」をやっており、こんな事でもお互いの理解が深められ るでしょう。作家、医者、弁護士、先生、放道関係、市の職員、議員…と種々の人に来てもらいせ いせい10人～50人ぐらいの地域住民を呼んで色々の「話す会」を持ってもらいたいでしょう。あまり固 い話はやめて。
389	とても	70～74	男性	長年大工職で退職したら生かした ボランティアをしたいと思いま す	労働作業等のボランティア	主旨が違いますが、浅間町から渡る踏切で車と自転車ですれ違ふとき子供さんの自転 車が倒れ頭をすれすれで引かれそうになってきても潰した事が有ります
395	とても	70～74	女性	老人ホーム等火、木、土曜日お 老寄り旅行等々お話がした い。		お互いの声かけが必要だと思います
408	とても	70～74	男性		町内でのコミュニケーションの精度、災害の対応、事 件、詐欺等の対応のしくみ。	回覧の復活、と緊急サイレン、or、ベルの装備。
448	とても	70～74	女性		ご近所の方々とコミュニケーションを取り声をかけ合 う事。	
454	とても	70～74	女性		自治会内では、高令者が多くなって居りますので、 (自分もですが)日頃からの声かけ、コミュニケー ションが大切とは思って居ります。勇気が出せれば …お一人でも声かけ、気持を楽にし合えるようにし たいです。ガンバロ!	自治会内であっても、個人情報厳守ということで、家族構成が解らないままです。気がかりでも助 け合う心が流れにくい。以前は、家族全員の年令も知らせていた(印刷物で)地域ですのに。生活 行動がある程度解ることが、助け合う基盤になると思います。
12件						

60	どちらか といえは	70～74	男性	自治会役員(在)	高齢者の引きこもりをなくす、が大切と考えていますので、クラブ活動を通じて明るく健康推進(頭脳健康含む)よろずやや会等課題解決の糸口にいろいろ行っているとします。(問題は多くの人が人と人とのつながりがわらずわしいと思っっている方が多いです。)	高齢者に対するケアの一の仕組みを充実することが大事と思う。なるべく外に出て皆んなで集まる機会を多くする
141	どちらか といえは	70～74	男性	ウクレレが弾けない自分がウクレレ愛好会を立上げ教師を紹介して練習しています。又社交ダンスも出来ない自分が始めて3年今は特技となっています。	住宅の自治会には自主防災会があります。その活動にそってまずは近所の方々とのお話し合いを目指したいです。	高齢者に対するケアの一の仕組みを充実することが大事と思う。
155	どちらか といえは	70～74	女性		課題はいろいろ有ると思うが、ルールを守り他人に迷惑をかけるようなことを避ける。	70代に運動をしているので、運動を手助けする
207	どちらか といえは	70～74	男性			地域の今ある自然環境の整備と清掃をボランティアでも良い協力したい。運動の為に歩いていて感じる。(荒れ放題である)
302	どちらか といえは	70～74	女性			隣近所の住民同士の普段からのつきあいを密にすること。
305	どちらか といえは	70～74	男性			町内会的な会合があっても良いのかなと思う。
324	どちらか といえは	70～74	女性	書道 一級建築施工管理技士、マンション管理業務主任者、マンション維持修繕技術者等の資格を生かせる仕事。		
369	どちらか といえは	70～74	男性			
419	どちらか といえは	70～74	女性			先ず、自分自身が健康である事。毎日少しでも外に出る事を心がけ、毎日、買物、散歩をして、出会う人にあいさつ、お互いの顔を覚えるのも、小さな道を志すのも良いのではないかな。
519	どちらか といえは	70～74	男性			呼びかけがあれば時間の許す限り協力します。
536	どちらか といえは	70～74	女性			市民の交流といってもごく身近なサークル内だけ自治会があっても一部の役をしている人達だけ 市民祭、取極祭など増やしてほしい
11件						

問13地域のつな がりの必要性		回答者数	問12, 29, 30いずれかに記入された数	記入者の割合 %
20代	とても必要	23	16	69.6%
20代	どちらかといえは 必要	29	8	27.6%
30代	とても必要	28	14	50.0%
30代	どちらかといえは 必要	43	12	27.9%
40代	とても必要	31	15	48.4%
40代	どちらかといえは 必要	37	10	27.0%
50代	とても必要	33	20	60.6%
50代	どちらかといえは 必要	55	18	32.7%
60代	とても必要	35	16	45.7%
60代	どちらかといえは 必要	80	27	33.8%
70代	とても必要	31	12	38.7%
70代	どちらかといえは 必要	45	11	24.4%
計			179	38.1%

東久留米市地域福祉に関するおたずね調査報告書

発行／平成26年3月

東久留米市福祉保健部福祉総務課

〒203-8555 東京都東久留米市本町三丁目3番1号

電話 042-470-7777（代表）

FAX 042-470-7808

E-mail fukushisomu@city.higashikurume.lg.jp

調査・編集／株式会社インテージリサーチ

〒203-8686 東京都東久留米市本町一丁目4番1号

電話 042-476-5300（会社代表）